

衆議院第七十五回帝國議會所得稅法改正法律案外三十件委員會議錄(速記)第十九回

所得稅法改正法律案 (政府提出) 第七號	外貨債特別稅法案 (政府提出) (第八號)	配當利子特別稅法案 (政府提出) 第九號	外貨債特別稅法中改正法律案 (政府提出) (第一號)	外貨債特別稅法廢止法律案 (政府提出) (第三號)
法人稅法案 (政府提出) (第八號)	臨時利得稅法案 (政府提出) (第一五號)	營業稅法案 (政府提出) (第一一號)	臨時利得稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一號)	營業稅法廢止法律案 (政府提出) (第三三號)
特別法人稅法案 (政府提出) (第九號)	地租法案 (政府提出) (第一一七號)	建築稅法案 (政府提出) (第一三號)	地租法中改正法律案 (政府提出) (第一四號)	地租稅法廢止法律案 (政府提出) (第三六號)
相續稅法案 (政府提出) (第一五號)	清涼飲料稅法案 (政府提出) (第一一六號)	外貨債特別稅法 (政府提出) (第一四號)	清涼飲料稅法中改正法律案 (政府提出) (第一六號)	資本利稅法廢止法律案 (政府提出) (第三四號)
營業稅法案 (政府提出) (第一五號)	酒稅法案 (政府提出) (第一一八號)	營業稅法 (政府提出) (第一三號)	酒稅法中改正法律案 (政府提出) (第一四號)	地方稅法案 (政府提出) (第四五七號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	鐵稅法案 (政府提出) (第一一九號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	鐵稅法中改正法律案 (政府提出) (第一五號)	法人資本稅法廢止法律案 (政府提出) (第四八號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	砂糖消費稅法案 (政府提出) (第一二〇號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	砂糖消費稅法中改正法律案 (政府提出) (第一一九號)	地方稅法案 (政府提出) (第四九號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	出入口稅法案 (政府提出) (第一二一號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	出入口稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二二號)	府縣制中改正法律案 (政府提出) (第五〇號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	揮發油稅法案 (政府提出) (第一二三號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	揮發油稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二四號)	町村制中改正法律案 (政府提出) (第五一號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	酒類稅法案 (政府提出) (第一二四號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	酒類稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二五號)	北海道會法中改正法律案 (政府提出) (第五二號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	遊食稅法案 (政府提出) (第一二五號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	遊食稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二六號)	北海道會法中改正法律案 (政府提出) (第五三號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	印紙稅法案 (政府提出) (第一二六號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	印紙稅法中改正法律案 (政府提出) (第一二七號)	地方分與稅分與金特別會計法案 (政府提出) (第五四號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一二七號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一二八號)	家庭屋稅案 (政府提出) (第七一號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一二八號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一二九號)	所得稅法案 (政府提出) (第七二號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一二九號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三〇號)	所得稅法入稅內外地關涉法案 (政府提出) (第七三號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三〇號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三一號)	所得稅法案 (政府提出) (第七四號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三一號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三二號)	昭和十二年法律第九十四號中改正法律案 (支那事變) ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租税ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル件 (政府提出) (第七五號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三二號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三三號)	昭和十三年法律第六號中改正法律案 (外國船舶) ノ所得稅免除ニ關スル件 (政府提出) (第七五五號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三三號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三四號)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等ノ免除規定 (ノ改正ニ關スル法律案 (政府提出) (第七六號))
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三四號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三五號)	規定期定ノ整理ニ關スル法律案 (政府提出) (第七七號)
營業稅法案 (政府提出) (第一六號)	法律案 (政府提出) (第一三五號)	營業稅法 (政府提出) (第一四號)	法律案 (政府提出) (第一三六號)	大正九年法 律第五十一號中改正法律案 (内臺臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移

大藏書記官 田中 豊君	大藏書記官 山田 義見君	大藏書記官 山田 義見君	大正九年法律第五十一號中改正法律案 (内地臺灣又ハ韓太ヨリ朝鮮ニ移出スル 物品ノ内國稅免除ニ關スル件) (政府提出)
營繕管財局理事 松隈 伸	商工省織維局長 辻 伸	商工省振興部長 妹川 伸	支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止 法律案(政府提出)
商工書記官 山本 武人君	商工書記官 山本 武人君	商工書記官 山本 武人君	營業収益稅法廢止法律案(政府提出)
物價局次長 新倉 利廣君	物價局次長 新倉 利廣君	物價局次長 新倉 利廣君	資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
所得稅法改正法律案(政府提出)	所得稅法改正法律案(政府提出)	所得稅法改正法律案(政府提出)	法人資本稅法廢止法律案(政府提出)
特別法人稅法案(政府提出)	特別法人稅法案(政府提出)	特別法人稅法案(政府提出)	臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)
外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)	家屋稅法案(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)	相續稅法中改正法律案(政府提出)	相續稅法中改正法律案(政府提出)	所得稅法人稅内外地關涉法案(政府提出)
建築稅法案(政府提出)	建築稅法案(政府提出)	建築稅法案(政府提出)	昭和十二年法律第九十四號中改正法律案 (支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ 對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル 件) (政府提出)
鑛區稅法案(政府提出)	鑛區稅法案(政府提出)	鑛區稅法案(政府提出)	大正十三年法律第六號中改正法律案(外 國船舶ノ所得稅等免除ニ關スル件) (政府 提出)
地租法中改正法律案(政府提出)	地租法中改正法律案(政府提出)	地租法中改正法律案(政府提出)	アルコール製造事業等ニ對スル所得稅等 ノ免除規定ノ改正ニ關スル法律案(政府提 出)
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	租稅法規ノ改正ニ伴フ恩給金庫法等ノ規 定ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)
○堀切委員長 ソレデハ開會致シマス、本 日ハ高橋君ノ番地スガ、高橋君ガマダ參リ マセヌカラ、高橋君ノ質問時間ヲ約二時間 ト致シマシテ、其ノ中ノ一時間ダケヲ山川 君ニ發言ヲ許シマス——山川君	○山川委員 私ハ米穀ノ委員會ノ方ニズツ ト行ツテ居リマシテ、コチラノ方ハ甚ダ不 勉強デ、マダ十分調査ガ出來て居リマセヌ ノデ、不徹底ナコトヲ御質問申上ゲルカモ 分リマセヌケレドモ、ドウゾレハ御許シ ヲ願ヒマシテ、御親切ナ御答辯ヲ仰ギタイ 狩獵法中改正法律案(政府提出)	入場稅法案(政府提出)	取引所稅法中改正法律案(政府提出)
明治四十四年法律第四十五號中改正法律 案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關 スル件)(政府提出)	印紙稅法中改正法律案(政府提出)	通行稅法案(政府提出)	遊興飲食稅法案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案 (内地臺灣又ハ韓太ヨリ朝鮮ニ移出スル 物品ノ内國稅免除ニ關スル件) (政府提出)	骨牌稅法中改正法律案(政府提出)	入場稅法案(政府提出)	遊興飲食稅法案(政府提出)
支那事變特別稅法及臨時租稅增徵法廢止 法律案(政府提出)	建築稅法案(政府提出)	通行稅法案(政府提出)	大正九年法律第五十一號中改正法律案 (内地臺灣又ハ韓太ヨリ朝鮮ニ移出スル 物品ノ内國稅免除ニ關スル件) (政府提出)
資本利子稅法廢止法律案(政府提出)	鑛區稅法案(政府提出)	鑛區稅法案(政府提出)	資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
料綱店ニ於キマシテモ、ソコニ多少ノ相 違モゴザイマセウシ、ソレカラ稅額ノ上ニ 於キマシテモ、多少區分ヲシテ置ク必要ガ ナイカト考ヘル者デアリマス、殊ニ田舎ノ 店ニ依リマシテハ、約八割位借デ、現金二 割位シカ入ラナイト云フヤウナモノモアル ヲ借ニシテ置クノデアリマス、ソレモ料理 店ニ依リマシテハ、約八割位借デ、現金二 割位シカ入ラナイト云フヤウナモノモアル ノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマスカ ラ、商ヒノ大部分ガ漏レナク記帳ニナル譯 デアリマス、只今此處デ記帳ニナルナラス、 又稅金ガ漏レル漏レスト云フ事ヲ申上ゲマ ス表面上ソンナコトハ通用セヌノデゴザイ マスルケレドモ、都會ノ方デハ大部分、九 割九分マデ現金デアリマス、其ノ現金デア リマスルモノガ、必ズ三圓使ツタナラバ三 圓、五圓使ツタナラバ五圓ト云フモノノガ、 間違ナク課稅ノ基礎トナルベキ數字ニ舉ガ ルノデアルカ否ヤ、是ハ尤モ稅務官吏ノ努 力ニ依ツテ、サウ云フモノノ漏レナイヤウ ニサレルト云フコトハ固ヨリゴザイマス ガ、世ノ中ニハドウ云フコトデモスル者 ガアルノデアリマスカラ、漏レルモノモア ルシ、漏レスモノモアルト云フヤウナコト ニナリハシナイカ、若シ都會ノ現金制度ノ モノノ監督方十分ニ行渡ラナイト云フヤウ ナコトガ想像サレルトシタナラバ、由舍ノ 者ハ全額ニ對シテ納稅シテ居ル譯デアリマ スガ、之ニ付テ政府ニ於テ現金ノ商ヒニ付 法ガナインデアリマセウカ、此ノ二點ニ付キ マシテ御伺致シマス	ノ目途ガ付イテ居リマスカドウカト云フ トヲ、御尋致シタイノガ、一點、モウ一點 ハ貸ニシテ居ルガ爲ニ、節季ニナツテモ貴 ヘナイコトガアル、半年間ノ金利ノ損ヲシ テ居ルダケデナシニ、中ニハ不拂ノモノガ 出来テ來ルノデアリマス、其ノ不拂ノモノ ニ對シテハ、稅法ニ依リマシテ後デ其ノ微 一割ノ稅金ヲ回収スルガ爲ニ、非常ナ手數 ノ掛カルコトナドハ到底ヤラナイノデアリ マス、殊ニ婦人ノ業者ナドハ、此ノ規定ノ 帳簿ダケヲ作ルノデサヘモ容易ナラザルコ トデアルノニ、其ノ上ニオ上ヲ相手ニシテ 稅金ヲ返シテ貰フト云フヤウナ、色々複雜 ニ向ツテハドウ云フ風ニナツテ行クカ、現 金收入ノ都會地ト、半年貸金ニナツテ居リ マス田舎ノ料理店トハ、其處ニ大ナル相違 ガアルノミナラズ、金利ノ關係ト貸倒レノ 危險ト、此ノ二ツノ問題ニ付テ田舎ノ方ガ マス田舎ノ料理店トハ、其處ニ大ナル相違 ガアルノミナラズ、金利ノ關係ト貸倒レノ 危險ト、此ノ二ツノ問題ニ付テ田舎ノ方ガ マス、之ニ付キマシテ何トカ御考下サル方 法ガナインデアリマセウカ、此ノ二點ニ付キ マシテ御伺致シマス	ノ目途ガ付イテ居リマスカドウカト云フ トヲ、御尋致シタイノガ、一點、モウ一點 ハ貸ニシテ居ルガ爲ニ、節季ニナツテモ貴 ヘナイコトガアル、半年間ノ金利ノ損ヲシ テ居ルダケデナシニ、中ニハ不拂ノモノガ 出来テ來ルノデアリマス、其ノ不拂ノモノ ニ對シテハ、稅法ニ依リマシテ後デ其ノ微 一割ノ稅金ヲ回収スルガ爲ニ、非常ナ手數 ノ掛カルコトナドハ到底ヤラナイノデアリ マス、殊ニ婦人ノ業者ナドハ、此ノ規定ノ 帳簿ダケヲ作ルノデサヘモ容易ナラザルコ トデアルノニ、其ノ上ニオ上ヲ相手ニシテ 稅金ヲ返シテ貰フト云フヤウナ、色々複雜 ニ向ツテハドウ云フ風ニナツテ行クカ、現 金收入ノ都會地ト、半年貸金ニナツテ居リ マス田舎ノ料理店トハ、其處ニ大ナル相違 ガアルノミナラズ、金利ノ關係ト貸倒レノ 危險ト、此ノ二ツノ問題ニ付テ田舎ノ方ガ マス田舎ノ料理店トハ、其處ニ大ナル相違 ガアルノミナラズ、金利ノ關係ト貸倒レノ 危險ト、此ノ二ツノ問題ニ付テ田舎ノ方ガ マス、之ニ付キマシテ何トカ御考下サル方 法ガナインデアリマセウカ、此ノ二點ニ付キ マシテ御伺致シマス	

所得稅ニ於キマシテモ、ソレカラ消費稅方面ニ於キマシテモ、全國一樣ニ國稅ト致シテ居ルノデアリマスカラ、遊興飲食稅ニ付ハ節季拂ニナツテ居ル、都市ハ現金拂ガ多イト云フノハ、全ク仰セノ通りダト思ヒマス、併シ現金拂ノ方ニハ脱稅ガ多ク、節季拂ノ方ニハ少イトモ言ハレナイカト思ヒマス、遊興飲食稅ヲ徵收ニ付テハ、相當困難モ伴ブノデアリマスカラ、成ベク業者ノ團體ト連絡ヲ取リマシテ、出來ルダケ業者ノ團體ガオ互ニ自制シ合ツテ脫稅等ノナイヤウニ期シテ居ル次第デアリマス、又是ガ爲ニ交付金モ相當ニ交付シテ居ルト云フ状況デアリマス、國稅トシテ施行ノ當初ニ於キマシテ、餘リ苛烈ニ瓦ルヤウナ取締モドウカト思ツテ、暫ク寛大ニシテ置キマシタガ、多少脫稅等ノ嫌モアリマスノデ、近頃相當引締メテ居リマス、將來緩急宜シキヲ得ルヤウニ致シタイ思ツテ居リマス、ソレカラ山川サンモ御述ニナリマシタ通り、節季拂ノ延拂ニナツテ居際ハ、徵收ヲ延期シ得ル規定ニナツテ居リマス、又掛倒レニナツタ場合ハ還付デハアリマセヌ、申請ニ依ツテ免除スルコトニナツテ居リマシテ、別ニ一旦納メタ稅金ヲ還付スルト云フコトハ致シテ居ナイ、初メカラ掛倒レニナツタ場合ハ免除スルト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ點ニ付テハ特ニ手數ヲ掛ケルコト云フ意味デハナク、第二條中ノ遊興飲食稅ノ料金ノ百分ノ十五トアルノヲ、此ノ上

ニ等差ヲ付ケテ戴クコトガ出來ナイカト云フコトノ言ヒ誤リデアリマシタカラ、モウ一度御答辯ヲ願ヒマス、ソレカラ掛倒レノ免稅ノ點デアリマスガ、御承知ノ通り田舎モ伴ブノデアリマスガ、御承知ノ通り田舎モ伴ブノデアリマスガ、御承知ノ通り田舎モ伴ブノデ、一割ヲ除控スルト云フヤウチコトハ、都市ト農村ノ實況ニモ適合シナイ、斯ウ云フノデ、一部掛倒レガナイトミテ上ゲル爲ニ、全部掛倒レガナイトミテ納メテ居ル、掛倒レガアレバソレガ戻ツテ來ルコトニナツテ居ル、所ガ事實ハ一年ニ一割以上ノ掛倒レト云フ、慣例ニナツテ居ル、ソレヲ何トカ都會地ト區分シテ、田舎ダケハ別ノ制度ヲ立テ、一年ニ一割ナラ一割ノ掛倒レハ、賣上金額ノ中カラ豫メ控除シテ置クト云フ制度ヲ特ニ設ケテ戴クコトガ出來マセヌカ、其ノ代リ組合ニ於テ全部ノ稅金ハ保證シテ納メテシマフノデアリマス、隨テ豫メ掛倒レ一割ト云フモノヲ見積ツテ、ソレヲ控除シテ貰フコトガ出来ナイデアリマセウカ

○大矢政府委員 稅率ヲ都市ト地方トニ區分スルト云フノハ適當デナカラウト存ジマス、ヤハリ全國一率ニスル方ガ宜カラウト存ジマス、ソレカラ掛倒レノ點デゴザイマスガ、私共地方ノ方ガ掛倒レガ多イ、都會地ガ少イト云フ風ニハ、實ハ見テ居ナイノデアリマシテ、地方ノ方ハ延拂ガ多イガ割合ニオ客サンモ堅イカラサウ掛倒レニナルノハ少イ、寧ロ都會方面、或ハ工場地帶ニ於キマシテハ、客ノ方ノ移動モ激シイト云フヤウナ状況デ、却テ掛倒レガ多イノデアリマス、工場地帶等ノ土木工事ノ盛ナルノハ少イ、寧ロ都會方面、或ハ工場地帶ニ於キマシテハ、客ノ方ノ移動モ激シイト云フヤウナ状況デ、却テ掛倒レガ多イノ

ニ等差ヲ付ケテ戴クコトガ出來ナイカト云フコトノ言ヒ誤リデアリマシタカラ、モウ一度御答辯ヲ願ヒマス、ソレカラ掛倒レノ免稅ノ點デアリマスガ、御承知ノ通り田舎モ伴ブノデアリマスガ、御承知ノ通り田舎モ伴ブノデ、一割ヲ除控スルト云フヤウチコトハ、都市ト農村ノ實況ニモ適合シナイ、斯ウ云フノデ、一部掛倒レガナイトミテ上ゲル爲ニ、全部掛倒レガナイトミテ納メテ居ル、掛倒レガアレバソレガ戻ツテ來ルコトニナツテ居ル、所ガ事實ハ一年ニ一割以上ノ掛倒レト云フ、慣例ニナツテ居ル、ソレカラ各店モ別ニ區別セズニナツタ場合ニハ徵收ヲ延期シ、實際缺損ナウガ全部稅ヲ納メルモノトシテ、其ノ代リ納メタ場合ニハ其ノ納稅ノ成績如何ニ依ツテハ、相當多額ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケタ、斯ウ云フ譯デ、サウ云フ場合ニ所謂獎勵金ノ交付ヲ受ケタノヲ、山川サンハ後デハ還付シテ貰フト云フ風ニ見テ居ラレルノデナカラウカト思ヒマス、地方稅ノ場合ニ於キマシテハ、サウ云フ慣例ハ相當廣く行ハレテ居タノデアリマスガ、國稅ト致シマシテハ一切サウ云フコトハ致シマセズ、其ノ代リ掛ニナツタ場合ニハ營業者ノ方カラ申請ガアリマスレバ、收入ニナルマデ納稅ヲ猶豫スル、缺損ニナツタ場合ニハ免除スル、斯ウ云フ風ニ致シテ居リマシテ、相當ノ納稅存ジテ居リマス

○山川委員 ソレガ淘ニ正當デ結構ナコトデハゴザイマスケレドモ、ドウモ業者ト致シマシテハ、大變ソレガ面倒ノヤウニ思フノデアリマシテ、組合ノ方デモ非常ニソレヲ面倒ニ思ツテ居リマス、モウ田舎デハ掛倒レハ一錢モナイ、少シモナイト云フコトシマシテハ、大變ソレガ面倒ノヤウニ思フノデアリマシテ、組合ノ方デモ非常ニソレマス、其ノ邊カラ考ヘマシテ、相當ノ納稅倒レハ一錢モナイ、少シモナイト云フコトシマシテハ、大變ソレガ面倒ノヤウニ思フノデアリマス、是レ以上申上ゲルト意見ニデアリマス、御答辯ニ於キマシテモ、ソレカラ帳簿が大分難シイヤウニ思フ、ソレカラ帳簿は常ニ組合ノ方カラ行ツテ見テドウモ帳簿ハ常ニ組合ノ方カラ行ツテ見テヤラナケレバ、女ノ營業者ヤ婦人ノ仲居頭位ノ者ガ帳場ニ坐ツテ居ツテモ、各稅種目ノ關係別ニ書上げテ置カネバナラヌ、役人方御覽ニナツテ罰則ヲ受ケナイト云フヤウナ帳簿ノ拵ヘ方ガ逆モ出來ナイ、斯ウ云フヤウニ言ツテ居ル、是ハ各營業者ガ自ラ帳

帳面ヲ記ケルノガ建築前デアル、ソレヲ他人ノ力ヲ借り、組合ノ力ヲ借りリナケレバ出來スト云フ風ニ難シイコトニナツテ居ルサウデアリマス、私ハ事實ハ知ラナイノデアリマスケレドモ、サウ云フ風ニ申出テ居ルノデアリマス、ドウカソレニ付テ何カ簡單ナ良イ方法ヲ御考ヘ下サルコトニ付テ、御努力ニ預ルコトガ出來ルノデアリマセウカ。○大矢政府委員 關係業者ニ對シマシテ、帳簿ヲ備付ケテ或る程度ノコトヲ記載サセルヤウニ政シテ居リマスガ、是ハ別ニ雑型ヲ一定シテ、必ズ斯クシナケレバナラスト。云フ風ニハ致シテ居リマセヌ、成ベク手數ヲ省カシマシテ、實際ノ狀況サヘ分レバ宜イヤウニ致シテ居リマシテ、其ノ點ハ業者シテモ、相當事務員等モ要シマス關係上交付金モ交付スル、昭和十五年度ト致シマシテハ、前年度ヨリモ餘程多額ニ致シマシテ、大體全國デ約百七万九千圓ノ交付金ガ行クト云フコトニナリマシテ、相當多額ノモノニナルノデアリマス、隨ヒマシテ業者ノ團體ノ方面ニ於テ、十分ソレ等ノ點ヲ斡旋致シマシテ、各地ノ實情ニ副フヤウニ致シマスト、段々ト今ノヤウナ點モ改善サレテ行クコトト存ジマス、施行當初ニ於テ出來ルダケ手數ヲ掛ケサセナイヤウニ致シタインデアリマスガ、一面ニ於テ先程御話ノアリマシタ通り、餘リ之ヲ放任致シマスト、脫稅等ノ弊モ助長スル嫌ヒモアリマスノデ、其ノ邊ハ緩急宜シキヲ得ルヤウニシテ居結果ト致シマシテ、帳簿ノ記載等ニ付キマシテ、山川サンノ仰シヤツタヤウナコトモ

時々私モ耳ニシテ居リマス、今後モ出來ルダケサウ云フ方面ノ改善方ヲ考慮致シテ行キタイト存ジテ居リマス。○山川委員 ソレカラ遊興飲食稅法ノ第三條中ニ於テ、免稅點ヲ三圓ニ低下サレマシタ、此ノ事ニ付テハ過日來皆様方ヨリ十分御話ガアツテ、御答辯ヲ得テ居ルノデゴザイマスガ、之ニ對シマシテ私モ一應申上げテ見タイノデアリマス、三圓ト云フ金額ニ下ゲラレマシタガ、是ハ物價ガ最近ハ二倍ニ上ツテ居ルモノヲ五圓ヲ三圓ニ御下ゲニナルト云又ソコデ金額ヲ二圓下ゲラレテ三圓ニサレルト云フコトニナルト、殆ド五圓ノ時カラ見レバ一圓カ一圓五十錢ノ所マデ下ゲラレタト同ジコトデアル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマシテ、今回何處デ飯ヲ食ヒマシテモ、ホンノ晝飯デ腹ヲフクリスト云フコトダケデ、モウ既ニ三圓ヤ四圓ハ直キニ取ラレルノデアリマス、サウシテ見ルト普通ノ贅澤デナイ、必要ナ所ノ吾々ノ榮養ヲ攝ルノニモ、租稅ガ伴ウテ居ルト云フコトナル、何モ彼モカラ稅金ヲ取ラナケレバナラヌノガ法デハゴサイマセウケレドモ、米ナリ、肉ナリ、野菜ナリ、醬油ナリソレヽベテ、其ノ物カラ又稅金ヲ取ルノデゴザイマスガ、贅澤ニ瓦ラザル限リ稅金ヲ取ル必要ハナイト思フノデアリマス、ソレヲ三圓マデ下ダラレタ、此ノ物價ノ高イ時ニ、三圓ト云フ程度ハ殆ド大衆ハ皆拂ハナケレバナフヌ、日々ハナイケレドモ、一寸外へ出テ書飯一ツ食べマシテモ、稅金ヲ伴ツタ晝飯

ヲ食ハナケレバナラヌコトニナル、是ハ餘程酷ナヤウニ思フ、是ハドウシテモ五圓ニ改メラレル必要ガアルト私ハ信ズルノデアリマス、三圓ト云フノハ、前ノ五圓ノ時ノコトカラ思ツタナラバ一圓五十錢位ノモノダト思フ、ソレ位ノ程度マデ下ゲナケレバナラスト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、又物價統制ノ必要カ、何カニ依ツテ、料理屋トカ或ハ飯ヲ食フ所ノ食事ノ價格ヲ、半分ニモ下ゲル所マデ低物價政策ヲ、最近ニヤリ得ルト云フ見込ガアツテ、ソレヲ見越シテ茲ニ三圓ニ御定メニナツテ居ルノデアリマスカ、物價ノ騰貴ト免稅點ヲ御引下ゲニナルト云フニツノ點ニ付テノ御意見ヲ承致シタイ。

○大矢政府委員 遊興飲食稅ハ昨年創設致シマシテ、免稅點ヲ五圓ニ致シタノデアリマス、隨ヒマシテ昨年創設當時ト今日トヲ比ベマスト、多少物價ガ騰貴シテ居ルノデアリマスカラ、若シモ同ジ品物ト致シマスト、昨年五圓シテ居ルモノガ六圓トカ、或

ハソレ以上スルト云フ點ハアルカト存ジマス、併シナガラ國稅トシテ遊興飲食稅ヲ創設スルニ當リマシテ、餘リ初々カラ免稅點ヲ低クスルノモ如何カト存ジマシテ、昨年五圓トシテ提案致シタノデアリマス、モウ既ニ一年モ施行シテ見タノデアリマスガ、今日ノ状況カラ致シマシテ、一食五圓ト云フノハ假令物價騰貴ノ今日トテモ、相當贅澤ナ飲食スルノモ如何カト存ジマシテ、昨年五圓トシテ、其ノ大部分ガ、課稅ニナルト云フコトハアリマスヌ、東京市内ノ如キニ於キマシテモ、一般大衆食堂ニ於キマシテハ大體

ス、地方ニ於キマシテ三圓以上ノ飲食ナラバ、是ハ相當贅澤ト申シテモ宜イノデハナカラウカト思ヒマシテ、此ノ際免稅點ヲ三圓ニ引下ゲルコトハ決シテ無理ナコトデハナカラウト存ジテ居リマス。

○山川委員 是以上申上ゲマシテモ仕方アリマセヌカラ、承ツデ置キマス。

○山川委員 次ニ入場稅ノ問題ニ付テ御尋致シタイト

思ヒマス、是マデ百分ノ十デアツタモノガ、リマセヌカラ、承ツデ置キマス。

○山川委員 今度ノ改正ニ依ツテ、第三條ノ第一項ヲ見マスト、三圓以上ハ百分ノ三十ニナツテ居リマス、是ハ三倍ニナツテ居ルト思ヒマスガ、ソレ位上ツテ居リマス。

○大矢政府委員 是ハ從來稅率ガ百分ノ十デアリマシタノヲ、一圓未滿ノ時ハ百分ノ十、一圓以上三圓未滿ノ時ハ百分ノ二十、

三圓以上ノ時ハ百分ノ三十、斯ウ云フ風ニ三段階ニ分ケタダケデアリマス。

○山川委員 三倍ニナル分モアル譯デスネ、

サウスルト是ハ大變ナ上リ方デ、芝居其ノ他淨瑠璃トカ何トカ云フヤウナモノハ一ツ

モノハ幾ラ稅金ヲ取ツテモ宜シ、サウ云フモノハ繁昌シナクテモ宜イト云フ思召デア

リマセウガ、他ノ稅額ニ較ベルト、三倍ニモノハ繁昌シナクテモ宜イト云フ思召デア

ナツテ居ルモノハ是ダケデハナイカト思フ、競馬ノ入場稅トカ云フヤウナモノハ、別ノ方法ニ依ツテヤラレルノデアリマセウケレ

ドモ、ソレハドウナツテ居リマスカ、サウ云フコトモ伺ツテ見タイガ、是ハ全然譯方

違ヒマスカ、法律モ讀マヌデ盲滅法テ言フ

ナト御嗤ヒニナルカモ知レスガ、「ラヂオ」ナ

ンカモ是ハ大變結構ナ利益ヲ得テ居ルモノ

ト思フノデアリマスガ、サウ云フモノニ付

テハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居リマス

カ、ソレカラ私ハ芝居ハ一ツノ禁止的税ヲ課ケナケレバナラヌ程惡イモノトハ信ジテ居ナイノデアリマシテ、芝居ハ元來物語ノ變ツテ來タモノデアルト思フ、昔ノ一種ノ教育機關デアル、物語ニ節ヲ付ケタリ、鳴物ヲ入レタリシテ、終ヒニハ體デ其ノ形ヲ眞似テ、サウシテ成ベク其ノ物語ノ趣旨ヲ徹底セシメンガ爲ニ、人ヲ集メテヤツタノガ芝居ノ起リデアリマシテ、今次事變ノ如キモ、軍人遺家族ノ状況、或ハ勇士ノ立派ナ効キヲサレテ居ル事柄ヲ、斯ウ云フモノニ依ツテ一般ノ教育ガ行ハレタノデアリマス、コマデ大和魂ヲ徹底的ニ養成スルコトハ出来ナイ、是ハ全ク劇場ナドノ力ニ依ツテ教育ヲシテモ、ソンナ機關ノ無イ時代ニハコトハ言ツテ居ル、是ハ立派ナ教育機關デアル、其ノ證據ニハ日本デコソ昔カラ芝居者ハ、河原乞食トカ何トカ言ツテ侮ツタ時代ガアリマシタケレドモ、外國デハソンナコトハ言ツテ居ル、此處ハ佛蘭西ノ領分デアリマシテ、佛蘭西本國ノ芝居小屋ト同ジヲ立テ居ル、此ノ間モ「ハノイ」ニ行ツテ見派ナ芝居小屋ヲ、何百万圓ト云フ金ヲ掛けマシタガ、此處ハ佛蘭西ノ領分デアリマシテ建築シテ居ル、ケレドモ其ノ芝居小屋デ芝居ヲスルノニハ何十万圓ト云フ金ガ要ルノデ、一年ニ一回カ二回シカ出來ナイ、ソレハ本國カラ役者ヲ呼ンデ來テヤラセルノダカラ何十万圓ト云フ金ガ要ル、ダカラ度度ハ出來ナイカラ年ニ二回程ヤル、ケレドモ此ノ頃ハ戰争ノ爲ニモウ一二年ハ開クコトガ出來ナイデ、閉メテアル芝居小屋ヲ見テ來タ譯デアリマス、「タイ」國ニモ王様ガ芝居小屋参

立派ナ芝居小屋ヲ捨ヘテ、是ハ立派ナ教育機關トシテ存置シテ居ル、日本ノ總テノ劇場ハ自分ノ力、自分ノ資本デ、種々様々ノ制壓ヲ受ケツツ自ラ發達シ、サウシテ國家ノ爲、教育ノ爲ニ貢獻シテ居ル、ソレヲ何モノノヤウニ思ハレテ禁止的ノ税金ヲ課シ、三倍ニモ増加サレルト云フコトハ、演劇ニ對シテ效果ヲ認メテ居ナイノデハナイカト私ハ思フ、又此ノ間モ或ル人ノ話ヲ聽イテ見マスト、東京ノ立派ナ劇場デハ國際的ノ外客ガ來ラレタ時ニハ芝居ヲ見セルノミナラズ、其ノ芝居小屋ニ於テ酒食ノ饗應ヲシテ居ル、伊太利ノ「レオニ」號ノ乗組員二百名ガ來タ時ニ、是モ二日間待遇シタ、亞米利加カラ軍艦「アストリヤ」號ガ來タ時ニモ亦水兵其ノ他二三百五十二人ヅツ二回淺草ノ國際劇場ニ招イテ國家ノ代表的ナ歡迎ラソレハ御勤メシテ居ル、「アルゼンチ」號ガ來タ時ニモ、五十人ヅツ毎日續イテ招待ラナシ、經濟使節ガ來タ時ニモ歌舞伎座デヤツタト云フ風ニ、外國ノ劇場ト同ジヤウナ風ニ御勤メシテ居ル、ソレニモ拘ラズ、私ハ昨年モ入場税ノコトニ付テ非常ノデ、是等ニ對シマシテ百分ノ三十ト云フ税率テ課税致シマス、一躍三倍ニナツタト言ヘバ高イヤウナ感ジモ致スカモ知レマスノデ、是等ニ對シマシテ百分ノ三十ト云フ税率テ課税致シマス、一部特殊ノ階級ニナツテ居ルノモ少イ、一部特殊ノ階級ニナツテ居ルノモ多イ、斯ウ云フドウモ是等カラ考ヘマスト、餘リ斯ウ云フデアリマス、尙ホ競馬場等ノ御話モゴザイマシタガ、是ハ演劇、活動寫眞館ト競馬場ト同様ノ扱ニナツテ居リマシテ、其ノ間別ニ區別スル所ハゴザイマセヌ

○大矢政府委員　劇場、活動寫眞館等ノ使命ニ付テ、御話ノアリマシタ點ニ付キマシテハ、私共モ大體同感デゴザイマス、此ノ度入場料一圓未満ノモノニ付キマシテハ、

立派ナ芝居小屋ヲ捨ヘテ、是ハ立派ナ教育機關トシテ存置シテ居ル、日本ノ總テノ劇場ハ自分ノ力、自分ノ資本デ、種々様々ノ制壓ヲ受ケツツ自ラ發達シ、サウシテ國家ノ爲ニ貢獻シテ居ル、ソレヲ何モノノヤウニ思ハレテ禁止的ノ税金ヲ課ケラレテ居ルノデアリマス、此ノ度ノ免稅點ニ依リマシテモ、活動寫眞館等ニ入場スル者ノユース映畫等ヲ見ニ入ル場合比較的料金ガ低イノデアリマシテ、此ノ度ノ免稅點ニ依リマシテモ、活動寫眞館等ニ入場スル者ノモノノヤウニ思ハレテ禁止的ノ税金ヲ課シ、約半數ハ免稅セラレル、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレカラ二十錢、三十錢、五十錢程度ノ入場料ニ對シマシテハ、税率ハ三倍ニモ増加サレルト云フコトハ、演劇ニ對シテ效果ヲ認メテ居ナイノデハナイカト私ハ思フ、又此ノ間モ或ル人ノ話ヲ聽イテ見マスト、東京ノ立派ナ劇場デハ國際的ノ外客ガ來ラレタ時ニハ芝居ヲ見セルノミナラズ、其ノ芝居小屋ニ於テ酒食ノ饗應ヲシテ居ル、伊太利ノ「レオニ」號ノ乗組員二百名ガ來タ時ニ、是モ二日間待遇シタ、亞米利加カラ軍艦「アストリヤ」號ガ來タ時ニモ亦水兵其ノ他二三百五十二人ヅツ二回淺草ノ國際劇場ニ招イテ國家ノ代表的ナ歡迎ラソレハ御勤メシテ居ル、「アルゼンチ」號ガ來タ時ニモ、五十人ヅツ毎日續イテ招待ラナシ、經濟使節ガ來タ時ニモ歌舞伎座デヤツタト云フ風ニ、外國ノ劇場ト同ジヤウナ風ニ御勤メシテ居ル、ソレニモ拘ラズ、私ハ昨年モ入場税ノコトニ付テ非常ノデ、是等ニ對シマシテ百分ノ三十ト云フ税率テ課税致シマス、一部特殊ノ階級ニナツテ居ルノモ少イ、一部特殊ノ階級ニナツテ居ルノモ多イ、斯ウ云フドウモ是等カラ考ヘマスト、餘リ斯ウ云フデアリマス、尙ホ競馬場等ノ御話モゴザイマシタガ、是ハ演劇、活動寫眞館ト競馬場ト同様ノ扱ニナツテ居リマシテ、其ノ間別ニ區別スル所ハゴザイマセヌ

○山川委員　大臣ガ御出席ニ相成ツテ居リマスカラ、大臣ニ御尋致シマスコトヲ先ニ致シタイト思ヒマス、大臣ニ酒ノ問題デ御質問申上ゲタイト思ヒマスガ、曩ニ其ノ質問ガアツタサウデゴザイマシタガ、其ノ時ニ同様ノ扱ニナツテ居リマシテ、其ノ間別ニ區別スル所ハゴザイマセヌ

ダマダ上グラレル御積リデアリマスカ、モウソソニニ言ウテモ、實價ノ二倍ニハナラナイガ、十五割ニモナルヤウナ税金デアリ

マスカラ、此ノ程度デオサマルモノデアリ、スガ、禁酒論者ガサウ云フ風ニ太鼓ヲ叩いて歩クト云フコトハ、一方酒ノ税金ヲ上げシテハナラヌコトト考ヘテ居ルノデアリマスカ、是ノ前途ニ付テ大臣ノ御考ヲ一ツ承リタインノデアリマス

致シマシテ嗜好サレマスコトハ、一面ニ於テ是等ノ人々ノ効キノ上ニ於テモ、影響スルコトデアリマシテ、私ハ必ズシモ禁酒スベキモノデアルトハ考ヘテ居リマセヌ、唯併ナガラ從來往々酒ヲ多ク飲ンデ體ヲ害シタリ、或ハ品行上思ハシカテザルコトガアルノデアリマシテ、隨ヒマシテ酒ヲ廢止スルト云フコトニ付テノ議論ガ、一部ニアリマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シナガラ其ノ禁酒論者ガ禁酒ヲ唱ヘル結果トシテ此ノ増税ヲ致ス、斯ウ云フ意味バカリデ此ノ増税ガ決定サレテ居ルモノデハナイノデアリマシテ、此ノ點ハ種々ナル原因ノ下ニ、先づ餘り多ク酒ヲ國民ガ飲ンデ、サウシテ體ヲ害スルコトノナイヤウニ、適度ニ調節シテ行クト云フ意味ガ含マレテ居ルト、——是ハ私個人ノ意見デアリマスケレドモ、考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ今日ハ、今回ノ税ニ依リマス、一石七十圓カラノ税金ニナルノデアリマス、是レ以上ノ増税ト云フコトニ付キマシテハ、今日私共ハココ數年ノ中ニ之ヲ増税シヨウト云フ考ハ持ツテ居ラヌノデアリマス、先般ノ増税ト睨合セマシテ、今回ノ増税ハ是ハ私ハ已ムヲ得ナイモノ、又此ノ程度ノ増税ヲ致シテモ、大ナル支障ガアルトハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス、將來別ナル事由ガ起リマセヌ限リハ、増税ヲ致ト云フコトノ理由ハ、種々ナル原因ガアルト仰セラレマシタガ、ヤハリ國ノ税金ヲ餘

計取ラナケレバナラヌト云フ必要上増税ニナツタ譯デゴザイマスカ、斯ウ云フ大キナ税金ニナツタ譯デアリマスガ、是ハ國家ノ收入ヲ殖サナケレバナラヌト云フノデゴザイマスカ
○櫻内國務大臣 國家ノ收入ヲ得ルト云フコトヲ主眼ニ置イテ居ルコトハ仰セノ通りデアリマス
○山川委員 サウ致シマシタラ、今年四割八分ト云フ大造石減ヲナサレタト云フコトハドウ云フ譯デアリマスカ、是ハ一億四千万圓ノ税金ニ關ハルコトデアリマス、他ノ税金デハ年二三百萬圓ヤ、五百万圓ノ税金デモ、中々喧シク細カイ所マデ手ガ届イテ居リマスヤウニ思フノデアリマス、然ルニ一億圓以上ノ増税ヲ捨テル、今日只今ノ状況デハ、酒ガ足ラナクテ非常ナコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、皆喜ンデ笑ウテ出ス所ノ税金デアル、其ノ一億四千万圓モノ税金ヲ抛ツテ置イテ、大造石減ヲサレタ理由ヲ承リタイノデアリマス
○櫻内國務大臣 御承知ノ如ク、昨年關西竝ニ朝鮮ニ於キマシテ、百年以來トモ申スベキ、非常ナル旱害ガ起リマシテ、米ノ收穫ニ違算ヲ生ジタノデアリマス、米ハ御承知ノ如ク國民生活ノ一番根幹ヲ爲スモノデアリマシテ、此ノ食糧ヲ確保スルト云フコトハ、ドウシテモ爲サネバナラヌ絶対性ヲココ數年ノ間ハ經濟上ノ變化、竝ニ特ニ特ニコトニ付キマシテバ度々申上ゲマス通り

葉テ以テ言ヘバ、酒ハ我慢ガ出来ルガ、飯ハ食ハズニ居レナイ、其ノ見地カラ酒ノ造石高ヲ減ラシテ、其ノ米ヲ一般ノ食糧品ニスルト云フコトニ付テノ議論ガ、一部ニアリマス、其ノ飼料ノ缺乏ト云フコトハ行ツタコトト存ジマス、隨ヒマシテ今回私共ガ入閣致シマシタ後ニ於キマシテモ、等シク米ハ絶對的ニ確保シナケレバナラヌノデアリマシテ、此ノ建前カラ減石シタコトモ已ムヲ得ナイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ申スマデモナク、酒モ亦今日ノ日本ノ實生活ノ上カラ申シマスナラバ、必要ナ品物デアリマスノデ、此ノ造石ニ付キマシテハ、減石ヲ幾分モ緩和シヨウト云フコトヲ、只今考慮致シテ居ル最中デアリマス
○山川委員 只今ハ米ノ不足ノ結果節米ノ一方法トシテ減石ヲシテ、節米ノ二百万石程ヲ得ヨウト云フ思召デアルト云フ風ノ御答辯デゴザイマシタガ、私ハ是ハ節米ニハナラナイト思フノデアリマス、酒ハ米カラ造ル、米カラハ糠ガ出来ル、其ノ他粕ガ出来ル、斯ウ云フ大切ナモノガ出来ルノデアリマスカラ、酒ハ言ウテ見ルナラバ、香ノヤウナモノデス、一方ニ於テ香ヲ嗅イデ、後ニ味ヲ味ハフ、是ハ香ヲ捨テテ味ダケヲ味ハフノト丁度同ジヤウナモノデ、酒ヲ取ツテモ取ラヌデモ、澤山ノ其處ニ割引ガ出テ來ル、二百万石ノ減石ヲ目標ニシテヤラレタ所デ、ソコデ糠トトハ、ドウシテモ或ル程度ノ節約ヲスルニアラザレバ、之ヲ安定スルコトガ出來ナイ状況ニ云フモノガ大變ナ減石ニナル譯デ、普通此ノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイドウシテモ或ル程度ノ節約ヲスルニアラザレバ、之ヲ安定スルコトガ出來ナイ状況ニ云フコトニナルカラ、丁度其ノ差額ダケノノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイノデスガ、酒ニ依リマスレバ、平均二割五分、三杯ドコロデヘナイン、三杯半モ四杯モ食フト云フコトニナルカラ、丁度其ノ差額ダケノノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイアルモノガ一割位アル、コンナコトカラ云ツテモ、又一面晚酌ヲヤリマシタナラバタラハ税金ヲ含メテノ價格デアリマスルガ、コチアルモノガ一割位アル、ソレガ少クトモ八貫目位アツテ、其ノ價格ハ酒ト同類デアル、酒ハ用途ヘ大變ナモノデ、是ハ燒酎ニモナリマスレバ、燒酎粕ガ又肥料ニモ、飼料ニモナル、又奈良漬トカ、山葵漬トカ、生魚漬ニシテ外國へ輸出ヲ致シテ居ル、是等モ皆粕デアリマス、粕ノ用途ト云フモノハ何十種類モアルノデアリマス、是ガ良イ酒デゴザイマシタラ、アリマス、殆ド一割程アル、ソレガ少クトモ八貫目位アツテ、其ノ價格ハ酒ト同類デアル、酒ハ用途ガアル、サウ云フモノデ二割カラノモノハ、差引ガ出来ル譯デアリマスシ、又粕ノ物ノ糊ニ皆ナツテ居ルノデアリマシテ、各、アリマス、ソレカラ其ノ次ノ糠ハ、貿易品ノ綿織物、綿織物ノヤウナ外國ニ出マス所ノ織物、綿織物ノヤウナモノハ皆ソレデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ糠ハ、

テテ居ルノデハナクシテ、荒糠ハ油ヲ採ルトカ、大切ナ牛馬、家畜ノ飼料ニナルノデアリマス、其ノ飼料ノ缺乏ト云フコトハ大振リ當デルト云フコトヲ、已ムヲ得ズナサケレバナラヌ事柄トシテ、政府ガ左様ニ行ツタコトト存ジマス、隨ヒマシテ今回私共ガ入閣致シマシタ後ニ於キマシテモ、等シク米ハ絶對的ニ確保シナケレバナラヌノデアリマス、其ノ飼料ノ缺乏ト云フコトモ亦今日ノ日本ノ實生活ノ上カラ申シマスナラバ、必要ナ品物デアリマスノデ、此ノ造石ニ付キマシテハ、減石ヲ幾分モ緩和シヨウト云フコトヲ、只今考慮致シテ居ル最中デアリマス
○山川委員 只今ハ米ノ不足ノ結果節米ノ一方法トシテ減石ヲシテ、節米ノ二百万石程ヲ得ヨウト云フ思召デアルト云フ風ノ御答辯デゴザイマシタガ、私ハ是ハ節米ニハナラナイト思フノデアリマス、酒ハ米カラ造ル、米カラハ糠ガ出来ル、其ノ他粕ガ出来ル、斯ウ云フ大切ナモノガ出来ルノデアリマスカラ、酒ハ言ウテ見ルナラバ、香ノヤウナモノデス、一方ニ於テ香ヲ嗅イデ、後ニ味ヲ味ハフ、是ハ香ヲ捨テテ味ダケヲ味ハフノト丁度同ジヤウナモノデ、酒ヲ取ツテモ取ラヌデモ、澤山ノ其處ニ割引ガ出テ來ル、二百万石ノ減石ヲ目標ニシテヤラレタ所デ、ソコデ糠トトハ、ドウシテモ或ル程度ノ節約ヲスルニアラザレバ、之ヲ安定スルコトガ出來ナイ状況ニ云フモノガ大變ナ減石ニナル譯デ、普通此ノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイドウシテモ或ル程度ノ節約ヲスルニアラザレバ、之ヲ安定スルコトガ出來ナイ状況ニ云フコトニナルカラ、丁度其ノ差額ダケノノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイノデスガ、酒ニ依リマスレバ、平均二割五分、三杯ドコロデヘナイン、三杯半モ四杯モ食フト云フコトニナルカラ、丁度其ノ差額ダケノノ頃ナラバ三分カ四分シカ搗イテ居ラナイアルモノガ一割位アル、ソレガ少クトモ八貫目位アツテ、其ノ價格ハ酒ト同類デアル、酒ハ用途ヘ大變ナモノデ、是ハ燒酎ニモ、飼料ニモナル、又奈良漬トカ、山葵漬トカ、生魚漬ニシテ外國へ輸出ヲ致シテ居ル、是等モ皆粕デアリマス、粕ノ用途ト云フモノハ何十種類モアルノデアリマス、殆ド一割程アル、ソレガ少クトモ八貫目位アツテ、其ノ價格ハ酒ト同類デアル、酒ハ用途ガアル、サウ云フモノデ二割カラノモノハ、差引ガ出来ル譯デアリマスシ、又粕ノ物ノ糊ニ皆ナツテ居ルノデアリマシテ、各、アリマス、ソレカラ其ノ次ノ糠ハ、貿易品ノ綿織物、綿織物ノヤウナ外國ニ出マス所ノ織物、綿織物ノヤウナモノハ皆ソレデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ糠ハ、

圓モ損ヲスル、何處カラ考へテ見マシテモ、
アル、其ノ節米ノ方法ハ他ニ求メナケレバ
ナラスト、私ハ恩フノデアリマス、サウ云
フコトヲ一寸モ圖ラズニ、酒ヲ四分八厘減
ジサヘスレバ二百万石減石出來ル、米ヲ七
分搗ニスレバ百二十万石減石ガ出來ルト云
フノハ、ソレハ机ノ上ノ算盤デアリマシテ、
事實ニ於テハ何モナラナイ、差引クト後ニ
損ガ立ツノミナラズ酒ヲ減石セシメタ結果
惡酒ガ非常ニ流行スルノデアリマス、惡イ
酒ヲ販賣スルノデアリマス、ソレデ是ハ
大藏大臣ガ是非ニ御取調べニナラナケレ
バナラスト思フコトハ、日本デ造リマシタ
酒ト、賣リマシタ酒ト、ドレダケノ酒ノ石
數ガ増シテ居ルカト云フコトノ差額デアリ
マス、一割ヤ一割五分、二割ノ水ノ嵩ガ上
ツテ、四百万石ノ酒ガ四百五十万石ノ嵩ニ
賣レテ居ルト云フノデアリマシタナラバ、
ソレハ差支ハアリマセヌガ、若シ四百万石
ノ酒ガ六百万石ニナツテ市場ニ出テ居ルト
云フコトニナツカラ、ソレコソ水ヲ入レテ
居ル、水ヲ混ゼテ、水ノ腐敗ヲ防ガング爲
ニ、色々ノ藥ヲ混ゼル、其ノ藥ガ人間ノ身
體ニ害ニナル、衛生上ニモ大變ナコトニナ
ル、又色々アチラコチラノ生產方面、漁業
地方面、鑛山方面ニモ酒ハナイ、酒ガナイ
所ナラバモウ俺ハソンナ所ニ居ラレナイ、
酒ノアル所ノ都市へ行ク、酒ノアル工場へ
行ク、斯ウ云フヤウナコトニナツテ、酒ノ
爲ニ色々ナ弊害ガ釀成サレテ居リマスカラ、
サウ云フコトヲ打忍ンデモ、二百万石ダケ
ハ生命ニハ替ヘラレヌ、生命ノ素デアル米
ニハ替ヘラレヌト云フコトデ、御儉約ニナ
リマシタケレドモ、ソレハ本當ノ近眼算用

デアリマシテ、實際ノ計算デハナイ、生キ
タ算盤デハナイト私ハ思フノデアリマス、
是ハ只今ノ大藏大臣ノ時デハゴザイマセヌ
ケレドモ、夫キナ國ノ不調法ノ一つデハナ
イカト云フ風ニ思フノデアリマス、ドウゾ只
今ノ質問ニ對スル大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス
○櫻内國務大臣 酒ニ對スル色々ナル御詰
ヲ承リマシタガ、私其ノ御意見ニ對シマシ
テハ、決シテ反對ヲ致ス者デハアリマセ
ヌ、准比ノ或右ヲ攻シマンタ皆寺一喜

兎ニ角此ノ減石ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ十五年度ニ於キマシテ、之ヲ緩和致スコトハ是非ヤリタイト考ヘテ居リマス、更ニ十五年度ニ於テサウ云フ計畫ヲヤルノミナラズ、本年度ニ於キマシテモ、何等力ノ方法ヲ講ジテ、相當ノ石數ヲ得ルヤウニ致シタイト、目下考究中デアリマス、將來ニ於ケル酒ノコトニ付キマシテハ一層考ヘマシテ、餘リ減石ナドモシナイヤウニ致シタク云フ風ニ考ヘテ居リマス

カト思フノデアリマス、此ノ産業組合ハ明治三十八年デアリマシタカ、其ノ時代ノ大臣等ガ、斯ウ云フ新シイ方法ヲ日本ニ施行スルニ付テ、容易ナラザル所ノ苦勞ヲシテ之ヲ弘メラレ、又勿體ナクモ此ノ産業組合ニ御獎勵金ヲ御下賜ニナツタコトモアルトト雖モ、斯ウ云フモノニ課稅ヲスルコトハ宜シクナイト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ趣旨カラ考ヘマシテモ、假令戰時タリト雖モ、斯ウ云フモノニ課稅ヲスルコトハ宜シクナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、實際吾々モ私共ノ信用組合ガ創立サレテ以來重役ヲ致シテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、役員共ハ皆無報酬デ、又仕事ヲシテ居ル者モ、ドウカスウカ自分ノ家ノ飯米ヲ以テ食フコトノ出來ル家ノ恩子ヲ頼ンデ、ソレニ仕事ヲサセテ居ル、初メノ間ハ仕事ガ少イカラ、遊び半分ノヤウニヤツテ居テ、月給モヤラヌデモ宜イヤウナコトデアリマシタガ、近頃ハ中々仕事モ殖エテ來タ、ケレドモヤハリ昔ノ習慣デ二十三圓カ二十五圓位ノ僅カナ給料デ働イテ居ル、斯様ニ努力シテ働イタ結晶トシテ、今日積立金毛出来、獨リ遊びガ出來ルヤウニナツテ來タノデアリマス、而シテ茲ニ政府ノ目ニ餘ツテ居ルコトハ、產業組合其ノモノデナク大キナ團體ニ於テ、普通ノ工業、普通ノ商業ト異ナラヌヤウナ大量ノ商ヒヲヤツタリスル、又政策モヤツタリスルト云フヤウナコトハ、是ハ商業ト同行爲ヲスルデハナイカ、サウスレバ商人ト同ジコトデアルカラ、何トカシテ之ニ擔稅ヲセシメナケレバナラヌノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思召ニナツタ結果デハナイカト思フノデアリマス、其ノ節、町村ニアル數多ノ信用組合ナルモノハ、只今申上ゲタ通り、皆ノ者ガ薄給デ裏

心勵イテ、サウシテ茲ニ積立金ナドモ拵ヘテ、堅實ナ發達ヲシテ來タノデアリマス、税金ハ僅カノヤウデアリマスケレドモ、之ヲ御取リニナルト云フコトハ、御取リニテラスト云フコトトハ、國家ガ獎勵シテ居ル所ノ事業ト一種ノ自由競争ノ機關デアルト云フコトトノ、其ノ見別ケノ變リガ出來テ来ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテ、モウ一應私ノ得心ノ行クヤウニ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○櫻内國務大臣 産業組合及び商業組合、工業組合是等ハ各特殊ナ使命ヲ持ツテ出来テ居ルノデアリマシテ、何レモ其ノ使命ニ向ツテ努力ヲサレテ居ルノデアリマス、殊ニ産業組合ハ御承知ノ通り明治三十三年以來、其ノ使命ノ爲ニ非常ニ効イテ參ツテ居リマシテ、同時ニ今日非常ニ發達ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ産業組合ト云フ一つノ團體ヲ、唯、昨今色々ナ事業ヲシテ居ルトカ何トカ云フヤウナ關係デ、色々世間デ議論モアリマスガ、併シソレハ産業組合員ダケニ限ツテ仕事ヲシテ居ルノデアリマシテ、産業組合本來ノ使命ニ向ツテ努力シテ居ルモノト、私共ハ認メテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今回課稅ヲ致シマスノニ、産業組合ヲ商業者トシテ課稅スルト云フ意味デハアリマセヌ、産業組合ガ特殊ノ使命ヲ持ツテ居ルト云フコトダケハ、明ニ認メテ居ルノデアリマス、唯要點ハ斯様ナル今日ノ時局ニ際シマシテ、財政上モ容易ナラザル時デアリ、且ツココ數年間ハ厖大ナル國費ト云フモノハ容易ニ減ラナイ、隨ヒマシテ斯ノ如キ際ニ、若シ多少デモ餘地ノアル方面ガアツタストレバ、此ノ協力ヲ求メルト云フ事柄ハ、是ハ私爲シテモ宜

イ思フノデアリマス、斯様ナル意味ニ於テ産業組合ニ對シテ、其ノ剩餘金ノ配分スルモノガ三分以上ニナツタ場合ニ於テノミ、普通ノ法人ノ所得ニ課ケル所ノ法人税ノ税率ノ半分ダケ負擔シテ貰フト云フ意味ニアリマシテ、今御話ノ各組合員ノ利益ノ爲ニ、組合員ノ出荷スルモノ、或ハ組合員ノ購入スルモノ、之ニ比例シテ利潤歩合ヲ分配スルモノハ、此ノ課税標準ニナツテ居ラナイノデアリマス、唯組合ノ剩餘金ガ先刻申シマシタ通り、三分以上ニナリマシタ場合ニ於テノミ、之ヲ課ケルノデアリマシテ、普通ノ法人ノ如ク其ノ資金ニ對シテハ課税ヲ致サナインミナラズ、所得ニ對スル所ノ率モ半額ト云フコトニ致シマシテ、唯此ノ際特別ニ負擔ヲシテ貰フノデアツテ、永續的ノ性質ヲ含マシテ居ルモノデナイノデアリマス、普通ノ課税トハ自ラ性質ガ變ツテ居ルト云フコトヲ、御諒解願ヒタイト思ヒマス○堀切委員長 山川君、御約束ノ時間ニナリマシタガ如何デセウカ、實ハ高橋君ハ病氣デ一兩日出席ガ難カシイサウデ、一時間ダケ高橋君ニ残シテ、此ノ邊デアナタハ止メテ戴キタイト思ヒマス、高橋君ガドウシテモ來ラレナカツタラ、殘リノ分ヲアナタニ廻シマスカラ……

ト、政府ノ意ノアル所ハ分リマシタガ、今
回ノ税制改正ニ依リマシテ、所得税、臨時利得
利得税ト云フモノハ、必要経費トシテ損金ニ
ニ算入シナイト云フコトニ相成ツテ居リマス
ス、法人ニ於キマシテモ法人税ト臨時利得
税ハ、損金ニハ計算シナイト云フコトニナ
ツテ參リマスルト、個人ノ事業ニ對スル税
ノ負擔モ、又法人ノ負擔ト云フモノモ、非
常ニ重課セラルルト云フコトガ考ヘラレテ
來ルノデアリマス、先日ノ委員會ニ於キマ
シテ大藏大臣ハ、民間ニ居ツタ當時ニ於テ
ハ、是等ノ税ノ計算ヲ損金ニ入レルコトガ
至當デアルト云フヤウニ考ヘテ居ツタケレ
ドモ、就任以來色々調査ノ結果、是等ノ税
金ト云フモノハ事業利得ニ對スル利益處分
ト同様ニ看做スト云フコトガ、妥當ダト云
フ風ニ考ヘルニ至ツタト云フ御答辯ガアツ
タノデアリマスガ、是ハ急ニサウ云フ風ニ
税ノ徵收上、御都合的ニ改論サレタノデハ
ナイカトモ考ベルノデアリマスガ、從來政
府ハ總テ税ノ支拂ト云フモノハ、損金ニ計
算シテ居ツタカラ、ソレヲ
上スルト云フコトガ徵稅上ノ大原則デアツ
タト、私ハ思フノデアリマスガ、サウシマ
スト今回ノ税制改正ニ依リマシテ、是等ノ
税ハ損金ニ計算シナイト云フコトガ、理論
的ニ正シイノデアルカ、或ハ又從來サウ云
フモノヲ損金トシテ必要經費ニ計算シテ居
ツタコトガ、間違ツテ居ツタカラ、ソレヲ
今回ノ税制改正ニ依ツテ是正致シタイト云
フ御方針デアリマスカ、此ノ點ヲ先づ一
御伺致シタイト思ヒマス

レカラ此ノ度改正ヲセントスル所ノ徵稅ノ方法ヲ行ツテ居ル所モ澤山アルノデアリマス、何レガ正當デアルカト云フコトニ付キマシテ、吾々ハ多年現在ノ徵稅方法ニ依ツテヤツテ居リマシタノデ、是ガ最モ正當ナルヤリ方デアルト云フヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、併シナガラ能ク研究シテ見マスト、ドウシテモ改正法ノ方ガ適當ナルト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、ナゼナラバ若シ此ノ利益ヲ次ノ期ノ經費トシテ支出致スト云フコトニ致シマスルト、其ノ次ノ期ノ計算ハ、前期ノ決算ニ基ク所ノ利益、即チ稅金ノ關係ニ於テ種々變化ヲシテ行クト云フ事柄ガ一ツアリマス、今一ツハ稅金ト云フモノハ其ノ期ノ利益ニ課カルモノデアリマスガ故ニ、其ノ期ニ於テ處分スルコトガ、是ガ最モ適當デアル思フノデアリマス、昨日モ私強ヒテ反駁ハ致シマセヌデシタガ、森田君ノ御尋ニ對シテ私答へマシタ通り、會社ノ決算、個人ノ決算、ドノ決算ニ致シマシテモ、其ノ期ノ決算ニ於テ、其ノ期ノ決算ニ對スル所ノ負擔ハ、全部拂出スト云フ事柄ガ一番正確ナ經理方法デアルト私ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ今期利益金ガアツタ場合ニ於テ、今期ノ利益金ニ課ケル稅金ヲ、其ノ期ノ經費ノ中カラ落スト云フコトガ正當デアルガ、ソレヲ其ノ次ノ期ニ持越スト云フ、コトダケハ、ドウモ間違ヒデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ私ハ解散ノ場合ノ例ヲ申シタノデアリマスガ、ドウシテモ解散ラヌル譯デハナク、無論多ク、繼續シテ行クノデアリマスケレドモ、繼續シテ行クニシマシテモ、決算ヲ其ノ期デシテ置カズニ、次ノ期ニ持越シタ場合、解散ガアルト、ドウシテ

モ配當シテ残ルモノガナイカラシテ、税金ダケハ新ニ徵收シテ拂ハナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマシテ、是ハドウシテモ不合理デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、之ヲ理論的ニ詳細ニ申シマスト、税金ハ本期ナラ本期ノ利益ニ對シテ課ケルモノデアルカラ、其ノ課ケラレル本期ニ於テ、其ノ負擔ヲ爲シテ行クベキガ當リ前デアルト考ヘルノデアリマス、ソレカラ稅務署ニ於テソレヲ徵稅スル場合ニ於テ色々變更シテ來ル、サウ面倒臭イコトガ出來ルカト云フ御話デアリマスガ、私ハ今度ノ税金デハ明ニナルト思ヒマス、利益ガ千圓アツタ場合ニハ、千圓ニ對シテ課稅スル譯デアリマスカラ、課稅ノ率ハキチント出テ來ル、唯稅ヲ課ケル場合ニ於テ利益方千圓シカナイノニ、二千圓アルモノトシテ課ケラレルト云フコトハ、根本ガ間違ツテ居ルモノデアリマスカラ、訂正ヲ求メ得ラレルノデアリマスガ、間違ヒナイモノデアルナラバ、キチント税金ガ明ニナルノデアリマシテ、所謂帳簿ノ建前ハ税金ニ引當テル金ヲ計上スレバ宜イノデハナイカト思フノデアリマス

○木村委員 只今ノヤウナ御答辯ハ度々此ノ委員會デ伺ツタノデアリマスガ、實際ノ會社ノ經理ニ於キマシテ、其ノ期ノ計算、或ハ利益ノ處分ニ於キマシテ、之ヲ税金引當金トシテ保留スルコトガ、近時ノ大キナ會社、或ハ一流ノ法人ニ於キマシテハ相當アルト思フノデアリマス、併シナガラ是ハ極特殊ナ方面デアリマシテ、恐ラク資本ノ餘リ大ナラザル、マダ基礎ノサウ鞏固デナイ法人ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナコトハ從來ヤツテ居ラヌゾデ、或ハ今度ノ稅

モ配當シテ残ルモノガナイカラシテ、税金ダケハ新ニ徵收シテ拂ハナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマス、是ハドウシテモ不合理デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、之ヲ理論的ニ詳細ニ申シマスト、税金ハ本期ナラ本期ノ利益ニ對シテ課ケルモノデアルカラ、其ノ課ケラレル本期ニ於テ、其ノ負擔ヲ爲シテ行クベキガ當リ前デアルト考ヘルノデアリマス、ソレカラ稅務署ニ於テソレヲ徵稅スル場合ニ於テ色々變更シテ來ル、サウ面倒臭イコトガ出來ルカト云フ御話デアリマスガ、私ハ今度ノ税金デハ明ニナルト思ヒマス、利益ガ千圓アツタ場合ニハ、千圓ニ對シテ課稅スル譯デアリマスカラ、課稅ノ率ハキチント出テ來ル、唯稅ヲ課ケル場合ニ於テ利益方千圓シカナイノニ、二千圓アルモノトシテ課ケラレルト云フコトハ、根本ガ間違ツテ居ルモノデアリマスカラ、訂正ヲ求メ得ラレルノデアリマスガ、間違ヒナイモノデアルナラバ、キチント税金ガ明ニナルノデアリマシテ、所謂帳簿ノ建前ハ税金ニ引當テル金ヲ計上スレバ宜イノデハナイカト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 従来ノ會社ノ經理方法カレ見ルト、ドウモ一寸頭ニ入りニクイヤウナ感ジガアリマスガ、十分御研究下サルト、是ハ能ク分ツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ期ニ利益ガアレバ、此ノ期ニ税金ヲ拂フ、ソレヲ其ノ次ニ持越スト、若シモ其ノ次ノ期ノ營業成績が惡カツタ場合ニハ、却ツテヲカシナ結果ヲ起シハシナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレデ其ノ期ノ利益ニ對シテ税金ヲ拂フト云フコトガ確定シテ居リマスレバ、丁度株式配當金ヲ拂フト同じ手續ニ於テ、帳簿ノ整理ヲシテ置キサヘスレバ、キチント行クノデハナイカト

○櫻内國務大臣 従来ノ會社ノ經理方法カレ見ルト、ドウモ一寸頭ニ入りニクイヤウナ感ジガアリマスガ、十分御研究下サルト、是ハ能ク分ツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ期ニ利益ガアレバ、此ノ期ニ税金ヲ拂フ、ソレヲ其ノ次ニ持越スト、若シモ其ノ次ノ期ノ營業成績が惡カツタ場合ニハ、却ツテヲカシナ結果ヲ起シハシナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレデ其ノ期ノ利益ニ對シテ税金ヲ拂フト云フコトガ確定シテ居リマスレバ、丁度株式配當金ヲ拂フト同じ手續ニ於テ、帳簿ノ整理ヲシテ置キサヘスレバ、キチント行クノデハナイカト

○大矢政府委員 尚ホ多少私カラ補足的ニ申上げタイト存ジマス、從來ノ課稅ニ於キマシテ、新設法人デ現ニ十割ノ利益ヲ舉ゲルト云フヤウナ場合ニハ、ドノ程度ノ課稅率ハ九三・八五ニナルト存ジテ居リマス、ニナルカ、大分重イ課稅ニナリマシテ、度慶大臣ヨリモ御話ノアリマシタ通り、最高稅率ハモニガ明ニ出ルカラ、今度ハ其ノ百万圓

モ配當シテ利益ノアツタ場合、稅金ヲ保留シテ置クコトガ會社ノ經理上宜ト云フ風ニ考ヘラレテ來ルノデアリマス、サウ云フ場合免ニ角稅金ヲ拂ツテ、ソレヲ必要経費ニ算入シナイ場合ニ於テハ、實際ニ於テ損ヲシテ居ルガ、稅金ヲ取ラレル、前期ノ稅金ヲ本期拂フカラ損ニナルト云フ風ナシテサウ云フ例ガ相當ニアルト云フコトガ場合ガ往々——往々デハナイ、今後頻々ト想像サレテ來ルノデアリマシテ、謂ハバ二重課稅ト云フヤウナコトニ相成ツテ來、法人ノ經營、會社ノ運營ニ於テ、其ノ基礎ヲ脅ヤカスト云フヤウナ事例ガ澤山起ツテ來ルノデハナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、個人ノ事業經營ニ於キマシテモ、スルノデハアリマセヌカラ、年々ノ事業ノ利益ヲ多少ツツ保留シテ、事業ノ改善經營ニ充テル、生產ノ力ヲ増大シテ行ク、法人ニ於キマシテモ特殊ノ會社デアルナラバ、増資モ出來ルデアリマセウガ、資金調整法モアルシサウハ行カナイ、事業利益ノ蓄積保留ニ依ツテ、生產力擴充ニモ當ツテ行ク、事業經營ニモ當ツテ行ク、能率ヲ増進シ、又從業員ノ優遇ニモ當ツテ行クト云フコトガ、最近ニ於ケル大體ノ例デアルト思フノデアリマシテ、斯ウ云フコトガ法人ノ將來ノ經營上ニ於テ非常ナ重荷トナルノデハ、負擔ノ委員會ニ於テ大臣ノ考ヘテ居ラレル所ハ、此ノ委員會ニ於テモ度々承ツテ居リマスガ、此ノ點ニ付テハ尙ホ十分御考ヲ願フコトガ

モ配當シテ税金ヲ取ラレルト云フコトニナルガ、年々サウ云フヤウニナツテ來ルトスレバ、チツトモ變ラナイノデアリマス、變ル所ハ稅額ニ對スル稅金ガ、一種ノ增稅ニナルイ、又稅金ハ利益ニ對シテ課ケルノデアルカラ、其ノ利益ノアツタ時ニ稅金ヲ拂ヘバ、會社ノ經理上ニ惡イ影響ヲ及ボサナイト云フヤウナ御答辯デアリマスガ、將來會社ノ經理ニ當ツテ稅金ノ支拂、即チ利益ノアツタ場合會社ノ經理上稅金ハ保留セシメト云フヤウナコトニ、利益處分ノ方法ヲ何カ特定シヨウト云フ御考デモアルノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 従来ノ會社ノ經理方法カレ見ルト、ドウモ一寸頭ニ入りニクイヤウナ感ジガアリマスガ、十分御研究下サルト、是ハ能ク分ツテ來ルノデハナイカト思ヒマス、此ノ期ニ利益ガアレバ、此ノ期ニ税金ヲ拂フ、ソレヲ其ノ次ニ持越スト、若シモ其ノ次ノ期ニ營業成績が惡カツタ場合ニハ、却ツテヲカシナ結果ヲ起シハシナイカト私ハ思フノデアリマス、ソレデ其ノ期ノ利益ニ對シテ税金ヲ拂フト云フコトガ確定シテ居リマスレバ、丁度株式配當金ヲ拂フト同じ手續ニ於テ、帳簿ノ整理ヲシテ置キサヘスレバ、キチント行クノデハナイカト

○大矢政府委員 尚ホ多少私カラ補足的ニ申上げタイト存ジマス、從來ノ課稅ニ於キマシテ、新設法人デ現ニ十割ノ利益ヲ舉ゲルト云フヤウナ場合ニハ、ドノ程度ノ課稅率ハ九三・八五ニナルト存ジテ居リマス、ニナルカ、大分重イ課稅ニナリマシテ、度慶大臣ヨリモ御話ノアリマシタ通り、最高稅率ハモニガ明ニ出ルカラ、今度ハ其ノ百万圓

關係カラ致シマシテ、新設法人ガ第一期以降毎期十割ノ利益ヲ擧ゲテ居ル、假ニ資本金ガ百万圓ト致シマシテ、事業年度ハ一年デアリマスト、ソレガ毎事業年度百万圓ツノ利益ヲ擧ゲタト致シマシテ、十期計算シテ見マスルト、利益ハ千万圓デアリマシテ、サウシテ稅額ノ總計ガ四百二十四万九千三百三十圓トナツテ、五割マデノ稅ニハナツテ居ナイノデアリマス、併シ兎ニ角臨時利得稅、所得稅、附加稅、營業收益稅、附加稅等ヲ通算シテ見ルト、最高九三・八五マデノ課稅ヲ受ケルコトニナリマシテ、是以上稅率ノ上デ増稅ノ餘地ガナシ、併シ十期平均スルト事業利益ニ對シテ稅ガ半分モ課カツテ居ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ如何ニモ稅率ニ於テハ非常ニ高ク見エルガ、實ハ百万圓ノ資本金ノ會社ハ、年ニ百万圓モ儲ケテ、十期ニ付テ平均シテ見ルト稅ノ負擔ガ半分ニモナツテ居ナイト致シマスレバ、尙ホ多少負擔ウ云フ風ニスル結果ト致シマシテ、臨時利得稅等ニ於テ、資本ニ對シテ年一割ナラ一割以上ノ收益率ヲ見ルト云ツテモ、從來ノヤウニ稅ヲ損ニ見ル場合ト、今度ノヤウニ稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデ、此ノ點モ亦非常ニ變ツテ居ル、一方ニ於キマシテ所得稅、臨時所得稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデアリマシテ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスケレドモ、其ノ期ノ所得ニ對スル稅ヲ見ル場合ニハ、臨時利得稅ヲ差引イタ残リモ、所得ニ見ルト云フノモ大キナケレバナラスト云フコトニ致シマスト、全體ノ利廻ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、斯ウ云フ點モ臨時利得稅ノ稅率ヲ見ナイト云フノガ、此ノ度ハ稅ヲ損ニ見ナイトカラ、資本ニ對シテ年一割以上ノ利廻ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、若シモ今之ヲ從來ノ通り稅引計算デアリマス、隨テ是等ヲ見比べマシテ稅率モ盛ラレル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマシテ、若シモ今之ヲ從來ノ通り稅引計算デアリマス、以前ノヤウニ法人ノ負擔が低イ場合ニハ、斯ウ云フコトハナカツタノデアリマスガ、超過所稅ノナイ場合ニハ勿論デアリマスノデ、以前ノヤウニ法人ノ負擔が低イ場合ニハ、斯ウ云フ現象ガ起ラナカツタ、大體比例稅率ニ於テ課稅スル場合ハ、斯ウ云フ極端な事例ガ起ツテ來ナイノデアリマス、隨ヒマシテ所稅ノ如キハ損金ニ

計上シテモ、左程會社ノ經理狀態ニモ影響ヲ來サズ、又稅ノ負擔カラ云ツテモ、每期不均衡ハ起ラナカツタノデアリマスガ、サウ致シマスト、ドウシテモ從來ノヤウナ課稅標準ノ計算方法デハ行カナイ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマシテ、ソレデ稅引ノ計算ハドウシテモ負擔ノ均衡カラ云ツテ止メナケレバナラヌ、併シ又一方ニ於テ斯ウ云フ風ニスル結果ト致シマシテ、臨時利得稅等ニ於テ、資本ニ對シテ年一割ナラ一割以上ノ收益率ヲ見ルト云ツテモ、從來ノヤウニ稅ヲ損ニ見ル場合ト、今度ノヤウニ稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデ、此ノ點モ亦非常ニ變ツテ居ル、一方ニ於キマシテ所得稅、臨時所得稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデアリマシテ、斯ウ云フコトニ致シマスト、全體ノ利廻ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、斯ウ云フ點モ臨時利得稅ノ稅率ヲ見ル場合ニハ、臨時利得稅ヲ差引イタ残リモ、所得ニ見ルト云フノモ大キナケレバナラスト云フコトニ致シマスト、全體ノ利廻ニナル、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、斯ウ云フ點モ臨時利得稅ノ稅率ヲ見ル場合ニハ、十分考慮ヲ運ラサナケレバナラスト思フノデアリマシテ、一割以上ノ收益率ノ場合ニノミシテ行キマシテ、國庫ノ收入モ隨分減リ、

ガ爲デアリマス、ソレカラ稅率ノ盛方等モ、ソレ等ヲ勘案シテ盛ツタ次第デアリマス、尙ホ……

○堀切委員長 御話中デスガ、餘リ詳シクスルト、却テ要點ヲ離レテシマツテ、理解シ難クナツテ來ルノデアリマス、併シ是等ノ法人ハ、ソレデハ增徵ノ餘地ガナカ云ト云フト、今少ニ増徵ヲシテモ宜イデハナカラウカト云フ感ジガ致スノデアリマス、サウ致シマスト、ドウシテモ從來ノヤウナ課稅標準ノ計算方法デハ行カナイ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマシテ、ソレデ稅引ノ計算ハドウシテモ負擔ノ均衡カラ云ツテ止メナケレバナラヌ、併シ又一方ニ於テ斯ウ云フ風ニスル結果ト致シマシテ、臨時利得稅等ニ於テ、資本ニ對シテ年一割ナラ一割以上ノ收益率ヲ見ルト云ツテモ、從來ノヤウニ稅ヲ損ニ見ル場合ト、今度ノヤウニ稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデ、此ノ點モ亦非常ニ變ツテ居ル、一方ニ於キマシテ所得稅、臨時所得稅ヲ損ニ見ナイト云フノガ、大キナケレバナラスト云フノデアリマスケレドモ、其ノ期ノ所得ニ對スル稅ヲ見ル場合ニハ、臨時利得稅ヲ差引イタ残リモ、所得ニ見ルト云フノモ大キナケレバナラスト云フノデアリマスケレドモ、其ノ五万圓ハ決シテ、其ノ期ノ十万圓ノ利益カラ拂フニアラズシテ、前期ノ十万圓カラ拂フ、斯様ニ考ヘラルベキモノデアラウト思ヒマス、又實際ノ會社ノ經理ニ於キマシテモ、稅金引當金其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、前期ノ益金ヲ後期繰越金ト致シマシテ、其ノ中カラ拂ツテ居ルノデアリマシテ、事實拂フノガ翌期ニナルダケデアリマシテ、ソレヲ損金ニ見ル爲ニ、現在ハ差引イテ居ルト云フコトノ形ニナツテ居ルノニ過ギナイト思ヒマス、

○堀切委員長 理論上ハサウデスガ、實際ノヤリ方ハサウデナイト云フノガ、今ノ御議論ノ點ノヤウニ思ヒマス

○木村委員 只今主稅局長ノ御答辯ニ依リ

マ・スルト、從來法人ニ於テモ相當儲ツテ居ツタ會社ガ相當長イ、例ヘバ十年間ノ稅金ヲ見ルト云フト、五割ニモ達シナイト云フヤウナ御話ガアルノデアリマス、併シ負擔ノ均衡ト云フ點カラ、勿論此ノ稅制改正ニ重點ガ其ノ點ニアルコトハ、勿論デハアリマスルケレドモ、從來ノ觀念カラ言ツテ、稅金ト云フモノハ、事業ノ必要經費トシテ、之ヲ減ジテ參ツタ建前カラ申シマシテ、從來ハサウ云フコトガ課稅ノ大キナ方針トシテ、大藏省ハヤツテ來タノデス、課稅ノ不均衡等ガアルナラバ、從來ノサウ云フヤウナ方針ハ變ヘナイデ、或ハ稅率ヲ適當ニ是正シテ行クト云フヤウナ方法モアルデアリマセウシ、勿論今度ノ改正案ニ依ツテ臨時利得稅、或ハ法人稅ハ必要經費ト認メナイ、是等ノ認メナシト云フ建前カラ言ツテ、或ハ臨時利得稅ノ稅率、法人稅ノ稅率等各々關聯シテ見比べテ、是等ノ稅率ヲ決定サレタト云フヤウニ、只今ノ御話ニナリマシタガ、是ハ當然ノゴトグラウト思フノデアリマスガ、此ノ期ニ對スル稅金ト云フモノハ、次ノ期ニ於テ、徵收セラレル、支拂ハレルト云フ從來ノ行キ方カラ申シマシテ、却ツテ會社ノ將來ノ經理ニ非常ニ惡イ影響ヲ來タシテ、サウシテ配當ト云フ風ナ點カラ申シマシテモ、又會社ノ納稅スルト云フ建前カラモ、例ヘバ實際ニ利益ガアリマシテモ、ソレヲ利益處分ニ於テ、稅引トシテ保留サレテ居リマシテモ、會社ノ利益ト云フモノハ全部ガ「キヤツシユ」デ以テ利益ニ計算サレテ居ルモノデハナイト思ヒマス、ソレガ色々ナ商品トナリ、或ハ固定資產ニ化シテ居ル、或ハ他人ニ對スル貸金トシテ、貸借ノ貸トシテ、財產ガ殖エテ居ルト云フ風ナコトガ當

然デアリマシテ、翌期ニナツテ税トモ認メ
チイデ、サウシテ其ノ利益ガ澤山ナイニモ
拘ラズ、澤山ノ税ヲ課セラルト云フ風ナ
場合ニ於キマシテハ、會社ニ依ツテハ税ノ
支拂ニモ、非常ニ困難ヲ感ズルヤウナ場合
モ生ズルデアリマセウシ、會社ノ經理上非
常ニ混亂ヲ來タスノデハナイカ、斯ウ云フ
コトガ心配セラレルノデアリマス、併シ是
等ハドウモ政府ノ方ノ考ト、吾々ノ方ノ考
ト大分違フヤウデアリマシテ、是以上ハ議
論ニ至リマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、民
間ニモ非常ナ要望ガアルト云フコトヲ御考
ヘヲ願ツテ置ギタイト思フノデアリマス
次ニ特別法人税ノ問題ニ關聯ヲ致シマシ
テ、此ノ税法ノ全體ヲ通ジマシテ、法人ノ
資本ト云フモノ、例ヘバ法人税ニ於キマシ
テモ、収益ガアツタ場合ニハ、其ノ所得ニ
對スル法人税ヲ課シ、其ノ所得ト云フモノ
ハ法人ノ資本金トシテ、拂込株式ノ外ニ積
立金等ヲ合計ヲシテ、之ヲ資本金トシテ計
算スル、又清算ノ所得ヲ計算スル場合ニ於
キマシテモ、拂込出資金、積立金等ヲ超過
シタ場合ニ於テ、ソレヲ清算所得ト見ルト
云フヤウナ場合ニ、此ノ法人ノ資本ト云フ
ヤウナモノハ、拂込金ト、積立金ト云フモ
ノヲ見ルト云フコトガ、此ノ建前ニナツテ
居ル、臨時利得税ノ計算ニ於キマシテモ、
資本ニ對スル一定ノ率以上ノ超過利得ノア
ツタ場合ニ於テハ、臨時利得税ハ課カル、
其ノ場合ニ資本ノ計算ニ對シテ、拂込出資
ト積立金ト云フモノヲ見ルト云フコトガ
言ハレテ居ルノデアリマスケレドモ、特
別法人税ニ於キマシテハ、剩餘金ノ計算ニ
於キマシテ、拂込ニ對シテ三分ト云フヤウ
ナ規定ガアリマス、ソレ以上ハ剰餘金ヲ課

ス、ソコデ此ノ剩餘金ノ計算ノ方法ニ於キ
マジテ、特別法人ノ資本ト云フモノト剩餘
金デアリマスルカラ、剩餘金ハ成程儲カツタ
モノハ全部剩餘金デアルガ、少クトモ資本
ニ對シテ何分ト云フヤウナ、三分以上ト云
フヤウナ或ル一定ノ「パー・セン・テーパー」ヲ規
定ヲ致シマシテ利益、剩餘金ト云フモノヲ
計算スルト云フ場合ニ於キマシテモ、此ノ
資本ノ計算、剩餘金ノ率、資本ニ對スル利
子ト云フモノノ計算ニ於キマシテ、特別法
人稅ニ於テハ此ノ積立金ト云フモノヲ見ナ
イ、此ノ考へ方デ此ノ法人ニ對スル資本ト
云フモノノ觀念ト、特別法人ニ對スル資本
ト云フモノノ觀念ニ對シテ、違ツタ見方ヲ
スルト云フコトハ、是ハドウ云フ御考デア
リマスカ、此ノ點ヲ御伺シテ置キタイト思
ヒマス

合ニ免稅シヨウト云フ趣旨デアルノデアリ
マスカラ、拂込出資金ノ外ニ積立金ガ相當
額アルモノハ基礎ガ相當鞏固ナモノデアル、
斯ウ考ヘラレルノデアリマス、隨ヒマシテ
基礎ノ鞏固デナイモノニ對シテノ免稅ト云
フ趣旨カラ言ヒマスレバ、拂込済出資額ノ
ミニ付テ之ヲ見ルノハ、適當グラウト云フ
風ニ考ヘテ居リマス

○本村委員 特別法人ニ於キマシテモ、利
益處分ニ於キマシテハ、ソレゞ組合法ニ
依ツテ利益處分ノ方法ト云フモノガ規定サ
レテ居リマス、剩餘金ノ何「パーセント」以
上ハ、之ヲ積立テルト云フヤウナ規定ガア
ルノデアリマシテ、年々此ノ期ヲ重ネル毎
ニ、特別法人ニ於キマシテモ積立金ガ漸次
増加シテ行クト云フコトハ、是ハ當然ニア
リマス、恐ラク特別法人ニ於キマシテモ、
事變前マデハ休眠のナモノガ隨分多カツタ
ラウト思フノデアリマスガ、此ノ事變以來
國策ノ仕事ノ丘擗ヲ擔グ生産ノ擴充、或ハ
配給等色々ナ問題ニ付テ、此ノ特別法人ト
云フモノモ、今日全國的ニ相當ニ活動シテ
居ルト思フノデアリマス、隨テ此ノ特別法
人ノ産業組合、或ハ商業組合、工業組合ナ
ドノ各種ノ組合ガ、ソレゞ若干ノ剩餘金
ヲ出シツツアルト云フコトガ、最近ノ狀況
三分ト云フヤウナ一定ノ基準ヲ置イテ課稅
スルノダ、ソレ以下ノモノニ對シテハ、課
稅ヲシナインダト云フ御話デアリマスガ、弱
小デアリマシテモ、漸次積立金ガ積エテ行
クト云フコトデアリマスナラバ、剩餘金ノ
計算ニ付テ、ヤハリ積立金ヲ見ルト云フコ
トガ、其ノ利廻ノ計算ニ於テ必要デハナイ

カト思フノデアリマス、又稅法上ノ一般法
人ノ資本ト云フモノニ對スル解釋カラ言ツ
テモ、サウデハナイカ、私ハ斯ウ考ヘルノ
大矢政府委員 ドウモ私共特別法人ニ於
ケル資本金ト、一般營利法人ニ於ケル資本
金トヲ、同一視スル譯ニハ行クマイカト思
フノデアリマシテ、此ノ度特別法人ニ對シ
テ、剩餘金ニ對スル課稅ハ致スノデアリマ
スケレドモ、資本ニ對スル課稅ヲ致サナイ
ノモ、其ノ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、
又相當利益率ガ高イ場合ニ於キマシテモ、
資本金ニ對スル利廻ヲ見テ、負擔ノ程度ヲ
加重シテ行クト云フコトモ、是等法人ニ對シ
テハ適當デハナカラウト思ツテ、サウ云フ
コトモ致シテ居リマセヌ、要スルニ年三分
以下ノ利益率ノ場合ニ免稅スルト云フノハ、
弱小法人ニ對シテノ特別ノ扱いアリマスカ
ラ、ヤハリ積立金ヲ見ナイ方ガ宜イデハナ
カラウカ、積立金ノ多イモノハ、ソレダケ
基礎ノ鞏固ナモノデアリマスカラ、積立金
マデモ加ヘテ三分ヲ超スカドウカト云フノ
ヲ見ルト云フノハ、基礎ノ鞏固デナイ法人
ニ對シテ、免稅スルト云フ趣旨カラ致シマ
シテ、如何カト存ズルノデアリマス

○木村委員 只今ノ特別法人ノ資本ニ對シ
テハ課稅シナイノダト云フヤウナコトハ、
特別法人ト云フモノノ使命ニ鑑ミテ、營業
稅モ課セヌト云フヤウナ、又法人ノ稅率ノ
約半額ト云フ風ニ、課稅ヲ輕微ニスルト云
フ 建前ハ、特別法人ノ使命ト云フモノト、ソ
レ等ハ中小ノ農業者或ハ中小ノ商工業者ノ
經營デアリ、又は等が國家ニ重要ナル仕事ノ
片棒ヲ擔グト云フ所カラ、即チ普通ノ營利

法人ト違フト云フ點ニ於テ、是等ノ稅率ヲ
成ベク安クシヨウト云フ建前グラウト私ハ
思フノデアリマス、併シナガラ此ノ資本ト
同様ニ取扱フコトガ宜イノデハナイカ、剩
餘金ノ三分ト云フヤウナ率ガ計算サレテ居
ラナイノナラバ宜イノデアリマスガ、少ク
トモ三分ト云フヤウナ稅率フ茲ニ計算スル
場合ニ於テハ、資本ト云フモノニ對シテヘ
拂込金ノ外ニ積立金ト云フモノガ多少ナリ
トモアツタ場合ニ於テハ、ヤハリソレヲ計
算シテ、資本ト云フモノニ對スル所ノ觀念
ヲ、特別法人デアラウガ、普通ノ法人デア
ラウガ、同様ニ取扱フ云フコトノ方ガ間違
ヒガナインデハナイカ、或ハ又混亂ヲシナ
イノデハナイカト云フ風ニ、私ハ考ヘマス、
マア是以上ハ議論デアリマスルカラ、只今
御話ノ點ハ餘り能ク分リマセヌガ、此ノ程
度ニシテ置キタイト思ヒマス

○堀切委員長 ドウデス、午後カラ續ケテ
御願シマセウカ
○木村委員 私ノ質問ハモウ二三點デスカ
ラ、午後ニデモ御願致シマス
○堀切委員長 ソレデハ午後續ケテ戴クコ
トニ致シマシテ、是デ休憩致シマス、午後
ハ一時十五分ヨリ開會致シマス

午後零時三十分休憩

マス、其ノ後御研究ヲ願ツタカドウカ、同
ツテ見タイ點ガアルノデアリマス、ソレハ
特別法人稅ニ關スル特別法人ノ剩餘金ニ對
スル課稅ノ問題ト關聯シタモノニアリマシ
テ、命令案要綱ヲ拜見シマスト、特別法人
ニ於キマシテ、輸出組合及ビ輸出組合聯合
會等ガ其ノ剩餘金ヲ輸出振興資金ニ積立テ
タ場合ニ於テハ、是ハ全部剩餘金ヨリ控除
シテ課稅スルコトニナツテ居ルト思フノ
デアリマス、此ノ精神ハ非常ニ宜シトイ思
フノデアリマスガ、同ジク輸出業ニ關係ノ
アル工業組合、商業組合、或ハ產業組合ニ
於キマシテモ、ヤハリ農產物、水產物ノ輸
出振興ノ爲ニ、輸出振興資金トシテ積立テ
ルコトガアリ得ルト思フノデアリマス、又
サウ云フコトハ望マシイコトダト思フノデ
アリマシテ、輸出振興資金ヲ積立テタ場合
ニ於テハ、輸出組合ニ對スルト同様ニ、輸
出振興資金ニ振向ケタト云フ精神カラ言ツ
テ、剩餘金カラ控除スベキモノデハナイカ、
斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、
又此ノ補助金ノ收入カラ見マシテモ、此ノ
輸出ニ關係ノアル工業組合或ハ商業組合、
輸出組合等ガ其ノ所在ノ府縣或ハ商工省等
ヲ通ジテ、輸出獎勵ノ爲ニ海外カラ見本ヲ
購入スル、或ハ海外ニ頒布スル見本ヲ作製
スル、或ハ工業組合ノ共同施設ノ補助以外
ニ、展覽會ヲ開催スル場合ニ補助金ヲ交付
スルト云フヤウニ、固定ノ設備ニ使用シナ
イ所ノ目的ヲ持ツタ補助金ノ收入ガ相當ニ
アル例ガアリマス、是ハ私ノ關係シテ居ル
府縣ニ於ケル工業組合、商業組合ニモ事實
ガ、成程其ノ年度内ニ於テ補助金ノ收入ガ
剩餘金ガ餘り出ナイト考ヘマス、ソレデ結
局ニ於テハ今木村サンノ仰シヤツタコトト
同ジコトニナルト思ヒマス

○木村委員 只今ノ補助金收入ノ場合デス
ガ、成程其ノ年度内ニ於テ補助金ノ收入ガ
ニ依ツテ、ソレノ用途ニ向ツテ支出シ
タ場合ニ於キマシテハ、收支差引零デアリ
マスケレドモ、例ヘバ補助金ガ今年度内ニ
アツテ、實際ノ支出ガ翌年度ニ繰越サレル
ト云フヤウナ場合ニ於テハ、ソレヲ總益金
ノ中ニ算入シマスカ

○堀切委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ
ス——木村君
○木村委員 私ハ過グル此ノ委員會ニ於テ
他ノ委員ノ質問ノ當時、關聯質問トシテ御
伺シタ點ガアツタノデアリマスガ、ソレニ
付テ研究スルト云フ御話ガアツタノデアリ
マス、其ノ後御研究ヲ願ツタカドウカ、同
ツテ見タイ點ガアルノデアリマス、ソレハ
アリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御考ヲ伺
タ場合ニ於テハ、是ハ全部剩餘金ヨリ控除
シテ計算致スコトニナツテ居リマス、ソレ
ト同ジヤウナ事例ハ外ノ商業組合、工業組
合ニ殆ドナインデアリマスガ、稀ニ人絹
工聯ト云フヤウナ所ニアルヤウデアリマス、
サウ云フ組合ガ現實ニ其ノ剩餘金ノ處分ト
シマシテ、ソレヲ輸出振興ノ爲ノ經費トシ
テ支出シタ場合ニハ問題ハアリマセヌ、剩
餘金トシテ出シタモソフ、輸出振興ノ爲ニ寄
附ヲスルトカ、處分ヲシタト云フ場合ニモ、
ヤハリ經費トシテ認メマス、又貿易組合ト
同ジヤウニ積立テタ場合ニ於テハ、ヤハリ
貿易組合ト同ジヤウニ扱ヒタイト思ヒマス
ソレカラ第二ノ點、補助金ヲ總益金ニ入レ
マシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ組合ニ於
テハソレヲ見本ノ購入等ニ支出致シマシテ、
同ジヤウニ對應スル支出ガアル、ソレヲ損金ニ
計算致シマスル關係上、其ノ補助金カラハ
剩餘金ガ餘り出ナイト考ヘマス、ソレデ結
局ニ於テハ今木村サンノ仰シヤツタコトト
同ジコトニナルト思ヒマス

○山田政府委員 サウ云フ場合ニハ、ヤハ
リ補助金ノ性質カラ見マシテ、利益金カラ
除外シテ剩餘金ニ計算シナイノデアリマス
○木村委員 其ノ點ハ特別法人税ニ對スル
命令要綱ニハツキリト明記シテ貰ヒタイ
ト思ヒマスガ、此ノ點ハサウ願ヘマスカ
○山田政府委員 今後十分調査致シマシテ、
命令ヲ作ル時ニ十分考慮致シタイト思ヒマ
ス

○木村委員 郵便貯金ノ問題ニ付テ伺ヒタ
イト思ヒマスガ、是ハ遞信省ノ所管デハア
リマスガ、大藏省ノ預金部ニ預リ之ヲ運用
シテ參ルノデ、運用上モ相當ニ大藏省トシ
テモ考ヘナケレバナラナイ問題グト思フノ
デアリマスガ、今回ノ稅制案ニ依リマシテ
銀行預金、社債等ニ付キマシテハ分類所得
稅ヲ課セラレル、更ニ綜合課稅ニ代ルベキ
分ト致シマシテハ、其ノ收入金額ノ百分ノ
十ヲ課稅ヲスル、此ノ綜合課稅ヲサレナイ
場合ニ於キマシテハ、結局ニ於テ百分ノ二
十五ト云フ課稅ヲ源泉ニ於テ引カレル、斯
ウ云フ算盤ニ相成ツテ居ルト思フノデアリ
マス、サウシマスト現在ノ定期預金三分三
厘、之ニ對シテ百分ノ二十五ト言ヒマスト、
年利ニシテ八厘二毛九糸差引二分四厘七毛
五糸ト云フ算盤ニナツテ來ルト思フノデア
リマス、又一流ノ社債ヲ假ニ四分二厘ノ利
率ト計算ヲ致シマスルト、ソレニ對スル者
分ノ二十五ト云フモノヲ差引マスト、實際
ノ手取リノ利子ト云フモノハ三分一厘五毛
ト云フコトニ相成ツテ來ルダラウト思フノ
デアリマス、産業組合ノ賄金ニ致シマシテ、
モ三千圓以上ニナレバ課稅ヲサレマス、併
シ産業組合ノ預金ニ對シテハ此ノ分類所得
稅ガ半減サレマス、併シナガラ之ヲ綜合課

稅ヲ免レル爲ニ、源泉課稅ヲ受ケルト云フ
場合ニ於テハ、同様ニ代ルベキ百分ノ十五
ト云フモノハ課稅セラレテ居ル、サウシマ
ストヤハリ百分ノ二十ト云フモノハ結局課
稅サレルト云フコトニナツテ來ルト思フノデ
アリマス、サウシマスト産業組合ノ預金ガ
利率ガ三分五厘ト致シマスト、ソレ等ノ課
稅ノ百分ノ二十ト云フモノヲ差引イタ場合
ニ於テハ、差引一分八厘ト云フモノガ稅引
ノ手取ニナツテ來ルダラウト思フノデアリ
マス、斯ウナツテ來タ場合ニ於テ、一方郵
便貯金ノ利子ト云フモノヲ考ヘマスト、是
ハ申上ゲルマデモナク一分七厘何毛、斯ウ
云フヤウナ利率ヲ政府ハ支拂フ、振替計算
デアリマスガ、是ハ二分四厘ニナツテ居ル、
勿論是ハ郵便貯金ノ方ニ於キマシテハ、貯
金總額ノ限度ガアリマス、限度ハアリマス
ガ、此ノ産業組合ノ預金ノ金額等モ、政府
ノ御説明ヲ伺ヒマスト、大部分ノモノハ三
千圓以下ノモノデアル、銀行ノ預金ト致シ
マシテモ口數ノ半分見當ノモノハ、三千圓
以下ダト云フヤウナ御話ガアリマスガ、兎
二厘二毛五糸ト云フ風ニ相成リマス、又產
業組合ノ貯金ニ致シマシテモ、今回ノ課稅
ヲ比較致シマスナラバ、是ハ現行ヨリモ近付
イテ參リマス、御話ノ如ク定期預金ニ付キ
マシテハ、一五%ノ源泉課稅ヲ選ベバ、其ノ
稅引利廻ニ二分四厘七毛五糸、社債ニ付キマ
シテハ四分三厘ノ社債デアリマスト、三分
二厘二毛五糸ト云フ風ニ相成リマス、又產
業組合ノ貯金ニ致シマシテモ、今回ノ課稅
ニ依リ或ル程度手取ガ少クナリマシテ、郵
便貯金ノ利子ニ近付イテ來ルト云フコトガ
アルト思ヒマス、併シナガラ此ノ五千圓以
上ノ所得者ノ貯金ヲ、郵便貯金ト比較スル
ノ利廻ニ多少開キガ大キクナルト云フ傾向
ニナルノデアリマシテ、綜合課稅ヲ受ケル
モノガ、一五%ノ源泉課稅ヲ採用スル場合
ヲ比較シテ、其ノ間ニ多少接近スルト云フ
コトハ御話ノ通リデゴザイマスガ、是ガ多
少接近致シマシテモ、其ノ分ハ凡ソ分野ガ
モノト考ヘラレマスカラ、ソレ程弊害
モリナリマスガ、是ガ大利子ト云フモノト
考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト現在
ハ御承知ノヤウニ資本利子税ト第一種所得
稅ヲ合セマシテ、銀行預金ノ利子ニ對シマ
シテハ一二%ノ稅ガ課ツテ居リマスガ、改

ニ考ヘラレテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フ
コトニモ考ヘ浮ブノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテ大藏省トシテ如何様ナ御考ヲ持
ツテ居リマスカ

○田中政府委員 各種預金、即チ銀行預金、
産業組合貯金、郵便貯金、サウ云フ方面ノ
預金ノ稅引利廻ガ、稅制改革ノ結果色々變
動シテ、現在課稅致シテ居リマス銀行預金、
又今回ニ課稅スル産業組合ノ貯金ノ利子
等ノ稅引利廻ガ、郵便貯金ノ利子ノ手取ニ
近付イテ來ル、斯ウ云フ點カラドウ思フカ
ト云フ御尋デゴザイマスガ、御話ノヤウニ
五千圓以上ノ所得者ガ、綜合課稅ノ代リニ
一五%ノ源泉課稅ヲ選ンダ場合ト郵便貯金
ヲ比較致シマスナラバ、是ハ現行ヨリモ近付
イテ參リマス、御話ノ如ク定期預金ニ付キ
マシテハ、一五%ノ源泉課稅ヲ選ベバ、其ノ
稅引利廻ニ二分四厘七毛五糸、社債ニ付キマ
シテハ四分三厘ノ社債デアリマスト、三分
二厘二毛五糸ト云フ風ニ相成リマス、又產
業組合ノ貯金ニ致シマシテモ、今回ノ課稅
ヲ比較シテ、其ノ間ニ多少接近スルト云フ
コトハ御話ノ通リデゴザイマスガ、是ガ多
少接近致シマシテモ、其ノ分ハ凡ソ分野ガ
モノト考ヘラレマスカラ、ソレ程弊害
モリナリマスガ、是ガ大利子ト云フモノト
考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト現在
ハ御承知ノヤウニ資本利子税ト第一種所得
稅ヲ合セマシテ、銀行預金ノ利子ニ對シマ
シテモ、正確ニ發表ハサレテ居ラナイ、金

ノ現送ニ付キマシテモ同様ナコトガアルノ
デヤナイカト思ヒマスガ、全體的カラ見テ
ノ國際收支ノ結果ト云フヤウナモノハ、御
發表ニナツテモ宜イノデヤナイカト思ヒマ
スカラ、其ノ點ガ分リマシタナラバ、御發
表願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 貿易關係ノ收支ニ付キ
シテハ、大體今御述ベニナツタ通リダト存
ジマス、貿易外收支ノ點ニ付キマシテハ、
マダ正確ナル計算ハ出來テ居リマセヌガ、
多少支拂勘定ニナツテ居ルト思フノデアリ
マスガ、マダ正確ナ計算ガ出來テ居ナイノ
ト、其ノ他ノ理由ヲ以テ今日一寸申上兼不
マス

○木村委員 私ハ色々アリマスガ、アト一
點ダケ御伺シテ置キマス、ソレハ遊興飲食
稅ノ問題デアリマス、先程山川委員カラモ
之ニ關スル質問ガアリ、此ノ委員會ニ於キ
マシテモ度々質問ガアリマシテ、御答辯ガ
アツタノデアリマスガ、ドウモ私ハマダハ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

デアリマスルガ、此ノ特殊飲食店ノ如キ處
デ珈琲一杯飲ンデモ、或ハ「カレーライス」
一皿食べマシテモ、本當ニ一杯ノ珈琲ニ依
シテ自分ノ疲勞ヲ回復シ、或ハ一皿ノ「カ
レーライス」ニ依ツテ辨當代リニ腹ヲ塞グ
ト云フ方面ニ對シテマデモ、一割ノ課稅ヲ
スルト云フコトハ、是ハ國民ノ思想上ニ
モ及ボス影響ガ甚大ナルモノガアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ少額ノ消費
ニ對シマシテモ課稅ヲスルト云フコトハ、
果シテ適當デアルカドウカ、是ハ餘程重大
ニ考へナケレバナラスト思フノデアリマス、
又是等ノ業者ハ極メテ弱イ立場ニ置カレテ
居ル者デアリマスルカラ、ドウシテモ課稅
ヲスルト云ヘバ、イヤノ、ナガラデモ之ヲ
納メルノデアリマセウ、又經營上ソレニ依
ツテ非常ニ御客モ減ルデアリマセウシ、又
此ノ課稅ニ依ツテ非常ニ煩瑣ナ手續ヲ受ケ
ルノミナラズ、是等ノ小サナ飲食店ハ、經
營上ニ於キマシテモ極メテ人數モ少ク、色
色ナ稅法ニ對スル知識モ少イ、併シナガラ
行カナインデアリマス、ソレハ三圓以下ニ
ハ免稅スル、併シナガラ藝者ノ花代ヲ伴フ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

店ニ對シテ、免稅點マデモ全然廢シタト云
一皿食べマシテモ、本當ニ一杯ノ珈琲ニ依
シテ自分ノ疲勞ヲ回復シ、或ハ一皿ノ「カ
レーライス」ニ依ツテ辨當代リニ腹ヲ塞グ
ト云フ方面ニ對シテマデモ、一割ノ課稅ヲ
スルト云フコトハ、是ハ國民ノ思想上ニ
モ及ボス影響ガ甚大ナルモノガアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ少額ノ消費
ニ對シマシテモ課稅ヲスルト云フコトハ、
果シテ適當デアルカドウカ、是ハ餘程重大
ニ考へナケレバナラスト思フノデアリマス、
又是等ノ業者ハ極メテ弱イ立場ニ置カレテ
居ル者デアリマスルカラ、ドウシテモ課稅
ヲスルト云ヘバ、イヤノ、ナガラデモ之ヲ
納メルノデアリマセウ、又經營上ソレニ依
ツテ非常ニ御客モ減ルデアリマセウシ、又
此ノ課稅ニ依ツテ非常ニ煩瑣ナ手續ヲ受ケ
ルノミナラズ、是等ノ小サナ飲食店ハ、經
營上ニ於キマシテモ極メテ人數モ少ク、色
色ナ稅法ニ對スル知識モ少イ、併シナガラ
行カナインデアリマス、ソレハ三圓以下ニ
ハ免稅スル、併シナガラ藝者ノ花代ヲ伴フ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

リマスルガ、是等ノ命令ヲ以テ定ムル飲食
店ニ對シテ、免稅點マデモ全然廢シタト云
一皿食べマシテモ、本當ニ一杯ノ珈琲ニ依
シテ自分ノ疲勞ヲ回復シ、或ハ一皿ノ「カ
レーライス」ニ依ツテ辨當代リニ腹ヲ塞グ
ト云フ方面ニ對シテマデモ、一割ノ課稅ヲ
スルト云フコトハ、是ハ國民ノ思想上ニ
モ及ボス影響ガ甚大ナルモノガアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ少額ノ消費
ニ對シマシテモ課稅ヲスルト云フコトハ、
果シテ適當デアルカドウカ、是ハ餘程重大
ニ考へナケレバナラスト思フノデアリマス、
又是等ノ業者ハ極メテ弱イ立場ニ置カレテ
居ル者デアリマスルカラ、ドウシテモ課稅
ヲスルト云ヘバ、イヤノ、ナガラデモ之ヲ
納メルノデアリマセウ、又經營上ソレニ依
ツテ非常ニ御客モ減ルデアリマセウシ、又
此ノ課稅ニ依ツテ非常ニ煩瑣ナ手續ヲ受ケ
ルノミナラズ、是等ノ小サナ飲食店ハ、經
營上ニ於キマシテモ極メテ人數モ少ク、色
色ナ稅法ニ對スル知識モ少イ、併シナガラ
行カナインデアリマス、ソレハ三圓以下ニ
ハ免稅スル、併シナガラ藝者ノ花代ヲ伴フ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

リマスルガ、是等ノ命令ヲ以テ定ムル飲食
店ニ對シテ、免稅點マデモ全然廢シタト云
一皿食べマシテモ、本當ニ一杯ノ珈琲ニ依
シテ自分ノ疲勞ヲ回復シ、或ハ一皿ノ「カ
レーライス」ニ依ツテ辨當代リニ腹ヲ塞グ
ト云フ方面ニ對シテマデモ、一割ノ課稅ヲ
スルト云フコトハ、是ハ國民ノ思想上ニ
モ及ボス影響ガ甚大ナルモノガアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ少額ノ消費
ニ對シマシテモ課稅ヲスルト云フコトハ、
果シテ適當デアルカドウカ、是ハ餘程重大
ニ考へナケレバナラスト思フノデアリマス、
又是等ノ業者ハ極メテ弱イ立場ニ置カレテ
居ル者デアリマスルカラ、ドウシテモ課稅
ヲスルト云ヘバ、イヤノ、ナガラデモ之ヲ
納メルノデアリマセウ、又經營上ソレニ依
ツテ非常ニ御客モ減ルデアリマセウシ、又
此ノ課稅ニ依ツテ非常ニ煩瑣ナ手續ヲ受ケ
ルノミナラズ、是等ノ小サナ飲食店ハ、經
營上ニ於キマシテモ極メテ人數モ少ク、色
色ナ稅法ニ對スル知識モ少イ、併シナガラ
行カナインデアリマス、ソレハ三圓以下ニ
ハ免稅スル、併シナガラ藝者ノ花代ヲ伴フ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

リマスルガ、是等ノ命令ヲ以テ定ムル飲食
店ニ對シテ、免稅點マデモ全然廢シタト云
一皿食べマシテモ、本當ニ一杯ノ珈琲ニ依
シテ自分ノ疲勞ヲ回復シ、或ハ一皿ノ「カ
レーライス」ニ依ツテ辨當代リニ腹ヲ塞グ
ト云フ方面ニ對シテマデモ、一割ノ課稅ヲ
スルト云フコトハ、是ハ國民ノ思想上ニ
モ及ボス影響ガ甚大ナルモノガアルト思フ
ノデアリマス、斯ウ云フヤウナ少額ノ消費
ニ對シマシテモ課稅ヲスルト云フコトハ、
果シテ適當デアルカドウカ、是ハ餘程重大
ニ考へナケレバナラスト思フノデアリマス、
又是等ノ業者ハ極メテ弱イ立場ニ置カレテ
居ル者デアリマスルカラ、ドウシテモ課稅
ヲスルト云ヘバ、イヤノ、ナガラデモ之ヲ
納メルノデアリマセウ、又經營上ソレニ依
ツテ非常ニ御客モ減ルデアリマセウシ、又
此ノ課稅ニ依ツテ非常ニ煩瑣ナ手續ヲ受ケ
ルノミナラズ、是等ノ小サナ飲食店ハ、經
營上ニ於キマシテモ極メテ人數モ少ク、色
色ナ稅法ニ對スル知識モ少イ、併シナガラ
行カナインデアリマス、ソレハ三圓以下ニ
ハ免稅スル、併シナガラ藝者ノ花代ヲ伴フ
モノデアルトカ、或ハ命令ヲ以テ定ムル料
理店ノ飲食代ニ對シテハ免稅點ナシ、此ノ
普通ノ料理店ニハ三圓以下ノ飲食代ニハ免
稅シ、「カフエー」、「バー」ノ如キハ、珈琲
一杯ヲ飲ミマシテモ、或ハ「カレー」ライ
ス」一皿食ベマシテモ洋風ノ建物デ經營
スルナラバ、之ニ對シテ課稅ヲスル、一
方ニ於テ免稅點ヲ設ケ、一方ニ於テハ免
稅點ナシニ課稅ヲスルト云フ此ノ建前、今
回ノ遊興飲食稅ハ成ルベク奢侈ヲ抑制ス
ル、消費ヲ抑制スル、負擔力ノアル者ニ
ニ對シテハ課稅ヲスルト云フ建前ト思フノ

リマスノデ、此處デハ大體留保サセテ戴キ
マスガ、ソレニ關聯致シマシテ、大藏大臣
ニ一つ御伺致シテ置キタイノハ、過日來新
聞デ拜見致シテ居リマスル報國債券ノ發行
ノコトニアリマス、過剩購買力ノ吸收ヲ目
標トサレマシテ、高率ノ割増金附債券發行
ト云ファウナ御計畫ガアルヤウニ、拜見致
シテ居ルノデアリマスガ、事實左様デゴザ
イマスルカ、念ノ爲ニ一寸伺ヒマス

○櫻内國務大臣 報國債券ヲ發行スルヤ、
否ヤト云フ御話デアリマスガ、民間ニ撒布
セラレマシタ所ノ資金ヲ吸收スル一つノ方
法ト致シマシテ、報國債券ト云フ特殊ナ債
券ヲ發行致シタイト、今研究中デアリマス
ガ、或ハ極メテ近ク成案ヲ得マシテ、議會
ノ御審議ヲ願フヤウニナルカトモ存ジテ居
リマス

○池本委員 只今ノ御答辯デハマダ研究中
ト云ファウデゴザイマシタガ、私共新聞デ
見テ居リマスルノデハ、殆ド確定的ニナツ
テ居ルカノヤウニ思ノノデアリマス、隨テ
私ハソレガ出サレルモノト云フ前提ノ下ニ
伺ツテ置キタイト思ヒマス、又ソレガ確定
デナクテモ、多分ニ御發行ニナル可能性ガ
アルモノト考ヘマスルカラ、只今ノ御腹案
ニ付キマシテ少シ承りタイト思ヒマス、只
今モ大臣ガ申サレマシタ如ク、今回ノ債券
ハ一種特別ノモノデアル、大體富籤の性
質ヲ持ツテ居ルモノト思フノデアリマス、
ソコデ第一點トシテ御伺致シタインハ此ノ
未曾有ノ事變下デ、端的ニ申シマスルト、
輕佻浮華ノ氣分ガ遺憾ナガラアルヤウニト
モノガモウ一つ引締ツテ居ラナイ、何ダカ
ト思ヒマシテハ、ヤハリソレ等ノ手段モ一
ツノ方法トシテ執ツテ差支ナイデハナイ
思フノデアリマスガ、其處へ持ツテ參りマ

シテ、此ノ種ノモノヲ御發行ニ相成ルト、
ソレガ一般民心ニ面白クナイ影響ヲ及ボス
モノデナイカ、一面ニ於キマシテハ、ソレ
ハ貴重ナ過剩購買力ノ吸收ト云フコトモゴ
ザイマセウガ、其ノ反面ニ於テ斯様ナ弊害
ガ附キマシテモ差支ハナイト云フ御見解デ
ゴザイマセウカ、其ノ點ヲ一つ御伺致シタ
イト存ジマス

○櫻内國務大臣 今日日本國民ト致シマシ
テハ、所謂緊張ニ緊張ヲ重ネテ、而シテ時
局ニ對處スル爲ニ勤儉貯蓄ヲ致シテ行クコ
トガ、一番必要ダト思ヒマス、又其ノ方面
ニ向ツテ最大ノ努力ヲ拂ツテ居ル譯デアリ
マス、殊ニ國民精神總動員等ニ於キマシテ
モ、ソレ等ノモノニ對シマシテ力ヲ入レテ
居ルノデアリマス、併シナガラ實際ノ社會
ノ情勢ヲ見マスト、是等ノ運動ガアリ、又
國民ハ相當緊張ヲ致シテ居ルニモ拘リマセ
ズ、可ナリ資金撒布ノ狀態ガ、或ハ飲食ニ
ルノデアリマス、此ノ方面ニ對シテ極力所
謂精神的訓話其ノ他ニ依ツテ、其ノ緊張ヲ
更ニ一層強化スルト云フ事柄ニ努メルコト
ハ、勿論ヤラナケレバナラヌコトデハアリ
マスガ、又金ヲ貯メルト云フ思想ヲ涵養ス
ル一つノ方法ト致シマシテ、所謂從來行ツ
テ居リマス所ノ貯蓄債券ノ割増金ヲ、少シ
增加致シタモノヲ出スコトモ、所謂人心ノ
機微ニ觸レテ、サウシテソレハ貯蓄ニ持ツ
ト思ヒマシテ、或ハ多少射撃心ヲ挑發スル
モセヌケレドモ、實際ノ效果ヲ奏スル上ニ
於キマシテハ、ヤハリソレ等ノ手段モ一
カ、但シ富籤論ガ中々盛デアリマスガ、
此ノ富籤論ハ歐羅巴ノ大戰爭ノ時ニ於テ
モ、歐羅巴ニ於テ可ナリアチコチ行ハ
レマシタ、又現今ニ於テモ滿洲ニ於テ行ハ
レテ居ルノデアリマス、併シナガラ所謂馬
券デアルトカ富籤デアルトカト云フ風ニ、
元金ヲナクシテシマフ方法ハ、所謂善良ナ
風俗ヲ害スルト云フコトモ考ヘラレルノデ
アリマスケレドモ、今日私共ガ考ヘテ居リ
マスノハ、ソレガ知ラズ識ラズノ間ニ貯金
ニナツテ行クヤウニ致スコトガ必要デアル
ト存ジマシテ、其ノ貯金ニ對シマシテハ特
別ナ方法ヲ講ジテ、サウシテ順次是ガ貯金
トナツテ殖エテ行クト云フ風ナ、貯金ヲ据
置イテ、サウシテ一枚々々買ツタ度ニソレ
ガ殖エテ行ツテ、終ヒニハ一つノ資本トナ
ルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデ
アリマシテ、其ノ意味ニ於テ只今研究考慮
ヲ拂ツテ案ヲ練ツテ居ルヤウナ譯デアリマ
ス

○池本委員 今回ノ債券ハ元金ヲ失フコト
ガナイト云フ御話デアリマスガ、結局私ハ、
傳ヘラレルガ如ク千倍モノ割増金ヲ附ケラ
レマスルト、サウ云フ元ヲ失フトカ子ヲ失
フト云フヨリモ、審ロ千倍ヲ目標ニ買フノ
デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ
一面ニ斯ク貴重ナル作用ヲ持ツノデアリマ
スカラ、私ハ之ノ發行ニ付キマシテ強ヒテ
彼此レト申ス譯デハゴザイマセヌ
次ニ伺ヒマスノハ、此ノ發行ニ依リマシテ、
將來發行セラレマスル此ノ貯蓄債券ノ賣行
ニ、不良ナル結果ヲ及ボスコトガナイカ、
若シサウ云ファウナコトガアリマスルナラ
バ、茲ニ「プラス・マイナス」ニナリマシテ、
アリマス

所ガ少イト云フヤウナ懸念ヲ持ツノデアリ
マスガ、此ノ點ニ付キマシテノ御見解ヲ承
通リニ、貯蓄債券ノ割増ヲ強化シタモノニ
ナリマスガ、是ハ提案致シマスマデハ何ト
モ申上げ兼ネマスケレドモ、貯蓄債券ハ少
シク性質ガ違ツテ居リマスノデ、貯蓄債券
ニ應ズル烟ト、報國債券ニ應ズル烟ト、其
ノ烟ニ於テ大ナル逕庭ハアリマセヌケレド
モ、少シク差異ハアルト思ヒマス、貯蓄債
券ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、ソレカラ此
ノ報國債券ガ發行サレテ、ソレニドノ位ナ
モノヲ吸收スルカ、サウシテ撒布セラレタ
ル資金ヲ吸收スルニ、ドウ云フ狀態ヲ現ハ
スカト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、只
今此ノ立案ニ對シマシテ研究ヲ重ねテ居ル
ヤウナ譯デアリマシテ、何レ提案ヲ致スヤ
ウニナリマシタラバ、詳細ニ説明致シタ
オト思ヒマスガ、私ハ貯蓄債券ニ對シテ、
或ル程度ノ影響ガナイトハ申シマセヌケレ
ドモ、其ノ代リ又一般ニ此ノ種ノ貯金熱ト
云ブモノガ起ツテ、一面ニ貯蓄債券ノ需要
ヲ喚ビ起ス方面モアルノデアリマスカラ、
ソレ等ノコトヲ考慮致シマシテ、私ハサシ
タル影響ハナインデハナカラウカ、兩方竝
行シテヤツテ差支ナイデハナカラウカ、斯
ウ思フノデアリマシテ、殊ニ又貯蓄債券ニ
付キマシテモ、多少修正ヲシテ行キタイ考
ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、報國債券ヲ
出スヤウナ場合ガアリマスレバ、貯蓄債券ニ
ノ方モ多少修正致シタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス

○池本委員 或ル程度舊來ノ貯蓄債券トハ
遠フト云フ御話デアリマスガ、私思ヒマス
次ニ伺ヒマスノハ、此ノ發行ニ依リマシテ、
ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、報國債券ヲ
出スヤウナ場合ガアリマスレバ、貯蓄債券ニ
付キマシテモ、多少修正ヲシテ行キタイ考
ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、報國債券ヲ
出スヤウナ場合ガアリマスレバ、貯蓄債券ニ
ノ方モ多少修正致シタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス

ノニ、今度ノモノガ元ヲ失フヤウナモノデ
アリマスレバ、ソコニ分野ノ差ガ出テ來
ル、併シ元モ子モ失ハナイノデアリマシテ、

而モ割増率ハ從來ノモノトハ格段ノ差ガア
ル、斯ウ云フノデアリマスカラ、私ハ藏相ノ
御言葉デハアリマスケレドモ、接觸面ハ餘

程深イ、隨テ私ハ從來ノ貯蓄債券ニ影響ス
ル所ガ、相當ニアラウト思フノデアリマス、
ソレデ只今藏相ハヤハリ多少其ノ點ニ付キ
マシテ、御考慮ニナツテ居ルヤウデアリマ
シテ、今後發行ノ貯蓄債券ニ付テ、多少修
正スル積リヲ持ツテ居ルト云フコトデゴザ
イマスガ、然ラバ其ノ修正トハ——特ニ其
ノ中大事ナモノハ、詰リ此ノ割増金ノ率デ
廻リヲシテ伺フヤウデアリマスガ、伺ヘマ
スレバ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 他ノ稅ハ多少モノニ依ツ
ル所ガ、相當ニアラウト思フノデアリマス、
ソレデ只今藏相ハヤハリ多少其ノ點ニ付キ
マシテ、御考慮ニナツテ居ルヤウデアリマ
シテ、今後發行ノ貯蓄債券ニ付テ、多少修
正スル積リヲ持ツテ居ルト云フコトデゴザ
イマスガ、然ラバ其ノ修正トハ——特ニ其
ノ中大事ナモノハ、詰リ此ノ割増金ノ率デ
廻リヲシテ伺フヤウデアリマスガ、伺ヘマ
スレバ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 他ノ稅ハ多少モノニ依ツ
ル所ガ、相當ニアラウト思フノデアリマス、
ソレデ只今藏相ハヤハリ多少其ノ點ニ付キ
マシテ、御考慮ニナツテ居ルヤウデアリマ
シテ、今後發行ノ貯蓄債券ニ付テ、多少修
正スル積リヲ持ツテ居ルト云フコトデゴザ
イマスガ、然ラバ其ノ修正トハ——特ニ其
ノ中大事ナモノハ、詰リ此ノ割増金ノ率デ
廻リヲシテ伺フヤウデアリマスガ、伺ヘマ
スレバ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 マダ案ヲ確定致シテ居リ
マセヌノデ、之ヲ申上ゲルト云フコトハ如何
カト思ヒマスケレドモ、大體ニ於テ今日ノ
百五十倍程度ノ割増金ヲ、或ハ倍額程度ニ
殖ヤスヤウナコトモ一ツノ事柄グラウト思
ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 マダ案ヲ確定致シテ居リ
マセヌノデ、之ヲ申上ゲルト云フコトハ如何
カト思ヒマスケレドモ、大體ニ於テ今日ノ
百五十倍程度ノ割増金ヲ、或ハ倍額程度ニ
殖ヤスヤウナコトモ一ツノ事柄グラウト思
ツテ居リマス

○池本委員 商相ノ御意見ハ別ニ伺フト致
シマシテ、次ニ増稅ト消費抑制ノ問題デア
リマス、假ニ商相ノ言フ如ク、又藏相ガ或
る程度ソレニ唱和致サレマス如クニ、消費
稅ヲ課ケタダケ上ゲナイ、斯ウ致シマスト、
詰リ消費抑制ト云フ點カラ申シセバ、上ガナ
ケレバ目的ハ達シナイ、低物價政策ノ側カ
テ見レバ——理窟ハ抜キト致シマシテ、成
ベク上ラナイノガ宜シイガ、半面ニ於キマ
シテハ消費稅トシテ課ケルノハ、是ハ稅收
目的モアリマセウガ、今回ノ如キ場合ニハ
課稅ニ致サレマシタ、是ハ無論色々御考
慮ノ結果トハ思ヒマスケレドモ、之ヲ客觀
的ニ見マスレバ、何ト申シマシテモ今回程
ノ大改革ヲ行ハレルニ當リマシテノ、一つ
ノ大キナ後退デアツタコトハ否ムコトガ出
來ナイモノト思フノデアリマス、ソコデ公
債デアリマセウガ、今回ノ選擇課稅ニ依リマ
シテ、一ツノ優遇ノ途ヲ御開キニナツタト
云フコトデアリマスガ、從來モ無論公債消
化ハ非常ニ大切ナコトデアリマシテ、出來
ル限リノ考慮ヲ拂ハナケレバナリマセヌガ、

アル、斯ウ御解釋ニナツテ居ルモノト思ヒ
マスガ、ソレハ間違ヒゴザイマセヌカ、御

相違ガアリマスガ、消費稅ニ付テハ、大
體ニ於テ增稅シタ分ダケハ、騰貴ヲスルト
心得テ居リマス、併シナガラソレモ全部ト
ハ申シマセヌ、モノニ依リマシテハ更ニ考
慮ヲ加フベキモノガアルト思ツテ居リマス
○池本委員 租稅ノ轉嫁——ソレヲ上ゲル
カ上ゲナイカノ問題デアリマスガ、ドウモ
私ハ此ノ間カラノ御質問ヲ色々承ツテ居リ
マスト、商工大臣ハ他ノ一般物價政策ノ方
面ニマデ、突進シテ參ツテ居ラレルヤウデ
アリマス、サウスレバ無論物價形成ニハ色々
な要素ガアルノデアリマスカラ、ソレハ種々
雜多ニ「プラス・マイナス」サレタ結論ガ出
テ來ルデアリマセウガ、茲デハ主トシテ稅
關係カラ言ハベ宜イ譯デアリマス、ソコデ
消費稅ト云フモノハ、是ハ詰リ立法者ノ意
思ガ何レニアルノカト云フコトヲ、先づ明
確ニシテ置ケベキモノト思フノデアリマス
サウ申シマスト、何ダカ租稅論ニナルカモ
知レマセヌガ、租稅ノ本質カラ申シマシテ、
ソレダケノ價格ハ兎ニ角引上ガルベキモノ
デアル、ソレハ已ムヲ得ズ引上ゲルト云フ
ノニアラズシテ、寧ロ私ハ當然引上ガルベ
ハ大藏大臣ト商工大臣トニ承リタイノデア
リマスガ、先ヅ藏相ニ關スル御見解ノ分ヲ
デ増稅ト物價形成ノ關係デアリマスガ、是
答ヲ承ツテ居リマスト、段々ト廣範圍ニ展
開シテ居ルヤウデアリマス、私ハソレヲ要
約致シマシテ、結局斯様ニ承知致シテ居ル
ノデアリマス、大藏官局ノ見解デハ、消費
稅ニ付テハ增稅致シタダケノ値上ハ當然デ

ガ何處ニ歸屬スルノデアルカト云フコトヲ
想定が出來ナイト云フヤウナコトニナルモ
付キマシテノ御見解ヲ今一ツ承リタイ思フ
ノデアリマス

○櫻内國務大臣 租稅ヲ增徵シタ場合ニ、
ソレガ生産者ニ課ル場合モアリ、或ハ消費
者ノ方ニ課ル場合モアルノデアリマスガ、
ノ通リデアリマシテ、其ノ增稅サレタダケノ
値ガ上ツテ來ル結果トナルノデアリマス、
但シ今回ノ增稅ニ依ツテ、總テノ物ガ直グ
ニサウナルカト申シマスト、中ニハ增稅ノ
部分ダケヲ值上セズシテ、幾分生産者ニ於
テ負擔スルモノモ起ツテ來ルノデアリマス
ガ、理論ト致シマシテハ御説ノ通リデアリ
マス

○池本委員 商相ノ御意見ハ別ニ伺フト致
シマシテ、次ニ増稅ト消費抑制ノ問題デア
リマス、假ニ商相ノ言フ如ク、又藏相ガ或
る程度ソレニ唱和致サレマス如クニ、消費
稅ヲ課ケタダケ上ゲナイ、斯ウ致シマスト、
詰リ消費抑制ト云フ點カラ申シセバ、上ガナ
ケレバ目的ハ達シナイ、低物價政策ノ側カ
テ見レバ——理窟ハ抜キト致シマシテ、成
ベク上ラナイノガ宜シイガ、半面ニ於キマ
シテハ消費稅トシテ課ケルノハ、是ハ稅收
目的モアリマセウガ、今回ノ如キ場合ニハ
課稅ニ致サレマシタ、是ハ無論色々御考
慮ノ結果トハ思ヒマスケレドモ、之ヲ客觀
的ニ見マスレバ、何ト申シマシテモ今回程
ノ大改革ヲ行ハレルニ當リマシテノ、一つ
ノ大キナ後退デアツタコトハ否ムコトガ出
來ナイモノト思フノデアリマス、ソコデ公
債デアリマセウガ、今回ノ選擇課稅ニ依リマ
シテ、一ツノ優遇ノ途ヲ御開キニナツタト
云フコトデアリマスガ、從來モ無論公債消
化ハ非常ニ大切ナコトデアリマシテ、出來
ル限リノ考慮ヲ拂ハナケレバナリマセヌガ、

アル、斯ウ御解釋ニナツテ居ルモノト思ヒ
マスガ、ソレハ間違ヒゴザイマセヌカ、御

ソコニ他ノ方面トノ間ニ自ラ均衡上ノ問題
ガアルデアラウト思フノデアリマス、茲デ
過ギ去ツタコトデアリマスガ一ツ伺ヒタイ
ノハ、昨年公債利子稅ヲ改正致サレマシテ、
公債ノ利子ヲ百分ノ十カラ十五ニ御引上ニ
ナツタ、併シ率ハ御上ゲニナリマシタガ、
其ノ時ノ利率四分ヲ超過シタル金額ト云フ
課税目標ニ付テハ、其ノ儘ニシテオ居デニ
ナツタ、所ガ統計ニ依リマスト、四分ヲ超
過シタ分ハ非常ニ少イ、ソコデ大部分ノモ
ノニハ影響ガナイデアラウ、ダカラ是ハ當
時一種ノ「ゼスチユア」デアツタノデハナイカ
ト思ツテ居リマシタガ、ドウデゴザイマセ
ウカ、併セテ最近ノ利率別ノ公債ノ現在高
ヲ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 今ノ數字ハ取調べテ、後

刻御答致シマス

○池本委員 後刻ト云フノハ此ノ質問中デ

ゴザイマスカ

○櫻内國務大臣 直キ御答申上ゲマス

○池本委員 ソレデハ私ノ手許ニアリマス

古イ統計ニ依ツテ、暫ク申上げマス、十三

年年度末現在デ、大藏省ガ御發表ニナツタモ

ノデアリマスガ、當時總額ガ百六十二億二

千二百万圓デアツタ、其ノ中四分未満ノモ

ノガ百二十三億一千一百萬圓ト出テ居リマ

シテ、七割六分ト云フモノガ四分未満ノモ

ノデ、此ノ當時ノ課率ノ引上ニハ影響ガナ

カツタ、七割六分ノモノガ無關係デアリマス

シタカラ、私ハ「ゼスチユア」デハナカツタカ、

デ結構デアリマス

斯ウ云フノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマ

シテノ御見解ハドウデアリマセウカ、何カ

他ニ理由ガザイマシタカ、是ハ政府委員

デ結構デアリマス

○池本委員 大體公債ノ消化ガ餘リ大キナ

○池本委員 結果ニ於テハ「ゼスチユア」ニ

ナルノデス、ソレハ宜シウゴザイマスガ、

ソコデソレ程重ク見テオ居ニナリマス高

利債デアリマスガ、此ノ高利債ハ此ノ統計

ニ依リマシテモ、ヤハリ四十億圓アル、ソ

レヲ假ニ平均利率五分ト致シマシテ、一分

利債デアリマスガ、當時總額ガ百六十二億二

千二百万圓デアツタ、其ノ中四分未満ノモ

ノガ百二十三億一千一百萬圓ト出テ居リマ

シテ、七割六分ト云フモノガ四分未満ノモ

ノデ、此ノ當時ノ課率ノ引上ニハ影響ガナ

カツタ、七割六分ノモノガ無關係デアリマス

シタカラ、私ハ「ゼスチユア」デハナカツタカ、

デ結構デアリマス

○櫻内國務大臣 高利債ヲ低利債ニ借換ヘ

ルト云フコトニ付テハ、是ハ十分考ヘナケ

レバナラヌコトデアリマスガ、此ノ問題ニ

コトニナルガ、サウナルト人各、見ル所ガ異

リ、何時ニナルカ分ラヌト云フコトニ考ヘ

ヲ申上ゲルコトハ出來兼ネルノデアリマ

ス

○池本委員 サウスルト結局御話カラ何モ

得ラレナイン、結局ハ常識判断ト云フヤウナ

コトニナルガ、サウナルト人各、見ル所ガ異

リ、何時ニナルカ分ラヌト云フコトニ考ヘ

ナケレバナラヌト思ヒマス、併シ藏相ノ御

言葉ヲ信用シテ、必要ナキニ至レバ出來ル

ダケ早ク御取止メニナル、短期無期限ト云

フヤウナコトニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○櫻内國務大臣 短期無期限ト云フ言葉

ガ、其ノ通リデアルト申上ゲテ善イヤラ悪イヤラ分リマセヌガ、兎ニ角ソレヲ撤廢シテモ經濟界ノ情勢ニ大ナル影響ガナイト云フ見透シガ付キマシタ時ニ、之ヲ改メタイト考ヘテ居リマス。

○池本委員 ソコデ此ノ公債ニ對スル私トシテノ意見デアリマスガ、是ハ人ニ依ツテ色々見ル所ハ違フト思ヒマス、是ハ或ハ誤ツタ結論カモ知レマセヌガ、大體今日我國ノ金利ハ、世界金利カラ隔離致シテ居ルノニアラズシテ、公債利率ガ一般金利ノ水準ヲ成シテ居ルノデアル、世界的ニ隔離シテ居ルノデアルカラ、無論是ハ慎重ニ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、或ル程度以上ニサウ神經過敏ニナラナクテモ、公債消化ノ方面ハ何トカ辻棲ガ合フノノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ之ヲ結論ト致シマシテ、配當ノコトニ入リマスガ、見テ居リマセヌ、配當ニ付テ豫メ政府ノ方カラ資料ヲ御出し頤ヒタイト思フノハ、最近ノ配當金總額、其ノ中色々ナ事情デ免稅サレル部分モアリマセウガ、課稅標準額トナル所ノ配當金ノ最近ノ御調查ヲ承リタイト思ヒマス

○田中政府委員 配當ハ最近ノ狀況デハ十四億五千万圓程度デアリマシテ、法人分モ分類所得デハ總テ課稅セラレマスノデ、非課稅法人ノ持ツテ居ルノヲ除キマシテ、只今申上ゲタ十四億五千万圓ノ中十四億一千九百万圓バカリガ、課稅總額ニナルノデアリマス

度ノ實蹟ヲ基礎トシテ、見込ンデ居リマス○池本委員 此ノ配當課稅ニ付テハ、總所得カラ總負債利子ヲ控除スル說ガアリマスガ、是ハ私敵テ茲ニ主張致シマセヌ、唯此ノ際局長ニ伺ヒタイコトハ、先月十六日ノ櫻井サンノ質問ニ對スル御答辯ノ言葉ガ、未ダニ私ノ耳ニ残ツテ居ルノデアリマス、ソレハ借入負債ノ證明方法如何ト云フ質問ニ對シテ、大矢局長ヨリ、明ニ、別途負債ト考ヘラレザル限り成ベク控除スルト云フ御言葉ガアツタト思フノデアリマス、私ハ是ハ非常ニ廣く解釋ヲサレルト思フ、其ノ御覺エハゴザイマセヌカ、是ハ速記錄ヲ見レバ直グニ分ルノデスガ、見テ居リマセヌ、併シサウ云フ風ニ私ハ確ニ承ツタノデアリマスガ、其ノ時ノ感じハ、若シサウデアルナラバ、是ハ立證ノ責任ガ寧ロ課稅ヲ致サレル當局ノ方ニアルトサヘ言ハナケレバナラヌ、斯ウ廣クナリマスレバ、買入負債利子ノ控除制度ノ解釋ハ別ト致シマシテ、實際上混亂ヲ來スコトニナルト云フ風ニ感じタノデアリマスガ、違フノナラ別デスガ、只今ノ之ニ對スル御處置ノ御考ヲ承レバ結構デアリマス

○大矢政府委員 私ハ過日櫻井委員ノ御質疑、即チ何力株式ノ元本取得ニ要シタ負債デアルト云フコトガ、一見シテ分ル標準ガナカラウト云フコトニ對シマシテ、ソレハ個々ノ場合ニ判定スル外ハナカラウト云フ趣旨ノコトヲ申上ゲテ居ルト、記憶致シテ居リマス

○池本委員 アナタ方ニハ左様ナコトモゴザイマスマイガ、エテシテドウモ質問者ノ意思ヲ先ニ酌取ラレテ、ソレニ撥ヲ合サレルヤウナコトヲ言ハレル場合ガアル、其ノ申シマスレバ、私ハ宣意ナイトシマシテ、若シドチラヲ取ルカトダト考ヘタノデアリマス、私忙シクテ速記録ガ見ラレマセナシダカラ、モウ一度是ハ未ダニ私ノ耳ニ残ツテ居ルノデアリマス、ソレハ借入負債ノ證明方法如何ト云フ質問ニ對シテ、大矢局長ヨリ、明ニ、別途負債ト考ヘラレザル限り成ベク控除スルト云フ御言葉ガアツタト思ヒマスルガ、ソコデ其ノ尻ニ結ビマシテ、ソレナラバ一層ノコト現行ノ一定額控除制度ニ、一つ還元セラレテハドウカト思フノデアリマスガ、ソレニ對スル御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 色々研究致シマシタ結果、ヤハリ現在ノ企業狀態ガ、是ハ昔カラデアリマスケレドモ、金融資本家ガ直チニ仕事ヲヤツテ居ルノデナインデアリマスカラ、借金デ仕事ヲシテ居ル人ガ相當アルト見ナケレバナラナイシ、又將來モヤハリ眞ニ企業ヲシテ身ヲ起サウト云フ人ハ、金ヲ借りコトガ起リ得ルコトデアリ、又起ラナケレバナラスト思フノデアリマス、左様ナ場合ニ於テ、今日ノ如ク稅ガ高クナリマシタ場合ニ於キマシテハ、借入金ヲシテ仕事ヲスルト云フコトガ絶対ニ出來ナイヤウナ狀態ニナリマス、ソレハ私ハ國ノ產業ノ發達ノニニ於テ執ルベキコトデハナイ、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、即チ事業ヲ起ス場合ニ於テ借入金ヲシタ、其ノ借入金ニ對スル利息ハ引ク、斯ウナリマスレバ、假ニ所得ニ對シテノ稅金ハ高クテモ、ソレハ實際ハリ若シモ人が仕事ヲシテ、サウシテ利益ヲ得ル場合ニハ、其ノ借入金ノ利子ヲ引イテガ、其ノ時間イタコトガ間違ヒナイトスル私ガ其ノ時間イタコトガ間違ヒナイトスルナラバ、當局ノ御考ガ非常ニヲカシナモノダト考ヘタノデアリマス、私忙シクテ速記録ガ見ラレマセナシダカラ、モウ一度是ハ未ダニ私ノ耳ニ残ツテ居ルノデアリマス、ソレハ借入負債ノ證明方法如何ト云フ質問ニ對シテ、大矢局長ヨリ、明ニ、別途負債ト考ヘラレザル限り成ベク控除スルト云フ御言葉ガアツタト思フノデアリマス、私ハ是ハ非常ニ廣く解釋ヲサレルト思フ、其ノ御覺エハゴザイマセヌカ、是ハ速記錄ヲ見レバ直グニ分ルノデスガ、見テ居リマセヌ、併シサウ云フ風ニ私ハ確ニ承ツタノデアリマスガ、其ノ時ノ感じハ、若シサウデアルナラバ、是ハ立證ノ責任ガ寧ロ課稅ヲ致サレル當局ノ方ニアルトサヘ言ハナケレバナラヌ、斯ウ廣クナリマスレバ、買入負債利子ノ控除制度ノ解釋ハ別ト致シマシテ、實際上混亂ヲ來スコトニナルト云フ風ニ感じタノデアリマスガ、違フノナラ別デスガ、只今ノ之ニ對スル御處置ノ御考ヲ承レバ結構デアリマス

○池本委員 ソコデ前段申シマシタ公債ニハ段々考慮ヲ重ネラレテ居リマス、一面此ノ配當ニ付キマシテハ、今度ノ此ノ改正ニ依リマシテ、三千六百万圓ノ負擔ガ結局ハ増シタト云フコトニナリ、一方ニ公債ハ選擇課稅ヲサレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點トノ天秤上ニ於キマシテ、更ニ公債ノ方ガヨリ多ク有利ダト云フコトニナルノデアリマシテ、ドウモ難カシイ事デハアリマスケレバナラナインシ、又將來モヤハリ眞ニ企業ヲシテ身ヲ起サウト云フ人ハ、金ヲ借りコトガ起リ得ルコトデアリ、又起ラナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、是以上ハ申上ゲマセヌ、何卒將來一層ノ考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○池本委員 次ニ負擔均衡ノ問題デアリマス、先づ第一次ニ分類所得稅デアリマスガ、是モ甚ダニニヤハリ之ニモ累進課稅ヲ致サレテハドウデアルカ、斯ウ思フノデアリマスガ、如何デセウカ、尙ホ之ニ付キマシテ藏相ノ御説明ニ依リマスト、勤勞所得ト事業所得トニハ基礎控除ガアル、ダカラ實際上累進的ニナツテ居ルノデアルト申サレテ居リマスガ、

ソレハ仰セノ通リデアリマス、併シソレハ基礎控除ノアルモノデアリマシテ、ソレノ無イ所ノ例ヘバ不動産所得ニ付キマシテハ、

唯百圓ノ免稅點ニ止マル、サウシマスト、コトニナルノデアリマシテ、ソレバ結局一圓ニ對シテ課稅サレルコトニナリ、サウチレバ一圓カラ五千圓マデ同ジ比例稅ト云ガアルノデアリマシテ、相當ニ廣クアリマスルカラ、一ツ御伺致スノデアリマス、尙ホ此ノ場合ニ私ノ過日ノ本會議ニ於ケル質問ニ對シマシテ、新潟ノ未知ノ人カラ斯ンナ手紙ガ來テ居リマス、民ノ聲トシテ藏相御聽取ヲ願ヒタイ、是ハ稅金ノコトニスカラ、

私共ノヤウニ少額ノ收入シカナイ者ト同ジ「御役人ガ收入合計ガ五千圓以下デアレバ、不動産ノ收入ガ五千圓近イ富裕ナ人デモ、尙ホ其ノ遺產トシテ月四十圓ノ家賃ノ家ヲ只一軒持ツテ居ツテ、ソレデ生計ヲ立て、居ル、ソコデ家賃ニ對スル稅金ノコトヲ心配シテ居ルヤウデアリマス、サウシテ比例稅率ノ小言ヲ言ツテ居ルデス、ソコデ分類所得稅ニ付キマシテモ、輕度ノ累進課稅ハドウデアラカト云フ點ニ付キマシテ、一應承リタイト思ヒマス。

○大矢政府委員 過日委員長カラモ御尋ガ

アツテ、其ノ時御答シテ置イタノデアリマスルガ、從來ノ第三種所得稅ニ於キマシテ

ハ、其ノ人人所得ヲ全部綜合シテ課稅スル、超過累進稅率ニ依ツテヤツテ行ク、斯ウ云

フ建前デアリマスルガ、此ノ度ノ稅制ハ是ト餘程趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ

〔委員長退席、濱野委員長代理著席〕

分類所得稅ニアリマシテハ、從來ノ所得稅トソレカラ物的課稅トノ合ノ子ノヤウナ性質ヲ帶ビテ居ルノデアリマス、ソレデ不動產所得、配當利子所得ニ於キマシテハ、基礎控除ナシニ比例稅率デ總テ致シテ居リマスルガ、是ハ勿論稅率等ノ關係モ睨合セテ見ナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、

大體百分ノ十程度ノ課稅ヲ以テ致シマスレバ、純粹ノ資產カラ生ズル所得デアリマシテ、勤勞ノ分子モナイノデアリマスカラ、多少物稅的ノ色彩ヲ帶ビサシテ基礎控除ナシニヤツテ行ツテ宜イノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、勤勞所得及ビ事業所得ニ於キマシテハ、勤勞ノ分子ガ相當アルノデアリマスカラ、基礎控除ヲ設ケテ居ル次第デアリマス、但シ不動產所得ニ付キマシテハ、少額所得者ノ負擔ノ程度ヲ見マシテ、家族控除ハ認メル、斯ウ云フ風ニ致シテ置キマシテ、各種所得ノ性質ニ應ズル負擔力ノ差ハ、斯クシテ大體適當デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○池本委員 家族扶養控除ト基礎控除ト

ハ、是ハ比較ニナラスト思ヒマス、一方ハ

絶對的ニ引クノデスシ、一方ハアツタ時ニ

ハ引クシ、ナケレバ引カヌ、ソンナモノハ

ク預ケテ置キマシテ、次ニ免稅點デスガ、

比較ニナラスト思ヒマス、ソコデ、ソレハ暫

不動產所得、配當利子所得ノ乙種ニ付キマスルガ、從來ノ第三種所得稅ニ於キマシテ

ハ、其ノ人人所得ヲ全部綜合シテ課稅スル、超過累進稅率ニ依ツテヤツテ行ク、斯ウ云

ハ、總テ其ノ人ノ所得ヲ綜合シテ、擔稅力アリマスルガ、左様デゴザイマスカ、承ツテ置キマス。

○櫻内國務大臣 其ノ通りデアリマス

○池本委員 サウ致シマスト、不動產所得ナドニ付キマシテ、少額所得者ニ付キマシ

テハ一切考慮ヲ拂ハレテ居ラナイ、斯ウ解

釋シナケレバナラヌ、偶々圓デモ免稅點デ

御者慮ニナツテ居ルノカト思ツタノデアリ

マスガ、サウト致シマスレバ、其ノ方ニハ

御者慮ガナイ、斯ウ私ハ解釋致シテ置キマ

ス、ソコデ免稅點ト基礎控除トノ使ヒ分

アリマスガ、無論は勤勞所得ト或ハ資產

所得及ビ事業所得ニ於キマシテハ、勤勞ノ

分子ガ相當アルノデアリマスカラ、基礎控

除ヲ設ケテ居ル次第デアリマス、但シ不動

產所得ニ付キマシテハ、少額所得者ノ負擔

ノ程度ヲ見マシテ、家族控除ハ認メル、斯

テアルト思ヒマスノデ、各所得間ニ免稅點

ダケニ止ルモノト、基礎控除ニ止ルモノト、

少額者ニ付キマシテノ負擔ノ點カラ申シマ

スレバ、結局其ノ辛ラサハ似タカ寄ツタカ

デアルト思ヒマスノデ、各所得間ニ免稅點

ダケニ止ルモノト、基礎控除ニ止ルモノト、

少額者ニ付キマシテノ負擔ノ點カラ申シマ

スレバ、結局其ノ辛ラサハ似タカ寄ツタカ

デアルト思ヒマスノデ、各所得間ニ免稅點

ダケニ止ルモノト、基礎控除ニ止ルモノト、

少額者ニ付キマシテノ負擔ノ點カラ申シマ

スレバ、之ニ對スル御見解ヲ承リタイト思ヒ

マス。

○大矢政府委員 是ハ所得稅ノミヲ以テ總

テノ人ノ租稅力ヲ見テ課稅スルト云フ風ニ

致シマスレバ、御說ノ通りニスペキデアリ

マスケレドモ、中々實際ニ當リマシテハ、

所得稅ヲ以テノミノ人ノ擔稅力ヲ十分捕捉ス

ル譯ニハ行カナイノデアリマシテ、其ノ他

ノ各種ノ方面カラ見テ適當トスル稅種ヲ選

擇シテ課稅シテ行ク、財政需要モ滿シ、一

方ニ於テハ各人ノ負擔力ニモ應ズル課稅ヲ

シヨウトスルノガ、現狀デアルノデアリマ

リマスケレドモ、マア一割程度ノモノナラ

ケレバナラヌ理由モ出テ來、又地租、家屋

稅ノ如キ物的ノ課稅ノ存スル理由モ出テ來

ルノデアリマス、從來所得稅ニ於キマシテ

ハ、總テ其ノ人ノ所得ヲ綜合シテ、擔稅力

ヲ見ルト云フ建前ニハナツテ居リマスケレ

ドモ、併シ我國ニ於テ從來ニ於キマシテモ、

外ニナツテ居ルト云フノガ事實デアルノ

第二種所得ダケハ全ク別個ノ扱ニナツテ、

免稅點トカ家庭控除ノ場合ニモ、是ハ考慮

デアリマス、隨ヒマシテ其ノ人ノ全能力ヲ

見テ課稅スルト云フモノニ付キマシテモ、

マスト、中々各人ノ所得ヲ全ク綜合シテ、

ダケニ止ルモノト、基礎控除ヲ從來ノ意味ニ於ケ

ル所得稅デ課稅シテ行クト云フノハ、實際

問題トシテ至難ナコトニナツテ居ルノデア

リマシテ、各國ノ實際ヲ見マシテモ、相當

擔稅能力ニ應ジタ課稅ヲ從來ノ意味ニ於ケ

ル所得稅デ課稅シテ行クト云フノハ、實際

ノデアリマス、此ノ度ノ改正ニ於キマシテ

モ、此ノ點ヲ深ク考慮シ、檢討致シマシテ、

或ル程度物的ノ色彩ヲ帶ビシメテ、而シテ

出來ルダケ源泉デ徵收シ得ルモノハ源泉デ

收ノ費用ヲ省キ、納稅者ノ苦痛モ省キ、而シ

テ又理論ヨリモ課稅ノ實際ニ立脚シテ、出

來ルダケ、實情ニ即スルヤウナ課稅ヲ致シ

テ行キタ、斯ウ云フ趣旨ニ出テ居ルノデ

アリマス、サウシテ擔稅力モ一番アルノダ、隨テ稅率

ガ二割、三割ト云フ風ニ高クナレバ別デア

モノデアリマシテ、資產所得デゴザイマス

カラシテ擔稅力モ一一番アルノダ、隨テ稅率

リマスケレドモ、マア一割程度ノモノナラ

バ、敢て人の考慮ヲ深ク拂フ必要ハナイノ
デハナカラウカ、斯ウ云フ趣旨ヲ以チマシ
テ、免稅點ナシニ致シテ居ル、從來ノ我國
ノ所得稅法ニ於キマシテモ銀行預金利子ト
カ、社債利子等ニ付テハ、全ク人的考慮ハ
ナカツタノデアリマスルガ、ソレガ此ノ度不
動產所得ニマデ入ツテ來タト云フ風ニ御覽
下サツテモ宜イノデハナカラウカト思フノ
デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ配當利
子所得モ、不動產所得ニ付テモ、基礎控除
ハナインデアリマス、但シ免稅點ヲ置キマ
スノハ、是ハ稅務署デ調査シテ決定シ、納
稅告知書ヲ出シテ徵收ヲスル、斯ウ云フノ
ヲ以チマシテ、配當利子ノ中ニ於テモ、源泉徵
收ヲ致サナイ乙種配當利子ニ免稅點ヲ設ケ
タ、ソレカラ不動產所得ハ、全部稅務署ニ於
キマシテ賦課課稅ニナルモノデスカラ、一應
免稅點ヲ設ケタ、其ノ免稅點モ成ベク低イ
所トシテ、百圓ニシテ、百圓以上ニナレバ
全部ニ對スル課稅ヲスルト云フヤウニ致シ
マシタ、勤勞所得、及ビ事業所得ニ付キマ
シテ基礎控除ヲ認メマシタノハ、是ハドウ
意味ヲ以チマシテ、四百圓、六百圓ノ基礎
控除ヲ置イタ、斯ウ云フ次第ゴザイマス
○池本委員 只今ノ御説明ノ中デ綜合所得
カラ考ヘテ控除ヲ見ルベキデアル、部分部
分ノ所得ニ付テハ別ダ、斯ウ云フヤウナ意
味ノ御答デアツタト思ヒマス、成程三井、
岩崎ガ他ニ澤山ノ所得ヲ持ツテ居リマシテ、

偶々ヨビツトシタ田地ヲ持ツテ居ル、ソ
レニ對シテ、基礎控除ヲ設ケルノハ、三井、
岩崎ノ場合ニハ不合理カラモ分ラヌ、併シソ
レハ勤勞所得ニ付キマシテモ、營業所得ニ
付キマシテモ、ヤハリ同ジヤウナ場合ガゴ
ザイマス、勤勞所得ト申シマシテモ、後ニ
申上げタイト思ヒマスガ、一万圓マデハ勤
勞所得ハ綜合課稅デ一割引カレルコトニナ
ツテ居ル基礎控除ガゴザイマス、此ノ一万
圓ノ勤勞所得ハ能ク御考ヘ下サイ、俸給方
ラ言ヘバ總理大臣ハ一万圓取ツテ居リマス
カ、總理大臣ニハ餘り金モアリマスマイガ、
モウニ流位ナ會社ノ重役ナラバ、是ハ相當
自家用ノ自動車位持ツテ居リマスヨ、ソレ
ルト、結局手數倒レ、費用倒レニナリマスカラ
シテ、零細ナ所ハ眼ヲブラウ、斯ウ云フ趣旨
ヲ以チマシテ、配當利子ノ所マデ致シマス
スノハ、是ハ稅務署デ調査シテ決定シ、納
稅告知書ヲ出シテ徵收ヲスル、斯ウ云フノ
ヲ以チマシテ、配當利子ノ中ニ於テモ、源泉徵
收ヲ致サナイ乙種配當利子ニ免稅點ヲ設ケ
タ、ソレカラ不動產所得ハ、全部稅務署ニ於
キマシテ賦課課稅ニナルモノデスカラ、一應
免稅點ヲ設ケタ、其ノ免稅點モ成ベク低イ
所トシテ、百圓ニシテ、百圓以上ニナレバ
全部ニ對スル課稅ヲスルト云フヤウニ致シ
マシタ、勤勞所得、及ビ事業所得ニ付キマ
シテ基礎控除ヲ認メマシタノハ、是ハドウ
意味ヲ以チマシテ、四百圓、六百圓ノ基礎
控除ヲ置イタ、斯ウ云フ次第ゴザイマス
○池本委員 只今ノ御説明ノ中デ綜合所得
カラ考ヘテ控除ヲ見ルベキデアル、部分部
分ノ所得ニ付テハ別ダ、斯ウ云フヤウナ意
味ノ御答デアツタト思ヒマス、成程三井、
岩崎ガ他ニ澤山ノ所得ヲ持ツテ居リマシテ、

錢、營業ガ同ジ一千圓ノ所得デ六十五圓ダ、
丁度二倍以上ニナツテ居リマス、是ハ現在
改正ニ依リマシテ、成程營業ノ方ヲ増シテ
オ居デニナリマス、改正案ニ依リマスト、
現行法ガ二割六分デアツタモノガ、一割七
分四厘マデ下ツテ居リマススルカラ、是ハ
營業ノ方ヲ餘計御引上げニナツテ居ルコト
ハ分リマスガ、併シ尙ホ一割七分四厘マデ
田畠ガ高イ、三千圓ノ階級ノ田畠ト營業ト
ノ比較ヲ致シテ見マスルト、現行法デハ田
畠ノ方ガ一割五分四厘高イ、今度ノ御改正
ニハ、ヤハリ是ハ同ジ位ノ率デ一割六分ニ
ナツテ居リマス、是ハ七千圓ト云フヤウナ
階級ノモノヲ御發表ニナツテ居リマスガ、
無論田畠所得ガ營業ニ比シテ高イト云フコ
トハ、或ル程度マデ諒承致シマスケレドモ、
ドウモイツモ問題ニナリマシテ、考慮スル
ト言ハレテ居ツテ、實際ニ考慮サレテ居ラ
ス、一體此ノ土地ト云フモノニ付キマシテ
ハ、是ハ明治以來——他ノモノニ對スル觀
察ハ變ツテ來マシタガ、土地ニ對スル考ハ
明治政府ニ於テモチツトモ變ラズニ今日マ
テ來タ、是ハ申スマデモナク舊幕時代、封
建制度ハ土地ト云フモノガ基礎ニナツ
テ成立シテ居ル所ノ社會制度デアツタ、ダ
カラ土地ハ非常ニ尊重サレタ、尊重ガ
同ジ複雜ニスルナラバ、一樣ニ基礎控除ヲ
設ケテ一貫セタラドウカト實ハ思フノデ
アリマス、併シ理窟ハ措キマセウ、私ハサ
ウ云フ考ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ一ツ御
聽取ヲ願ヒタトイ思フノデアリマス、現實
ニ數字ヲ見マスルト、アナタノ方カラ御示シ
下サツタ數字デアリマスガ、不動產所得ト、
營業所得ヲ比較シテ見マスルト、所得一千
圓ノモノデ田畠所得ガ百三十四圓三十二

アリマス、ソコデ營業者ト田畠所得者トデ
ハ、私共ノ地方デ其ノ事情ヲ見テミマス
ト、何ノ彼ノト云ツテモ商賣ニハ冥利ト云
フモノガアリマシテ、或ル程度ノモノデモ
相當利益ヲ擧ゲテ居ル、御承知ノ如ク田舍
地ヲ持ツタ大農デアリマス、同ジ田舎ニ居
テモ、二百石、三百石ノ年貢取リ位ノ生
活ハ、或ル程度ノ營業ヲスレバ、直グ其ノ
位ノ利益ガアルト云フ風ニナツテ居ルノデ
アリマス、私ハ不動產所得ト營業所得ニ付
キマシテハ、色々ナ事情ヲ考慮シテモヤハ
リ高イ、斯ウ思フノデアリマス、此ノ點ニ
付キマシテ一ツ當局ノ御見解ヲ承リタイ
○大矢政府委員 不動產所得、營業所得ニ
對スル負擔ノ關係ヲドウスルカト云フノ
ハ、中々ムヅカシイ問題グト思フノデアリ
マス、營業稅ノ課率ノ「バランス」ヲドウ取
ルカト云フノハ、是ハ中々ムヅカシイ問題
デ、抽象的ニ机ノ上デハ決メ難イ問題グト
思フノデアリマスガ、唯大體ト致シマシテ不
動產所得ハ、純粹ノ資產所得デアル、營業
所得ハ、資產勤勞共働く所得デアルカラ、
不動產所得ノ方ハ多少負擔ヲ重クシテモ宜
イデハナカラウカト云フコトダケハ、最小
限度ニ於テ言ヒ得ルコトカト存ジマス、ソ
コド從來唯沿革の我國ニ於キマシテハ、
國稅ヨリハ寧ロ地方稅デゴザイマスルガ、
ツテ參リマシテ、今日ハ最負ノ引倒シデ、
高イ稅金ヲ課セラレルト云フコトニナツテ
結局束縛ニナツテ來タ、ソレガ明治維新ニ
ナリマシテモ同ジ考デ以テ、其ノ土地ヲ縛
テ成立シテ居ル所ノ社會制度デアツタ、ダ
カラ土地ハ非常ニ尊重サレタ、尊重ガ
同ジ複雜ニスルナラバ、一樣ニ基礎控除ヲ
設ケテ一貫セタラドウカト實ハ思フノデ
アリマス、併シ理窟ハ措キマセウ、私ハサ
ウ云フ考ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ一ツ御
聽取ヲ願ヒタトイ思フノデアリマス、現實
ニ數字ヲ見マスルト、アナタノ方カラ御示シ
下サツタ數字デアリマスガ、不動產所得ト、
營業所得ヲ比較シテ見マスルト、所得一千
百姓ヲ致シ、一面ニ於テ商賣ヲ致シテ居リ
マシテ、私自身ハ公平ダト思ツテ居ルノデ
マス、一方ニ於キマシテ地方稅ノ戸數割ヲ

主ハ是デ又大分負擔ノ輕減ガ得ラレルト
思フノデアリマス、隨ヒマシテ理論的ニ土
地所得、營業所得ノ負擔ハ、ドンナ工合ニ
シテ均衡ヲ得ルカト云フコトハ、一概ニ申
上ゲラレマセヌケレドモ、此ノ稅制改正前
ト改正後トノ移リ遷リニ於キマシテハ、大
體ニ於テ不動產所得ノ方ハ、營業所得ヨリ
モ負擔が輕減セラレテ居ルデハナカラウ
カ、斯ウ云フヤウニ存ジテ居リマス
○田中政府委員 一寸先程留保致シテ置キ
マシタ國債ノ數字ヲ御答申上ゲマス、昭和
十五年一月末現在ニ於キマシテ、内國債ノ
總額ハ二百六億五千三百万圓デゴザイマス、
此ノ内御話ノ四分ハ除キマシテ、四分ヲ超
エル國債ハ二十九億七千八百万圓デアリマ
シテ、其ノ總體ニ對スル割合ハ、一割四分
四厘ニ相成ツテ居リマス
○池本委員 ソレハ拜承致シマシタ、非常
ナ割合デ、ヤハリ近頃ノモノハ低利子デス
カラ、以前ノ割合ヨリハドンヽ四分未滿
ノモノガ殖エテ居リマス、サウスルト益々私
ノ議論ガ其處へ擴大サレテ來ルヤウナ譯デ
アリマス、ソコデ曩ニハ田畠ト營業トノ負
擔ノ均衡ヲ一寸申上ゲタ譯デアリマスガ、
土地ト配當利子ト勤勞、是モヤハリ政府ノ
御發表デアリマスガ、是ハ本會議ノ時ニ申
シタノデモウ申シマセヌ、併シ土地ノ百ニ
ル、是カラ見マシテモ、土地ト云フモノハ
ドウシテモ高イ、高イノハ宜シオガ、私ノ
ハ餘リニ率ガ飛躍シテ居ルト、斯ウ申スノ
デアリマスカラ、其ゾ點ヲ眞意ヲ間違ヒナ

先程ノ新潟縣ノ手紙ヲ又茲ニ引用致シマス
ガ、他山ノ石トシテ一ツ御聽取ヲ願ヒ
タイ、是ハ基礎控除ヲシテ吳レト云フコト
ヲ言ツテ居ルノデアリマス「少數ノ不動產
所得ニハ他ノ分類所得ノヤウニ二百圓程
度ノ基礎控除ト云フモノヲ作ツテ下サル
カ、——是ハ勤勞所得ノ六百圓、營業所得ノ
四百圓ニ對シテ、此ノ人ハ遠慮シテ二百圓ト
言ツテ居ル、其ノ點ハシヲラシイ所デス、「基
礎控除ト云フモノヲ作ツテ下サルカ、或ハ
小額不動產所得ノ稅率ヲ百分ノ十ヨリモウ
少シ引下ゲテ下サイ」斯ウ云フヤウナ手紙
ガ參ツテ居リマス、ソレカラ是ハ東京ノ眞
中カラ參リマシタノデ、名前ガナインオデス
ガ、九一八改廢遂行國民同盟正義團トアリ
マスガ、併シ是ハドウモ文章ヲ見マスト、
決シテ不穩ナコトハ書イテゴザイマセヌ、
私ニ對シテ甚四郎閣下ト云フヤウナコトヲ
言ヒマシテ(笑聲)非常ニ敬意ヲ拂ツテ吳レ
ルカラ穩健分子ダト思ツテ居リマス、之ニハ
私ノ本會議ノ質問ニ對シテ斯ウ書イテアル、
「小地主ノ負擔増稅ニ依リ重キニ失スル旨
是アリ大イニ贊成」、ソレカラ「地主ハ地租
課稅ノ坪當單價ノ半額位シカ地料ヲ取レズ」
斯ウ書イテ居リマス、ソレカラ此ノ人ハ深
川新大橋方面ト指シテ居リマスカラ、恐ラ
ク其ノ方面ト思ヒマスガ、「坪當六十錢標準
ニ算出課稅セラレ居ル所ノ土地ハ地料三十
九錢位シカ上ラズ」斯ウアリマス、サウスル
ト、地代ガ三十九錢、稅金ガ六十錢位ノ標準
ニ算出サレテ居ル、斯ウ云フコトニナリマ
シテ、終リニ「大臣ハ地主ノ小ナル者ノ窮狀
ヲ知ラザルモノ」之ハ御存ジデセウガ、手紙
ニハ斯ウ書イテアル、ドチラカラ見テモ不

○大矢政府委員 土地ノ負擔ノ點デアリマスガ、多少數字ノ所ヲ申上ゲテ御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス、田畠ノ負擔ハ賃貸價格百圓ニ對シテ、改正前ハ國稅三圓八十錢、地方稅六圓五十四錢、計十圓三十四錢ニナリマスガ、改正後ハ八圓ニナリマシテ差引二圓三十四錢ノ減ニナリマス、營業ノ方ハ千圓以上ノ純益アル場合ニ於キマシテハ國稅ハ改正前二圓六十錢、附加稅ハ三圓九十錢、計六圓五十錢、改正後ハ六圓ニナリマシテ五十錢ノ減デアリマス、土地ノ方ハ二圓三十四錢ノ減デアルガ、營業ノ方ハ五十錢ノ減、斯ウ云フヤウニニナツテ居リマスノデ、此ノ物稅タル地租ヲ營業稅ダケニ見マシテモ、今度ノ改正ハ土地負擔ノ方ハガ、幾分餘計輕減サレテ居ル、斯ウ云フ次第デアリマス、此ノ外ニ地方農村ニ於テハ戸數割ノ輕減ト云フモノハ、非常ニ大キナ働キヨシテ居リマシテ、土地所有者ノ負擔ヲ此ノ方面ニ於テ、尙ホ非常ニ輕減サレテ居ルノデハナカラウカト存ジマス、大體戸數割ハ最近ハ一億四千万圓取ツテ居リマス、臨時財政補給金ノ輕減シナイモノヲ見レバ、二億圓、之ヲ廢止致シマシテ、現ニ戸數割ヲ施行シテ居ナイ土地ニ付テモ、住民稅ヲ課稅スルコトニシテ、全國デ五千万圓シカト出來ナイ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、地方農村方面ノ地主ノ負擔ト云フモノハ、著シクサウ云フ方面デ輕減セラレテ居ルカト

存ズル次第デアリマス、宅地ト田畠ノ税率ヲ變ヘテハドウカト云フ御話デアリマスケレドモ、地租ノ課稅標準ハ十年毎ニ改訂スルノデアリマスガ、現實ニ入ツテ來ル賃貸料ヲ緩和シテ、賃貸價格ヲ決メテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、是ハ區分スル必要ガナイト思フノデアリマス分類所得稅ニ於キマシテ、ドチラモ土地カラ生ズル所得デアリマシテ宅地デアラウカ、田畠デアラウガ、是ハドウモ區分スル理由ニ乏シイコトカト存ジマス

○池本委員 ソレハ同ジ事デアリマスケレドモ、私カラ見レバ色々事情ガ違フダラウト思フノデアリマス、併シ議論ニナリマスカラ是以上申上ゲマセヌ、ソレカラ先程戸數割ヲ引張ツテ來ラレテ、其ノ方ノ輕減ニナルト仰シヤイマシタガ、ゾレハ少クトモ三千圓以上位ナ田畠所得ノアル、田舎デモ大農ト云フ者コソ戸數割ノ輕減ハアリマス、併シ私ハ主トシテ千圓位ナ小地主ヲ、大體目標トシテ話スノデアリマシテ一般的ノコトハ別デスガ、ソレカラ見マスト千圓位ノ田畠所得者デハ、サウ戸數割ノ輕減ハゴザイマセヌ、全國平均額ハ大體二十圓位デセウ、今稅務署デ假ニ一反歩二十圓位ノ利益見タシテ、十町デ二千圓、十町デアリマスレバ米ハ百二三十石穫レマセウ、サウスルト三四千圓ノ大キナモノニナリマス、サウ云フ人ハ、戸數割ノ一戸平均ハ二十圓位デスガ、先づ四五百圓モノ戸數割ヲ納メテ居ル人モアリマセウガ、千圓程度ノ者デアレバ極ク僅カナモノデアリマス、幾ラ押ヘテモ百圓位ノモノ、ダカラ戸數割ヲ廢シタナラバ、負擔ノ輕減ニナルト仰シヤイマスガ、本當ノコトヲ申シマスト、アレ

リマセヌ、元々戸數割ハ一戸平均ハ二十圓デアルガ、一年一圓五十錢位ノ負擔ヲシテ居ル者ガ澤山アリマス、内務省ノ統計ニ依リマシテモ、全國平均額以下ノ者ガ、人數デ七割幾ラアツタと思ヒマス、ダカラ本當ノコトヲ言ヘバ大キナ者ガボコツト減ルノデ、小サイ者ハサウ減ルノデハゴザイマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

次ニ移リマスガ勤勞所得デス、勤勞所得ノ點ハ洵ニ結構デアリマス、ソコデ分類所得税ニ於テ、他ノ方面ヨリモ十分ニ優遇ヲ致サレテ居ル基礎控除モ六百圓デ、課率モ最低ノ百分ノ六、是ニハ異論ハゴザイマセヌ、先程一寸申シマシタガ、一般所得税ニ於キマシテ更ニ一万圓マデハ引ク、一万圓以下ノ者ニ付テハ一割ヲ引クト云フノハ、一體ドウ云フ譯デゴザイマセウカ、其ノ場合ニハ無論基礎控除ノ六百圓ハナクナルモノカト思ヒマスガ、ソレニシテモ一万圓マデノモノヲ可愛ガラナイデ宜イデハゴザイマセヌカ、伺ツテ置キマス

○大矢政府委員 勤勞所得ニ於キマシテ一万圓ト云フノハ相當高イカラ、一万圓程度ノ所ハ一割引クト云フコトヲシナクテモ宜イデハナカラウカト云フノモ、一つノ御意見カト存ジマスガ、從來ハ勤勞所得ガ一万二千圓以下ノ場合ニ於キマシテハ、六千圓ノ度ハ一万圓ニ低下シ、更ニ一万圓ノ中六千圓以下ハ從來二割低下シテ居タノヲ一割過シテ一万二千圓マデノ所ニ於テ一割引ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマシタノヲ、此ダケ低下スル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、

ハ、從來ノ控除ヨリモ其ノ額ガ相當少クナリマシタ、ソレダケ負擔ガ重クナツテ居ルト云フコトデ、大體池本サンノ仰シヤル趣旨ニハ副ウテ居ルノデハナカラウカト思ヒマス。

○池本委員 何ダカ逆ヲ申スヤウデアリマスケレドモ、此ノ税制調査委員會ノ經過ヲ新聞デ拜見致シマスト、小額事業所得者ノ率ヲ、勤勞所得並ニセヨト云フ意見ガ出マシテ、サウシテ千圓以下ノ者ニ付キマシテハ、事業所得者ニハ勤勞所得者ト見合ハサレテ百分ノ六マデニ低下サレタ、ソレヲ逆ニ言ヒマスト、ソレナラ事業所得ノ小額所得者ガ勤勞所得者ト見合ツテ率ヲ下グラレタ分ガアルトスレバ、高イ方ノ一万圓モアル勤勞所得者ニ付テハ、又事業所得ト見合セテ、七・五位ナ、事業所得ノ乙位ナ所マデ引上ゲタラドウカ、私ハ斯ウモ言フテ見タイ、敢テ主張スル譯デハアリマセヌガ、ドウデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○大矢政府委員 ソレハ結局綜合所得稅ニ於キマシテハ勤勞所得デアラウガ、不動產所得デアラウガ、事業所得デアラウガ、皆同ジヤウニ稅率ヲ持ツテ行ク、斯ウ云フコトデ大體池本サンノ御趣旨ノ通リニナツテ居シテハ、其ノ綜合所得ニ於ケル超過累進稅率ハ所得ノ種類ニ依ツテノ稅率ノ差等ヲ設付テハ、分類所得稅ノ率ダケ違ツテ居リマケテ居ラレマセヌカラ、勤勞所得稅デモ多額所得者ニナルニ從ツテ、他ノ所得者トノ間ノ負擔ハ漸次接近シテ來ル、斯ウ云フ風ニナツテ居ル次第アリマス

ノヤウニ思フノデアリマス、例ヲ舉グヨト
仰シヤルナラバ舉ゲテモ見マスガ、ソレハ
何カ御考ガアツテノコトデアリマスカ
○大矢政府委員 大體サウ云フ傾向ハアル
ノデアリマスガ、ソレハ從來ノ負擔ニ對シ
テノ増加割合ヲ見ル時ニサウナルノデアリ
マス、是モ度々今マデ御答致シマシタガ、
從來ノ第三種所得稅ニ於ケル稅率ノ定メ
ハ、千圓ニ對シテハ百分ノ一トナツテ、千
五百圓ニ對シテハ百分ノ四ニナリ、三千圓
ニ對シテハ百分ノ七トナルト云フヤウニ、
非常ニ稅率ガ飛躍シテ居リマスガ、此ノ千圓、
千五百圓、三千圓ト云フ間ニ、果シテ負擔
力ノ相違ガドレダケアルカト云フコトガ、
一ツノ疑問デアルノデアリマス、一面ニ於
テ千圓以下ノ所得者ニ付キマシテハ、第三
種所得稅ハ從來課稅シテ居リマセヌカラ、
之ニ對シ基礎控除ヲ六百圓ト致シマシテ、
ソレ以上ノ者ニ課稅スルトナリマスト、倍
數カラ云ヘバ何ト申シマスカ、無限大ト言
致シマスガ、併シ百圓當リノ課稅ノ負擔額
モ、サウ云フ關係ニナリマシテ、倍數カラ
見ルト如何ニモ下ノ者ガ上ルト云フ感ジガ
ツテハ諸弊ガアルカモ知レマセヌケレド
モ、サウ云フ關係ニナリマシテ、倍數カラ
ナツテ居ナイフデアリマシテ、基礎控除六
百圓ト致シマスト、小額所得者ノ方ハ漸次
超過累進稅率デ課稅ヲ受ケルト同ジヤウナ
作用ニナツテ居リマシテ、金額モソレ程多
ヒマスレバ、倍數ダケカラ見マスト小額所

○池本委員 下ノ方ハ絶對率ハ上ルヤウニ見エテモ、絕對金額ハ小サインデアル、ソレハサウナリマセウガ、併シ絕對金額ガ小サイト言ヒマシテモ、其ノ人／＼依ツテコタヘル程度ガ違フノデアリマシテ、下ノ方ハ金額ガ少クテモ、其ノ率ニ現ハレテ居ルダケノ重ミハ掛ツテ居ルト思フノデアリマス、大體今度ノ課税範圍ガ引下ゲラレタコトハ私モ了承致シマスガ、高イ率ヲ掛けヨウト云フノデハナク、成ベク廣イ範圍ニ於テ、所謂國民稅的ニ課ケヨウト云フノデ、低イ稅率デ成ベク多ク課ケルト云フコトヲ狃ハナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ點カラ申シマスト、下ノ方ノ率ノ引上ニハ、色々ナ事情ノアルコトモ考慮ハ致シマスケレドモ、私ハ遺憾ノ意ヲ禁ジ得ナイ譯デアリマス、藏相ガオイデニナリマシタカラ伺ツテ置キタイコトガアリマス、ソレハ地方ノ中小地主ニ對スル御考デアリマスガ、稅制ヲ通シテ見ラレタ御見解、大臣ハツイ此ノ前農林大臣ヲシテ居ラレタカラ伺フノデスガ、中小地主ニ對スル扱ハ、餘程考ヘナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、近頃農村ガ一層疲弊シタ申シマスガ、人ト物ノ都市集中ガ行ハレテ居ルコトガ其ノ原因ヲ爲シテ居リマス、ケレドモ、私ハ唯單オル人口ノ都市集中ト云フヨリモ、其ノ質ト人物ノ缺如ト云フコドガ、農村疲弊ノ一つノ原因ニナツテ居ル、詰リ指導階級ノ滅亡、衰亡ガ農村疲弊ノ役割ヲ致シテ居ルモノト考ヘマス、其ノ點カラ私ハ地主階級ノ存在ハ絶對的ニ必要デアルト考

ヘテ居リマス、一般産業界方面ニ見マスト、勞働者ト大資本家、其ノ他ニ中小商工業者ガ色々ノ分野トシテ取扱ハレテ居リマスガ、農村問題ニ限ツテハ、小作ト地主ト大分ケニサレテ、一町、二町ノ者モ地主トシテ一樣ニ取扱ハレテ居ルガ、大地主ト小中地主トハ別個ニ考ヘテ、研究題目トシテモハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ左様ナコトハ別ト致シマシテ、兎ニ角中小地主ニ付テハ餘糧考ナケレバイカヌト考ヘルノデアリマスガ、一つ前ノ農林大臣トシテノ藏相ノ御見解ヲ承リタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 私ハ中小地主ハ今日實際非常ナ窮境ニアルト思ツテ居リマス、兎ニ角中地主アタリハ元ハ相當ナ暮シテ居リマシタガ、最近次第ニ其暮シガ苦シクナツテ來タコトハ事實デアルト思ツテ居リマス、吾々ノ知レル範圍内ニ於テモ、サウ云フ事實ガ澤山アルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是等中小地主ニ對シテハ其ノヤツテ行ケル途ヲ考慮致サナケレバナラスト思ヒマス、今回ノ地租ノ増徴ニ付テ考ヘテ見マシテモ、其ノ方面ハ他ノ方面ニ比較シテ見マスト、比較的増徴ガ少ノデアリマス、併シ必ズシモ下ツテ居ル譯デナイ、吾々トシテハ其ノ負擔ガサウ輕イトハ存ジマセヌケレドモ、今日ノ場合此ノ程度負擔シテ貰ツテ差支ナイト云フ風ニ考ヘマシテ、此ノ案ニ同意ヲ表シテ提案致シタ譯デアリマス

○池本委員 中小地主ニ對シテ斯ウ云フコトヲ申ス人ガアリマス、大體サウ云フ一町、二町、三町位ナモノヲ持ツテ居ツテ、小作ナドヲサシテ居ルノハ贅澤ダ、ダカラサウ云フ者ハ自作農ニ轉落スベキモノダト申ス

ス、自作農ハ幾ラ澤山持ツテ居ツテモ自作農性ト云フモノガアル、大體是ハ小作人根性ニ屬スペキモノデアツテ、地主階級ハ自作トモ考ガ違フ、指導的ナ立場ニ立タ

ウト云フヤウナ考ハ自作農ハ持タナイ、其ノ意味ニ於テ中小地主ト云フモノニ付テハ餘程考ヘナケレバナラヌ、私ガ特ニ之ヲ高調スル所以ハ、是ガ餘り言ハレナイカラ茲ニ申上ゲル譯デアリマス、一部ニハロヲ開ケバ小作階級ノコトノミヲ申シマスケレドモ、地方ニ於テハ却テ地主ノ方ガ低イド云フコトガ實際ニハ澤山アル、ダカラ其ノ點ハ齒ノ浮イタヤウナ意見ニ迷ハサレナイヤウニ、特ニ希望シテ置キマス

次ニ不動産所得ノ必要經費ノ控除ノ問題デアリマス、是ハ小サイ問題ニナリマスケレドモ、一體從來稅ノ査定ニ於テ土地ニハ一割五分、借家ニハ二割ト云フ風ニ聽イテ居リマス、是ハ無論法律上ノ根據ガアル譯デアナク、所謂手心、見積ト云フヤウナ意味デアツタト思ヒマスガ、左様デゴザイマスカ、必要經費ノ内容ニ付テ一寸伺ツテ置キタイ

○大矢政府委員 必要經費ニ付テハ、例ヘバ市街地ノ貸地、貸家等ヲ澤山持ツテ居ル人ニシテ、帳簿モ完備シテ居ルモノニ付テハ、實際ニ其ノ收支計算ヲ見テ、所得ヲ計算シテ居ルノデアリマスガ、サウデナイ一

般ノ中小ノ貸地、貸家ヲ持ツテ居ル人、或ハ又御話ノ田畠ヲサウ澤山持タナイ人ノ不動產所得ニ付テハ、大體其ノ町トカ或ハ其ノ村ニ於テ標準トナルベキ數人ニ就イテ、毎年實地調査ヲ致シマシテ、其ノ平均額ニ

依ツテ收入百圓當リ所得幾ラ、或ハ田畠一反歩當リ所得幾ラト云フヤウニ見テ、他ハ

人ガ往々アリマスガ、是ハ非常ナ間違ヒデス、自作農ハ幾ラ澤山持ツテ居ツテモ自作農性ニ屬スペキモノデアツテ、地主階級

或ハ特殊ノ事由ニ依ツテ貸家等ニ於テ修繕費ヲ特ニ要シタト云フヤウナ事例ガアル場合ハ、其ノ點モ考慮致シマシテ、標準率ニ依ツテ算出シタ金額ニ相當ノ斟酌ヲ加ヘテ、適用シテ居ルト云フ現況デアリマス

○池本委員 若シ借入負債ガアリマスカド合ニハ、其ノ負債利子モ御引キニナルカドウカ伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 元本取得ニ要シタ借入金ノ利子ナラバ、差引クコトニナツテ居リマス、現ニ都會地ノ貸地、貸家等ニ於テハ、

帳簿上明確ナモノ等ニ付テハ、相當差引イテ居ル現況デアリマス

○池本委員 配當利子ニ付テハ負債利子ノ控除ト云フモノガ、成文化サレテ居リマス、サウスルト、サウ云フコトガ實際ニアツテ不動產ニ付テモサウ云フコトヲ認メルナラバ、法制化サレタラドウカト思ヒマスルガ、ドウデゴザイマスカ

○大矢政府委員 是ハ法制化シテ居ルノデアリマシテ、從來ノ所得稅法ニ於キマシテモ、總收入金カラ必要經費ヲ控除スルト云フコトニナツテ居リマス、改正法律案ニ於キマシテモ、其ノ點ハ同様デアルノデアリマス

○池本委員 ソレハ負債利子ト云フコトガニ付キリ出テ居リマスカ

○大矢政府委員 必要經費ノ中ニ元本ヲ取得スルニ要シタ負債ノ利子ハ當然入ル、斯

○池本委員 ソレデハ私ハ同ジコトナラバ

ニ於テ多數ノ意向ガ、ソコニアルヤウニナ

リマスレバ、一ツ其ノ意向ヲ御尊重ニナリ
マスルカドウカ、大藏大臣カラ承リタイト
思ヒマス

○櫻内國務大臣 既ニ政府委員ガ説明致シ
マシタ通り、必要經費トシテ、其ノ所得ヲ
得ル爲ニ負債ヲシタ、即チ其ノ利用資金ニ
對スル利子ハ、當然必要經費トシテ引カレ
ルモノト、斯ウ云フコトニ付キマシテハ少
シモ疑フ持ツテ居リマセヌ

○大矢政府委員 所得稅ノ取扱方通牒ト云
フモノヲ大藏省ガ出シテ、各監督局、稅務
署ニ通牒シテ居リマスガ、其ノ中ニ「所得
ノ基因タル資產ノ取得ニ要シタル負債ノ利
子ハ必要經費トシテ控除スペキモノトス」
斯ウ致シテ居リマス

○池本委員 ソレデハ茲ニハツキリサウ云
フ御解釋ト云フコトヲ承ツテ置キマス、ソ
コデ先へ進ミマシテ、產業組合課稅ノ問題
デゴザイマス、昨日デゴザイマシタカ長野
君ガ質問サレタ、ソレニ次デ中島サンガ御
質問ニナツテ居リマス、其ノ際ノ中島サン
ニ對スル主稅局長ノ御答辯デス、中島サン
ノ御質問ハ、今回普通ノ法人ノ稅率ノ半額
ニナツテ居ルノハ、是ハ初メテノ課稅デア
ルカラ手心デ半分ニシテアルノカドウカ、
斯ウ尋ねラレマシタラ、アナタハ大體左様
デアル、現在ハ此ノ程度ヲ適當ト思ツテ居
思ツテ居ルノデスガ、左様デゴザイマスル
カ

○大矢政府委員 是ハ産業組合ノ貯金利子
ニ對スル課稅ノ件ト存ジマス、大體左様ニ
御答シテ居タト存ジマス
○池本委員 ソレデハ昨日、現在此ノ程度
デ適當デアルト答ヘラレタ、其ノ適當トセ

ラレマシタ標準ハ何處ニアルノデアリマス
カソレヲ承リタイ

○田中政府委員 一寸私カラ御説明申上、
ガ

マスガ、只今局長カラ申上ゲマシタヤウニ、
此ノ稅率ガ適當カドウカト云フ問題ハ產業
組合、ソレカラ銀行貯蓄預金、斯ウ云フ非
課稅デアツタモノニ今回新シク課稅スル、
其ノ稅率ノ問題デアリマス、而シテ是等ノ
モノニ付テハ、從來非課稅デアツテ、今回
初メテ課稅スルノデ、此ノ程度ヲ適當ト考
ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマ
スガ、其ノ内容ト致シマシテハ、此ノ種ノ
預金ニ對スル課稅ノコトデアリマス、或ハ
郵便貯金トノ利率ノ關係モアルト思ヒマス、
又銀行預金、殊ニ地方銀行預金トノ利率ノ
關係モアリマスシ、是等ノモノノ利率竝ニ
今回改正後ニ於キマシテ、是等ノ産業組合
貯金、銀行貯蓄預金、サウ云ツタヤウナモ
ノニ總テ稅金ガ課リマスノデ、其ノ稅引手
取ガ大體現在ノ「バランス」——多少ノ違ヒ
ハアルガ、大體現在ノ「バランス」ヲ取ツテ
其ノ爲ニ金融資產ガ特殊ノ方面ニ流レタリ
スルコトノナイヤウナ所ヲ見マシテ、此ノ
程度ヲ適當デアル、斯様ニ考ヘタ次第デア
リマス

○池本委員 私ハ斷ツテ置キマスガ、產業
組合ノ本質ハ十分尊重シテ居ル、併シナガ
ラ私ハ育目的ニ之ヲ支持スル者デハゴザイ
ル、確ニ斯ウ云フ風ニ御答ニナツタト私ハ
思ツテ居ルノデスガ、左様デゴザイマスル
カ

アル、ダカラサウ云フ人々ニヤラセテ置ケ
バ、地方々々ノ實情ニ即應シタヤリ方ヲヤ
ルカラ摩擦ハ起サナイト思ヒマス、ダガ惜ム
ラクハ地方ノ人ハ善良ノ人デハアリマスガ朴
訥デアリマスカラ、中央カラノ指令ヲ或ハ
恐レテ、上下ノ關係ガアルカノヤウニ考ヘ
テ直從スルヤウナ傾向ガアル、ソレデ摩擦
ヲ起ス、其ノ點ニ於テハ、私カラ言フナラ
バ、中央ニ於テハ往々指導方針ヲ誤ルモノ
ノアルコトヲ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル、併シ
ヤハリ善イコトハ善イ、惡イコトハ惡イノ
デアリマスカラ、私ハ産業組合ノ本質ハ忘
レセマス、ソゴデ此ノ點デスガ、只今ノ點
カラデストドウモ平面的ナ、營利法人的ノ
ヤウナ立場カラノミ、此ノ課稅ヲ見テオ居
デニナルカノヤウニ思ハレル、從來私共ガ
認識シテ居リマシタ點デハ、此ノ率ハ下ゲ
ラレタノハ是ハ産業組合ノ本質ニ鑑ミテ、
是ガ公益的使命ヲ持ツモノデアルカラ、一
般ノ法人トハ稅ヲ異ニシタノダ、斯ウ云フ
風ニ私ハ考ヘテ居ツタ、ソレガドウ違ツテ
來ルカト云フト、最初ダカラ、此ノ率ハ半
分ニシテ置クノダ、現在ガ此ノ状況ダカラ
スウダト、斯ウ言ハレマスト、之ニ課稅シ
テ居ツテモ將來一向預金ハ逃ゲナイ、ソレ
ナラバ是ハ引上ゲテモ宜イノダト、斯ウ云
フヤウナ結論ガ出テ參リマス、若シモ本來
ノ性質ガ公益的立場ニアルト云フ點カラ、
此ノ率ヲ定メラレタモノトスルナラバ、是
ハ或ル程度マデハ永久ニ存置シテ行ク、斯
ト云フコトヲ私ハ認メテ居ル、ダカラト言
ウ云フコトニナル譯デアリマスカラ、其ノ
點ハ私ハ少し大事ダト思フノデアリマスカ
ラ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス、此ノ點ハ御迷惑デナケレバ、寧ロ大臣
カラ御答ヲ願ツタ方ガ結構ダト思ヒマス

スルノ答ハ、特別法人稅ノ意味デナカツタ
スルノ問題デハナイカト思フノデアリマス、
特別法人稅ハ今御話ノ通り、本來ノ使命ガ
ノデアリマス、ソレハ其ノ他ノ今ノ貯金ナ
ラクハ地方ノ人ハ善良ノ人デハアリマスガ朴
訥デアリマスカラ、中央カラノ指令ヲ或ハ
恐レテ、上下ノ關係ガアルカノヤウニ考ヘ
テ直從スルヤウナ傾向ガアル、ソレデ摩擦
ヲ起ス、其ノ點ニ於テハ、私カラ言フナラ
バ、中央ニ於テハ往々指導方針ヲ誤ルモノ
ノアルコトヲ非常ニ遺憾ニ思ツテ居ル、併シ
ヤハリ善イコトハ善イ、惡イコトハ惡イノ
デアリマスカラ、私ハ産業組合ノ本質ハ忘
レセマス、ソゴデ此ノ點デスガ、只今ノ點
カラデストドウモ平面的ナ、營利法人的ノ
ヤウナ立場カラノミ、此ノ課稅ヲ見テオ居
デニナルカノヤウニ思ハレル、從來私共ガ
認識シテ居リマシタ點デハ、此ノ率ハ下ゲ
ラレタノハ是ハ産業組合ノ本質ニ鑑ミテ、
是ガ公益的使命ヲ持ツモノデアルカラ、一
般ノ法人トハ稅ヲ異ニシタノダ、斯ウ云フ
風ニ私ハ考ヘテ居ツタ、ソレガドウ違ツテ
來ルカト云フト、最初ダカラ、此ノ率ハ半
分ニシテ置クノダ、現在ガ此ノ状況ダカラ
スウダト、斯ウ言ハレマスト、之ニ課稅シ
テ居ツテモ將來一向預金ハ逃ゲナイ、ソレ
ナラバ是ハ引上ゲテモ宜イノダト、斯ウ云
フヤウナ結論ガ出テ參リマス、若シモ本來
ノ性質ガ公益的立場ニアルト云フ點カラ、
此ノ率ヲ定メラレタモノトスルナラバ、是
ハ或ル程度マデハ永久ニ存置シテ行ク、斯
ト云フコトヲ私ハ認メテ居ル、ダカラト言
ウ云フコトニナル譯デアリマスカラ、其ノ
點ハ私ハ少し大事ダト思フノデアリマスカ
ラ、此ノ點ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス、此ノ點ハ御迷惑デナケレバ、寧ロ大臣
カラ御答ヲ願ツタ方ガ結構ダト思ヒマス
ニ於キマシテ法人稅、營業稅ヲ免除スルト

云フ規定ヲ存置シテ置ク、斯ウ云フ譯デアリマス

○堀切委員長 ソレデハ池本君一寸御待ヲ願ヒマス、織維局長が見エマシタカラ……

木村君

○池本委員 ソレデハ今ノ點デ一寸申上ダテ置キマス、私ハ中島サンノ御質問ニ拘泥シテ居ル譯デハアリマセヌ、要スル所ハ税ノ狙ヒ所ヲ明ニスレバ宜ノデアリマシテ只今其ノ點ハ大臣カラハツキリ承リマシタカラ、是デ結構デアルト思ヒマス

○堀切委員長 木村君

○木村委員 今度ノ米内内閣ハ内閣ノ成立ニ當リマシテ、内政ニ非常ニ重點ヲ置クト云コトヲ言ハレテ居リマス、アノ阿部内閣ノ末期ニ當リマシテ、國內ノ統制經濟は、國民ニ信ヲ失ツタヤウナ狀態デアリマシテ、生活ノ必需品モ到ル所閻取引ガ横行スル、尙ホ將來物價ガ非常ニ上ルト云フヤウナ國民ノ不安ガ増大ヲシテ來タコトニ鑑ミマシテ、議或ハ此ノ委員會ニ於キマシテモ、將來ニ於アルト云フコトヲ言ハレテ居リマス、是ハ、生産力ノ擴充ニハ努力スル、併シ此ノ低物價政策ハ何處マデモ堅持ヲシテ行クト云フコトヲ仰シヤラレテ居ルデノアリマス、ソコデ果シテ是ガ政府ノ豫期スルヤウナ工合ニ、生産力ノ擴充ガ行クカドウカト云フ間題ニ付キマシテハ、是ハ非常ニ問題ガアル、ノデアリマスガ、要スルニ此ノ統制ヲヤツテ、居リマス所ノ方法ニ付キマシテ、是ガ生産、配給、消費、此ノ方面ニ向ツテ本當ノ圓滿ナル

連絡ト協調ガナケレバ、到底ゾレノ實現モ困難デアラウト思フノデアリマス、而シテ現在ノ織物ニ對スル原料配給ノ統制ヲ見マス

ルノニ段々圓「ブロウク」竝ニ内地向ノ織維原料ガ、有ユル品種ニ亘ツテ統制ヲサレテ居リマス、サウシテ現在商工省ノ御考ト致シ

マシテ、織維需給調整協議會ガ此ノ統制ノ中心ニナツテ、サウシテ物動計畫、輸出ニ依ル輸入力ノ算定、原料ノ輸入ト云フヤウナ方面ト睨ミ合セテ、此ノ物動計畫ニ基イ

テ織維需給調整協議會ガ原料ノ需給推算ヲ立テ、毎月ノ配給量ヲ決定シテ居ルコトハ承知シテ居リマス、此ノ織維需給調整協議會ヲ一元的ニ統制ノ中心トシテ居ル、併シ

ニ政府ノ統制ニ對スル施設ト云フモノモ、恐ラクハ御

ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル各業界ノ非難ガ囂々トシテ居リマス、此ノ問題ハ商工大臣ニ於カレマシテモ、恐ラクハ御

承知ノコトデハナイカト思フノデアリマス、先般此ノ問題ニ付キマシテ豫算委員會ニ於

キマシテモ質問ガアリ、之ニ對シテ織維局長カラ御答辯ガアツタコトヲ聞イテ居ルノ

デアリマス、ガ現在ノ配給ノ仕事ト云フモノガ非常ニ間違ヒガアツタリ、或ハ事務ガ

非常ニ滞滯ラシテ居ル、又配給ノ方法ニ不

公平ヲ免レナイングト云フヤウナ工合デアリマシテ、業界デハ非常ニ困ツテ居リマス、私ガ考ヘマスノニ、此ノ一元的ニ織維需給

調整協議會ガ此ノ配給ノ根本計畫ヲ立テルト云フコトハ宜イノデアリマスルガ、此ノ配給其ノモノヲ何モ織協自體ガヤラナクテ

ノ方面ヲ強化シテ、織協自體ガ配給ノ任ニ當ルンダト云フヤウニ仰シヤツテ居ラレル

マス、是等ノ工聯ヲシテヤラセルト云フコトニ、此ノ何處ニ配給統制上ノ缺陷ヲ生ズルノデアルカ、私ハ何モ工聯自體ガ配給ト

テ、ソレニ依ツテ工聯ガ手數料ノ收入ガ減

ウタトカ、ソレニ依ツテ工聯ノ基礎ガ非常ニ薄弱ニナツタト云フヤウナ見地カラノ

ミ、此ノ問題ヲ申上ゲルノデハナイノデアリマス、實際ニ於テ配給事業其ノモノガ圓滑ニ行ハレテ居ナイト云フコトハ、サウ云

フ風ナ點ニマデ不慣レナ織協自體ガ當ツテ居ルト云フコトデハナイカト思フノデアリマシテ、此ノ問題ニ對シマシテハ、民間ニ

非常ニ囂々タル不平不滿モアルノデアリマス、恐ラク商工大臣モ御聞キノコトグラウト思フノデアリマシテ、大臣ニ於カレマシ

テハ如何様ニ考ヘラレテ居リマスカ

○藤原國務大臣 織物ノ統制、原料ノ配給等ニ付キマシテ業者ヨリ度々陳情ヲ承ツテ居リマシテ、業者ニ於テ色々困難セラレテ居ルト云フヤウナ實情ニ付テハ、若干承知致シテ居リマスガ、只今御質問ニナリマシ

タ點ニ付キマシテ、織維局長ヨリ御答辯ヲ申上ガルコトニ致シマス

○辻政府委員 織物業者ニ對シマスル絲ノ配給ノ關係ニ付テノ御話デゴザイマスガ、從來

モ申上ダルコトニ致シマスガ、從来

モアリマスガ、要スルニ此ノ統制ヲヤツテ、斯

少致シマシタ爲、又綿絲ニ「ス・ブ」ヲ混紡スル、又羊毛ニ「ス・フ」ヲ混紡スル混紡ノ

關係、其ノ他ノ事情カラ致シマシテ、各種ノ絲ヲ絲トノ間ニ非常ニ緊密ナ關係ヲ持ツテ參リマシタト云フヤウナ事柄、又各個ノ機業家ガソレト各種ノ絲ヲ使フヤウニナ

ツタト云フ點、殊ニ各種ノ機業者ガ持ツテ居リマス織機ガ、ソレト各種ノ工聯ニ二

スル、三重ニ重複シテ登録サレルト云フヤウ

テ、ソレカニ何ヨリモ先づ其ノ全體ノ

數量ガ少クナリマシタ關係上、從來ノ如ク

重、三重ニ重複シテ登録サレルト云フヤウ

ス、恐ラク商工大臣モ御聞キノコトグラウト思フノデアリマシテ、大臣ニ於カレマシ

テハ如何様ニ考ヘラレテ居リマスカ

○藤原國務大臣 織物ノ統制、原料ノ配給等ニ付キマシテ業者ヨリ度々陳情ヲ承ツテ居リマシテ、業者ニ於テ色々困難セラレテ居ルト云フヤウナ實情ニ付テハ、若干承知致シテ居リマスガ、只今御質問ニナリマシ

タ點ニ付キマシテ、織維局長ヨリ御答辯ヲ申上ガルコトニ致シマス

○辻政府委員 織物業者ニ對シマスル絲ノ配給ノ關係ニ付テノ御話デゴザイマスガ、從來

モ申上ダルコトニ致シマスガ、從来

モ適正公平ニ配給スル方法トシマシテ、斯

ニ基イテ設立サレマシタ織維需給調整協議會ガ之ニ當ルト云フコトニ相成リマ

テ、昨年ノ十一月カラ此ノ方法ニ依

ツテ實行シテ參ツテ居ルノデゴザイマスガ、唯何分ニモ從來ノ配給方法ニ代フルニ、斯ノ如キ新シキ配給方法ヲ以テ致シマシタコトハ、相當困難ナ複雜ナ仕事デアリマシタコト云フコト、又織機ノ數モ七十數万台ト云フヤウニ、非常ニ廣汎ナ範圍ニ至ルヤウナ關係カラ、其ノ計算方法等ニ付テモ、非常ニ具體的ノ細カイ計算デ致シマセケレバナリマセスト云フコト等、各種ノ事情カラ致シマシテ、其ノ間相當塵擦ガアリ、転轍ガアリ、又業者ノ不満不平ヲ買ヒマシタコトモ承知致シテ居ルノデアリマスケレドモ、斯ウ云ツタヤウナ事情ハ漸次事務が慣レマスニ連レマシテ、段々改善サレテ行クコト考ヘルノデアリマス、織協自體ト致シマシテモ其ノ加盟ノ團體、組織者申シマスモノハ、取モ直サズ關係ノ各工聯デアリ、各商聯デアリマスノデ、需給調整協議會ガヤリマスト云フ事柄ハ、同時ニ加盟シテ居リマス各工聯ガヤルト云フ風ニ、私共考ヘテ居ルノデアリマス、技術上ノ具體的ノ事務ノ圓滑ニ參リマセヌ點ハ、ト考ヘテ居リマス、事情ヲ一應申上げマシテ、御諒承願ヒタイト考ヘマス。

○木村委員 現在マデノ事情ニ付テハ、只今局長ノ御話デ諒解致シタノデアリマスガ、現在ニ於ケル配給事務ノ運行ト云フ風ナモノガ、依然トシテ改善サレテ居ラナイ、又聞ク所ニ依リマスルト、非常ニ澤山ナ經費ヲ使ツテ、而モ不憤ナ人間ヲ集メテ、當分ドウモ圓滑ニ行ク見込ノナイヤウナコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、サウシテ纖維需給調整協議會デ以テ、根本的ノ配給統制ノ

中心的ノ計畫ヲ立テレバ——配給のノ事務ノ如キハ是ハ工聯ニ委セテサモレト云フト方ガ、工聯自體ガ從來サウ云フ仕事ヲヤツテ居ツテ、而モ立派ナ機關モ備ヘテ居ルシ、人間モ居ルノデアリマスシ、又當業者トノ連絡ト云フヤウナモノモ非常ニ宜イ、現在ノ織維需給調整協議會ノ如キハ各府縣ニ支部ヲ置イテ、經濟部長或ハ工業試驗場長ト云フ者ガ支部長デアリ、ソレガ統制ノ監督者デアルト云フヤウナ建前カラ申シマシテ、是ハ如何ニ商工省ガ鞭撻ヲシマシテモ、中々本省ノ期待スルヤウナ工合ニ事務ノ運行ガ旨ク行カナイノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、寧ロソレニ依ツテ政府ガ獨善的ナコトヲヤツテ居ルノダト云フヤウナコト、是ハ運行サレテ行クト云フヤウナコトデアリマシテ、寧ロソレニ依ツテ政府ガ獨善的ナコトヲヤツテ居ル、又毛工聯デモ、毛織物ノ外シテモ、中々本省ノ期待スルヤウナ工合ニ事務ノ運行ガ旨ク行カナイノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、寧シテ、サウシテ工聯ヲシテ此ノ織協ノ方針ニ基イテ仕事ヲヤラセテ行クト云フナラバ、今度ハ工聯自體ニ於テ拙イ所ガアレバ、ソレハ工聯自體ガ責任ヲ負フベキデアリマセウシ、ソレニ依ツテ工聯ノ内部カラノ不滿ト云フモノハ、之ヲ除去スルコトガ出来ルト思フ、寧ロ此ノ際政府ハ此ノ工聯ト云フモノヲ旨ク利用シテ、ソレニ末梢的ノ配給事務ノ如キハ代行セシムルト云フ風テコトガ、塵擦ヲナクシテ、而モ實情ニ副コトデハナイカト思フ、サウ云フコトガドウ云フ建前カラ云ツテ出來ナイカ、又ソレヲ云フ建前カラ云ツテ出來ナイカ、又ソレヲ云フ風ニ御考デアリマセウカ、此ノ點モ御伺シテ見タイト思ヒマス。

尙ホ又只今織協ノ役員ハ、工聯若クハ商聯ト云フヤウナ關係當業者ノ聯合會ノ代表者ガナツテ居ルカラ、織協ノ運行ト云ブモノハ、ソレ等ノ意見ヲ聽取シテヤルノダトガ「タオル」工聯ヲシテ、其フ「タオル」用ノ原絲ノ配給ノ具體的仕事ヲヤラセテ居ルト云フ文句ガ當ルカドウカ存ジマセヌガ、其ノスノハ「タオル」ノ織機ノ關係ガ、他ノ織機ト違ヒマシテ重複關係ガナイ、又其ノ業者ガ「タオル」工聯ダケニ屬シテ居リマシテ、

員ハ主トシテ紡聯ノ役員デアル、各工業組合或ハ商業組合ノ代表者ト云フモノハ、役員ニハナツテ居ルガ、評議員ト云フヤウナ、諸問機關ト申シマスカ、サウ云ツタヤルシ、人間モ居ルノデアリマスシ、又當業者トノ連絡ト云フヤウナモノモ非常ニ宜イ、現在ノ織維需給調整協議會ノ如キハ各府縣ニ支部ヲ置イテ、經濟部長或ハ工業試驗場長ト云フ者ガ支部長デアリ、ソレガ統制ノ監督者デアルト云フヤウナ建前カラ申シマシテ、是ハ如何ニ商工省ガ鞭撻ヲシマシテモ、中々本省ノ期待スルヤウナ工合ニ事務ノ運行ガ旨ク行カナイノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、寧シテ、サウシテ工聯ヲシテ此ノ織協ノ方針ニ基イテ仕事ヲヤラセテ行クト云フナラバ、今度ハ工聯自體ニ於テ拙イ所ガアレバ、ソレハ工聯自體ガ責任ヲ負フベキデアリマセウシ、ソレニ依ツテ工聯ノ内部カラノ不滿ト云フモノハ、之ヲ除去スルコトガ出来ルト思フ、寧ロ此ノ際政府ハ此ノ工聯ト云フモノヲ旨ク利用シテ、ソレニ末梢的ノ配給事務ノ如キハ代行セシムルト云フ風テコトガ、塵擦ヲナクシテ、而モ實情ニ副コトデハナイカト思フ、サウ云フコトガドウ云フ建前カラ云ツテ出來ナイカ、又ソレヲ云フ風ニ御考デアリマセウカ、此ノ點モ御伺シテ見タイト思ヒマス。

○辻政府委員 織維需給調整協議會ト其ノ組成デアリマス各工聯トノ關係ニ對シマシテ、根本ノ配給計畫ハ織維需給調整協議會デヤラシメ、些末ノ立法計畫ハ組成員タル工聯フシテヤラシタラドウダト云フ御意見ノヤウデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ現在デモ、例へば「タオル」ノ關係ノ「タオル」工聯ト云フガゴザイマシテ、代行ト云ノ構成ノ問題ニ付キマシテハ、固ヨリ現在ノ機構並ニ現在ノ役員ノ組織、之ヲ以テ絶對ニ固定的ノモノト考ヘル必要モナカラウトニシテハ、唯現在ノ織維需給調整協議會ノ役員ハ此ノ點等ニ付キマシテハ、今後トモ十分に此ノ點ヲ併セテ伺ヒタイト思ヒマス。

○辻政府委員 織維需給調整協議會ト其ノ組成デアリマス各工聯トノ關係ニ對シマシテ、根本ノ配給計畫ハ織維需給調整協議會デヤラシメ、些末ノ立法計畫ハ組成員タル工聯フシテヤラシタラドウダト云フ御意見ノヤウデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ現在デモ、例へば「タオル」ノ關係ノ「タオル」工聯ト云フガゴザイマシテ、代行ト云ノ構成ノ問題ニ付キマシテハ、固ヨリ現在ノ機構並ニ現在ノ役員ノ組織、之ヲ以テ絶對ニ固定的ノモノト考ヘル必要モナカラウトニシテハ、唯現在ノ織維需給調整協議會ノ役員ハ此ノ點等ニ付キマシテハ、今後トモ十分に此ノ點ヲ併セテ伺ヒタイト思ヒマス。

ヲ獨斷的ニ決メテ押付ケルト云フヤウナ意味ノ御話モゴザイマシタケレドモ、是ハ現在ノ事務ノ動カシ方ト致シマシテ、私共ト致シマシテハ纖維需給調整協議會ノ全部ノ方々ノ御意見ヲ尊重シ、御相談ノ上仕事ヲヤツテ居ル積リデゴザイマス、現ニ各種ノ問題ニ付キマシテハ、纖維需給調整協議會ノ中ニ色々々ノ委員會ガ今設置サレテ居リマシテ、其ノ委員會ニ於ケル論議等ニ付キマシテモ、私共出來ル限り參加致シマシテ、御一緒ニ相談ヲ致シナガラ進メテ居ルト云事情デゴザイマスノデ、此ノ點モ併セテ御諒承ヲ願ヒタイト考ヘマス

○木村委員 實際ノ配給ニ當ツテハ、一ツノ工聯ガ色々々ナ纖維ヲ使フ所ノ業者ヲ控ヘテ居ルト云フヤウナ建前カラ、其ノ一つノ工聯ヲシテ或ル一定ノ纖維ノ配給ヲヤラセルト云フ風ナコトハ、中々困難な場合ガアルト云フ風ナ譯デアリマス、私モドウ云フ風ニスレバ最モ合理的デ、一番良イ方法ダト云フコトハ、具體的ニ申上ガ兼ネマスルガ、此ノ問題ニ付キマシテハ何トカシテ現在ノヤウニ業界ニ、實際ニ不便ト不満不平ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ、一日モ早ク解消シテ戴ク爲ニ、十分ニ眞劍ニ此ノ問題ニ付テハ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリ尙ホ商工大臣ノ御意見モ伺ヒタイノデスガ、斯ウ云フ風ニ段々物資ノ不足シタ時代ニ於キマシテハ、當然統制ヲ強化サレテ行クト云フコトハ、是ハ已ム又得ナイ方法ダトト思ヒマス、サウシテ是等ノ團體ノ利害ヲトク調和ヲ取ツテ、商工省ガ指導ヲシテ行クト云フ場合ニ於キマシテ、兎角有力ナ團體ノ意見ヲ餘計ニ尊重スルト云フヤウナコトガアル、是ハ獨リ織物關係ノミデハアリマセス、外ノ方ニモ兎角サウ云フヤウナ非難考ヘテ居リマス、併シナガラ物ノ統制ニ當リマシテ、之ヲ綜合シテ考ヘテ見マスト、生産ノ方ノ統制ハ割合ニ樂ニ行ツテ居リマス、生産ノ方面ノ統制ニ付テモ色々々非難ガドモ、配給方面ノ統制ニ付キマシテハ、各商品トモ非常ニ非難ガ多イノデアリマス、ソレデ考ヘテ見マスト、原料ノ配給、製品ノ配給共ニ、其ノ配給方面ノ統制ト云フモノハ中々容易ナラヌモノデアルト云フコ

ノ消費者團體、即チ小サナ工業家、斯ウ云フヤウナ三者ガ本當ニ時局ヲ認識シテ、物資ノ缺乏シタ時代ニ於テ、公平ニ是ガ分配ヲ受ケテ使ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ各種ノ生産、配給、消費ノ三ツノ團體ト云フモガ本當ニ提携ヲシナケレバ、配給ト云フモノハ到底完全ヲ期スルコトガ出來ナイト私ハ思フ、從來是等ニ當リマシテモ、兎角各業者間ニ利害ノ衝突ガアリ、或ハ利己的ニ自己ノ利益ヲ餘計ニ得ヨウトシテ主張スルヤウナ、不心得ナ團體モアツタ、サウ云フコトデハ到底統制ハ旨ク行カナイ、私モ是等ノ問題ニ自ラ打矣ツタコトモアリマスガ、サウ云フヤウニ三者ガ本當ニ時代ヲ認識シテヤルノデナケレバ、是ハ官僚獨善グナント言ツテ攻撃シテモ、業者自體ガ自ラ認識シナクテ、ドウシテ出來ルカ、私ハ寧ロ是ハ本當ニ權力ヲ行使シテ、一層強イ所ノ政府ノ力デ押付ケルヨリ外ニ方法ハナイト思ツタコトサヘモアルノデアリマス、併シナガラ其ノ一貫シターツノ統制ヲ形成スル所ノ團體ニ協調ヲセシムル場合ニ於キマシテモ、兎角是ガ圓滿ニ協定ガ出來ナイ場合ガ往々ニアル、此ノ問題ニ付キマシテハ、大臣モ恐ラクハ業界ノ實情ヲ御承知グラウト付テハ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリ

○藤原國務大臣 御質問ハ如何ニモ御尤モト存ジマス、實ハ本議會ヲ通じ、豫算委員會又ハ其ノ他ノ委員會等ニ於キマシテ、色々々ナシマスカ、實ハ其ノ他ノ委員會等ニ於キマシテ、只シテモ、兎角是ガ圓滿ニ協定ガ出來ナイ場合ガ往々ニアル、此ノ問題ニ付キマシテハ、大臣ノ御耳ニモ入ツテ居ルコトダラウト思スカ、御伺致シタイト思ヒマス

○木村委員 御質問ハ如何ニモ御尤モト存ジマス、實ハ本議會ヲ通じ、豫算委員會又ハ其ノ他ノ委員會等ニ於キマシテ、色々々ナシマスカ、實ハ其ノ他ノ委員會等ニ於キマシテ、只シテモ、兎角是ガ圓滿ニ協定ガ出來ナイ場合ガ往々ニアル、此ノ問題ニ付キマシテハ、大臣ノ御耳ニモ入ツテ居ルコトダラウト思スカ、御伺致シタイト思ヒマス

○木村委員 大臣ノ御考ノ點ハ能ク分リマシタ、其ノ御心持ヲ以テ事務當局ヲ監督指導ノ上ニ、出來ルダケノ努力ヲ盡シテ見タイト存ジマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○木村委員 大臣ノ御考ノ點ハ能ク分リマシタ、其ノ御心持ヲ以テ事務當局ヲ監督指導ノ上ニ、出來ルダケ配給ノ圓滑ヲ期セラレバ、物ノ配給ガ段々減ツテ參リマシテモ、ソレガ段々値段ガ上ツテ來タ爲ニ、當業者ハ相當ノ利益ヲ得タ者モアルノデアリマス

カラ、相當ニ「ストック」ヲ持ツテ居ツタ者ハ利益ガ多カツタ、ソレカラ昨年アタリノ此ノ業界ノ業者ノ利益ハ非常ニ四凹ガアルノデアリマス、今回モ田舎デ聞ク所ニ依リマスト、例へば今年ノ税ノ査定モ近付イテ居リマス、ソレ等ニ向ツテ税務署ノ考ハ、昨年ト比べテ押ナベテ非常ナ利益ノアツタモノト見テ、決定セントシテ居ルヤウデアリマス、勿論利益ノアツタ方面ニ對シテ課税ヲシ、又納税ヲスルコトハ國民ノ當然ノ義務デアリ、政府ガ當然ヤツテ宜イコトデアリマスガ、非常ニ凸凹ガアル、ソレデ今年ノヤウニ、此ノ課税率ガ多クナツテ参リ、マスト、蓋シ業者ノ負擔ト云フモノハ容易デナイト思フノデアリマス、個人ノ税ノ査定ニ當ツチハ、實情ヲ十分ニ調べ、又實際ノ業界ノ權衡ト云フモノモ十分ニ見、或ハ組合ニ付テモ十分ニ調査ヲシテ、此ノ所得額ノ決定ヲシナイト、業者ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘルコトニナツテ來ルグラウト思フノデアリマス、配給ガ將來尙ホ減ルヤウナ時代ニ於キマシテハ、税務當局ニ於キマシテモ、地方ノ監督局等ニ十分注意スルヤウニ御示達ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ大臣デナク、或ハ貿易局ノ關係カモノ知レマセシテ、併シ纖維局ニ直接間接關係ガアル問題デアリマスカラ、此ノ點ヲ一黠商工省ニ對シテ伺ツテ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、ソレハ御承知ノヤウニ圓「プロック」ヘノ輸出ト云フモノガ非常ニ制限ヲサレテ參リマシタノデ、滿洲北支方面ニ於テ非常ニ物資ガ缺乏シテ、物價ガ暴騰シテ居ルト云フコトハ御承知ノ通リデアリマス、ソコデ内地ニ於テハ公定價格ト云フモノガアルガ、併シナガラ滿洲ニ於テハ中々公定價格ト云フモノ

ハ出來ナイノデアリマス、滿洲國ニ於キマシテハ生活必需品會社ト云フモノヲ作ツテ、或ル一定ノ品目ニ對シマシテハ一手ニ輸入ヲシテ、其ノ會社ヲシテ統制セシタルヤウスガ、此ノ織物ノヤウナモノハ滿洲ト致シマシテモ、日本カラノ供給ヲ受ケナケレバ、到底需要ヲ充タス譯ニハ行カナイト思ヒマス、是等ノ織物ニ對シマシテモ聞ク所ニ依リマスルト、滿洲國ニ對スル輸出ニ對シマシテハ、日本ニ於テモ輸出ノ統制會社ヲ作ツテ、ソレヲシテ一貫的ニ輸出ヲセシメルト云フヤウナ計畫ガアルヤニ聞イテ居ルノデアリマスガ、果シテサウ云フヤウナ計畫ガアルノデアリマセウカ、是ハ直接ニハ貿易局ノ關係カモ知レマセヌガ、結局ニ於テ纖維局ト密接ナ關係ガナケレバナラナイ問題デアリマスカラ、サウ云フヤウナ御計畫ガアリマスカ、其ノ點ヲ御伺シタイコトトモウ一つハ公定價格ト云フモノヲ中央物價委員會デ決定スル、其ノ外ニ各地方々々ノ種々ノ商品ニ付キマシテハ、府縣ノ公定價格ト云フモノニ、非常ニ凹凸ガアルノデアリマス、隨テ業者ガソレニ依ツテ片方ハ非常ナ利益ヲ受ケ、他ノ方面ハサツパリ利益ガナイ、或ハ損ダト云フヤウナ、此ノ凹凸ナ公定價格ガアルコトハ、恐ラク御承知ダラベト思フノデアリマス、而モソレガ生産縣ニ於テ公定價格ヲ決定シタ場合ニ於テ、ソ公定價格ガヤハリ決メラレナケレバ、其ノ商品ハ結局ハ賣レナイノグト云フヤウナ、

各府縣間ノ價格公定ト云フモノガ極メテ
ダラシガナイト云フカ、洵ニソコニ連絡
ガナク、不備缺陷ガ餘リニモ多イト思フ
ノデアリマス、サウ云フヤウナ状態デアリ
マスルト、生産縣ニ於テ生産サレタモノガ
集散スル所ノ府縣ニ於テ公定サレナイ爲
ニ、其ノ商品ト云フモノガ取引ヲサレナイ
デ、生産業者ハソレヲ販賣スル譯ニ行カ
ス、小サナ業者デアリマスレバサウ何時マ
デモ「ストック」シテ置ク譯ニ行カナイ、
金融上ニモ破綻ヲ來スト云フヤウナ譯合デ
アリマシテ、非常ニ業界ガ困ツテ居ル事情
ガアリマス、是ハ織物關係バカリデハナリ
マセス、他ニモ澤山ノ商品ニ付テ、從來サ
ウ云フコトガアルノデアリマス、是等ヲ如
何ニ是正ヲシテ取引ノ圓滑ヲ期サレヨウト
スルノデアリマスカ、此ノ點ヲ御伺シタイ
ト思ヒマス

價格ノ中ニハ、御話ノヤウニ相當四凸ノ關係ノモノガ多カツタヤウニ承知致シテ居リマス、殊ニ織物ニ付キマシテハ種類モ相當ニ多ウゴザイマス、各地方々々種々ノ價格ノ決定サレタモノガ少クナインデアリマスケレドモ、其ノ間非常チ困難ナ事情ガ發生シテ居ルコトモアラウカト考ヘマスガ、其ノ點ハ一方ニ於テハ今後公定價格ヲ敏速ニ決定致スコトニ努メマスト同時ニ、一方ニ於テハ織物ノ規格ノ統制ト云フ方面モ段段進ンデ居リマスノデ、旁々相俟チマシテ出來ル限り從來アリマス凹凸ノ關係ノナイヤウニ致ス必要ガアラウカト存ジマス○堀切委員長 ソレデハ池本君ニ御願致シマス

リマスカラ、消費者ガ負擔スルト云フコトガ原則デアラウト思ヒマス、併シナガラ今日ノヤウナ状況デアリマスカラ、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、生産者ニ負擔ノ出来ルモノト認メタ場合ニハ一部又ハ全額其ノ生産者ニモ負擔シテ貰ツテ物價ヲ騰貴セシメナイ、斯ウ云フヤウニ成ベク努力ヲシテ参リタイト思ツテ居リマス

○池本委員 私思ヒマスノニ、商工大臣ノ仰シヤルノハ一般物價政策ノ方ニ互ツテ居ルト思フ、此處デハ税ノ方ダケノ關係ヲ見ルト、簡単ニ申シマスレバ消費稅ダケハ上ルノガ當然ダ、サウデナイ場合ニハ其ノ他ノ色々ナ「ファクター」ヲ「プラス」「マイナス」サレル、サウスルト税ト離レテ來ルト思ヒマス、即チ生産者ニモ誰ノ負擔ニモ歸屬セズシテソレダケノモノガ分離サレル場合モアリマセウ、其ノ他色々ナ點ガゴザイマセウガ、私ハ要約致シマシテ結局此ノ消費稅ニ關スル限リニ於テハ是ハ引上ゲル、其ノ他ノコトハ外ノ關係デヤル、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○藤原國務大臣 原則論ヲ致シマスト其ノ通リデアリマスガ、適正價格ヲ設ケルト云コトハ、原則ハサウデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ成ベク消費者ニ負擔セシメテイデ生産者ニ負擔セシメルト云フヤウニ手加減ヲ施シタイト云フノガ、商工省ノ今ヤツテ居ル所デ、又困難ヲ感ジテ居ル所デアリマス、左様御承知願ヒマス

○池本委員 商工大臣ハ、適正價格ト云フコトヲ始終繰返サレテ居リマスガ、是ハ今

マデ何處カノ委員會デハツキリサレテ居ルノカ分リマセヌガ、一體商工大臣ノ仰シヤル適正價格トハドウ云フ内容ノモノナンデゴザイマスカ

○藤原國務大臣 原料費、生産費、労力費、租稅、金利、外國輸入品ヲ原料トスルモノデアリマスレバ爲替相場トカ、サウ云フモノヲ色々考慮シマシテ、ソレニ若干ノ生産者ノ利潤ヲ見、配給者ノ適正ナル手數料等ヲ見マシテ、總テノサウ云フ狀況ヲ睨ミ合セテ、マア今日デハ此ノ位ノ所が適正デハナイカ、斯ウ云フ風ニシタイ、斯ウ云フノガ私ノ度々繰返シテ申上ゲタ所デアリマシテ、之ヲ學術的ヤ理論的ニ難カシクヤリマスト、際限モナク難カシクナルモノデアリマスカラ、腰ダメデ以テヤルト云フノガ私ノ方針デアリマス、サウシテ其ノ腰ダメモ、モアリマセウ、其ノ他色々ナ點ガゴザイマセウガ、私ハ要約致シマシテ結局此ノ消費稅ニ關スル限リニ於テハ是ハ引上ゲル、其ノ他ノコトハ外ノ關係デヤル、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○藤原國務大臣 原則論ヲ致シマスト其ノ通リデアリマスガ、適正價格ヲ設ケルト云コトハ、原則ハサウデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ成ベク消費者ニ負担セシメテイデ生産者ニ負担セシメルト云フヤウニ手加減ヲ施シタイト云フノガ、商工省ノ今ヤツテ居ル所デ、又困難ヲ感ジテ居ル所デアリマス、左様御承知願ヒマス

○池本委員 商工大臣ハ、適正價格ト云フコトヲ始終繰返サレテ居リマスガ、是ハ今

マセヌカ、唯アナタハ大摺ミノモノヲ餘計加ヘヨウト云フ程度ダケデハアリマセヌカ

○藤原國務大臣 無論原價ノ計算ヲ致シマス時ニハ、只今申上ゲタヤウナ色々ノ精密ナ「ファクター」ヲ集メテ原價ヲ作ルノデアリマスケレドモ、ソレヲ理論的ヤラ學術的ナドニ拘泥セヌデ、實情ニ即シタヤウニシタイ、玄人ガ商賣ノ實情ヲ睨ムト云フトガ出ルノデアリマス、アナタモ御承知ノ通り、例ヘバ銀行家ニ手形ヲ持ツテ行ケバ、手形ヲ見ナイデモ一寸香ヒヲ嗅イダグケデ、此ノ手形ハ割引シテモ宜イカドウカ直グ分ルト云フコトヨク世俗デ申シテ居リマスカラ、本當ノ玄人デアリマジタナラバ、此ノ位ニ上ツテソレデ此ノ位生産費ガ掛ルガドウデアラウカ、斯ウ云フト、サウダネ、ソレハマア此ノ位ノ所デドウダラウ、斯ウ云フト、大概圖星ニ當ルモノデス、(笑聲)ソレハ私共自分ニ經驗デ大概圖星ニ當ルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ知識モ經驗モ加味シテ成ベク早ク之ヲ決定シタイ、斯ウ云フノガ私ノ趣旨デアリマス、ドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス

○池本委員 之ニ付テハ多ク問答致シマセスガ、何ダカ暖簾ト腕押ノヤウナ氣ガ致シマス、ソレハ香ヒヲ喫イデ分ルノガ玄人デアリマスケレドモ、サウ云フ玄人ハ多ク居精密ニ出來上ツテ來タ時分ニハ、ズツツソデハソレデハ間ニ合ハナイノダ折角ソレガレ以上ニ進ンデ居ルカラ、間ニ合ハナイ、ス

○池本委員 之ニ付テハ多ク問答致シマセスガ、何ダカ暖簾ト腕押ノヤウナ氣ガ致シマス、ソレハ香ヒヲ喫イデ分ルノガ玄人デアリマスケレドモ、サウ云フ玄人ハ多ク居精密ニ出來上ツテ來タ時分ニハ、ズツツソデハソレデハ間ニ合ハナイノダ折角ソレガ

タイト云フヤウナ心構ヘヲ持ツテ居リマスデハ、人選ナドニ付テハ特ニ注意ヲシテ、其ノ業界ノ德望ノアリ、又信用ノアルヤウナ、玄人ノ人ヲ成ベク多數ニ入レマシテ、サウシテ經驗ノアル専門家ノ說ナドヲ能ク聽キマシテ、適正ナル所ヘ之ヲ持ツテ行キタイト云フヤウナ心構ヘヲ持ツテ居リマスナルデアリマセヌカ、從來ノ自由主義經識ハ闇取引、闇相場、ソンナモノニ——マアソンナコトハ御考ニナツテ居ルノデハナカラウトハ思ヒマスケレドモ、サウ云フ所ナツテ行くト、原價計算主義ニナルデハア

○堀切委員長 詰リ池本君ト商工大臣ノ質問答ヲ聽イテ居リマスト斯ウ云フコトニナルデアリマセヌカ、從來ノ自由主義經

濟バカリニ委セテ置ケバ闇相場ニ行ツテシ
マフガ、從來ノ經濟ノ原則バカリデハナク、
政治的「ファクター」社會的「ファクター」
會社ノ實際ノ「ファクター」是等ヲ噉ミ合セ
テ適當ナ社會的ニ必要ナル最低限度ノ所ニ
之ヲ持ツテ行クコトニ、商工大臣トシテ御
協力ニナルト云フヤウニ窺ハレマシタガ、
如何デセウカ

○藤原國務大臣

委員長ノ御話ノ通リデア
リマス

○池本委員 結局ハ燒豆腐ト揚豆腐位ノ違
ヒダト云フコトニナルダラウト思ヒマス
ガ、此ノ位デ止メテ置キマス

○伊藤委員 一寸關聯シテ——商工大臣ハ
物價ヲ決メルノニ腰ダメトカ勘トカ云フ言
葉ヲ能ク使ハレルノデスガ、ソレハ誤解ヲ
受ケルト思ヒマス、アナタガ會社ヲ經營シ
テ居ル當時ナラバサウ云フ言葉ヲ使ツテモ
宜シイケレドモ、一國ノ商工大臣トシテ物
價ヲ決メルノニハ、ヤハリサウ云フ言葉ハ
餘り濫用シナイ方ガ宜イト思ヒマス、寧ロ
敏速ニ行カナイト云フヤウナコトノ爲ニ
ハ面白クナイ、斯ウ云フ積リデ、出來ルダ
ケ圓滿急速ニ總テヲ決定シタイト云フ方針
ヲ以テ、兩省ノ間デ折角協議ヲ凝シテ居ル
内情デゴザイマス、只今ノ所デハ從來通り
ノ機構ニ依ツテヤツテ居ルヤウナ譯ニアリ
マス、併シナガラ今度委員會ノ機構ヲ改正
スルニ當リマシテハ、專門委員會ノヤウナ
モノハ農林省内ニ設ケテ、ソレヲ連絡委員
會ノ方ニ持出ス時ニハ、商工省ノ連絡委員
會ニ於テ之ヲ決定スル、斯ウ云フヤウナ内
相談ヲ致シテ居リマス、兩省ノ間ノ連絡ヲ
緊密ニスルト云フ趣旨ヲ以テ、サウ云フヤ
ウナ連絡ノ仕方ヲ研究シテ居ルト云フ内情
デゴザイマス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ物價停止令デ總テノ物價ハ「ストップ」シ
テ凸凹ガゴザイマスガ、其ノ後アナタノ所
謂適正價格ヲ決メラレタ物ガ幾種類位アリ

○藤原國務大臣 丁度物價機構ノ變更ニ當
面シテ居リマシテ、ソレガ爲ニ急速ニ之ヲ
決定スルコトガ出來ナイデ今日ニ至ツテ居
ルト云フ内情デアリマス、是ハ今物價機構
ヲ大至急ニ整備シテソレカラ實行スル、斯
ウ云フ成行デゴザイマス

○長野(長)委員 關聯シテ一寸伺ヒマスガ、
商工省デハ雜穀ハ既ニ價格ヲ御決メニナツ
タト思ヒマスガ、果物トカ、野菜ノ價格ニ
付テハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○藤原國務大臣 農林省トノ關係ニ問題ハ
農林、商工兩省ノ間デ從來動モスレバ中々
敏速圓滑ニ行カナトイコトガ多カツタノデア
リマス、今後ニ於キマシテハ、斯ウ云フ時
局下ニ於テ兩省ノ間デサウ云フコトノ爲ニ
敏速ニ行カナイト云フヤウナコトノ爲ニ
ハ面白クナイ、斯ウ云フ積リデ、出來ルダ
ケ圓滿急速ニ總テヲ決定シタイト云フ方針
ヲ以テ、兩省ノ間デ折角協議ヲ凝シテ居ル
内情デゴザイマス、只今ノ所デハ從來通り
ノ機構ニ依ツテヤツテ居ルヤウナ譯ニアリ
マス、併シナガラ今度委員會ノ機構ヲ改正
スルニ當リマシテハ、專門委員會ノヤウナ
モノハ農林省内ニ設ケテ、ソレヲ連絡委員
會ノ方ニ持出ス時ニハ、商工省ノ連絡委員
會ニ於テ之ヲ決定スル、斯ウ云フヤウナ内
相談ヲ致シテ居リマス、兩省ノ間ノ連絡ヲ
緊密ニスルト云フ趣旨ヲ以テ、サウ云フヤ
ウナ連絡ノ仕方ヲ研究シテ居ルト云フ内情
デゴザイマス

○池本委員 只今委員長ノ御仲裁デ一應片
ガ付キマシタガ、今後一ツ十分ニ御研究ヲ
願ヒマス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ動キヲ眺メテ見マスト、農民ノ方ノ受取金
ハ極ク少イ、其ノ價格ハ非常ニ低イノデア
リマス、所ガ市場ニ於テ吐出ス場合ノ取引

マスカ
面シテ居リマシテ、ソレガ爲ニ急速ニ之ヲ
決定スルコトガ出來ナイデ今日ニ至ツテ居
ルト云フ内情デアリマス、是ハ今物價機構
ヲ大至急ニ整備シテソレカラ實行スル、斯
ウ云フ成行デゴザイマス

○藤原國務大臣 丁度物價機構ノ變更ニ當
面シテ居リマシテ、ソレガ爲ニ急速ニ之ヲ
決定スルコトガ出來ナイデ今日ニ至ツテ居
ルト云フ内情デアリマス、是ハ今物價機構
ヲ大至急ニ整備シテソレカラ實行スル、斯
ウ云フ成行デゴザイマス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ價格ハ非常ニ高イ、ソレハ何故カト云フ
コトニ付テ私ノ調べタ所デハ、料理屋ガ非
常ニ良イ物ヲ全ク懸離レタ金デ買取ツテ行
ク、農民ノ懷ロニハ案外入ツテ居ナイガ、
商人ノ側ト料亭トノ間ノ取引ニ於テウント
引上げラレル、隨テ其ノ餘波ガ一般ノ民衆
ニ影響シテ、一本ノ大根ガ二十錢モ三十錢
モスルト云フコトニナツテ來ル譯デス、斯
ウ云ツタ二時間三時間經過スルト、直グ品
質ノ變ツア行ク生物——魚類モサウデスガ、
果物、殊ニ溫室ナドデ作ツタ物ニ付テハ、
料亭ニ需要ガ全ク今日ノ一般國民生活トノ
關係ヲ懸離レテ、ソレガ價格ヲ素シテ居ル
譯デス、ソコデ此ノ點ニ深甚ノ御調查ト御
考慮ヲ顧フ必要ガアリハシナイカト思フノ
デアリマス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ價格ハ、普通ノ工藝品ナドノ價格トハ違
ノ御意見ヲ拜承シマシタケレドモ、農產物
ノ價格ハ、普通ノ工藝品ナドノ價格トハ違
ノ御意見モ伺ヒマシタシ、又商工大臣
ノ御意見モ同ヒマシタシ、又商工大臣
ノ御意見ヲ拜承シマシタケレドモ、農產物
ノ價格ハ、普通ノ工藝品ナドノ價格トハ違
ツテ、大體評價ノ上ニ於テ考慮シナケレバ
ナラヌ特別ナル性質ヲ持ツテ居ルノデアリ
マス、殊ニ土地ノ影響ト云フモノハ非常ニ
大ナルモノデアリマシテ、良クナイ土地デ
作ツタ物程價格ハ上げテ行カナケレバナラ
ス、地味ノ劣ツタ土地デ生産シタ物程價格
ハ上げナケレバナラヌ、ソレニ持ツテ行ツ
テ肥料、資材モ非常ニ缺乏シマス、闇取
引モ行ハレテ居リマスカラ、生産ニ要スル
費用ガ自然嵩ンデ來ル譯アルカラ、ソレ
等モ加味シテ戴キマシテ、單ニ需給關係ノ
ミカラ價格ヲ決定スルト云フコトハ十分御
考慮ヲ願ハナケレバナラヌ、サウシテ農業
ノ本質タル土地ト其ノ他ノ生産ニ要スル物
資ノ供給價格ニ付テ十分検討ヲシテ戴キマ
スカ

○池本委員 ソレガアナタノ仰シヤル適正
價格ニ合ツテ居リマスルカドウデゴザイマ
ノ外ニ新シイ機構ノ下ニ改正シタモノハゴ
ザイマセスデス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ價格ハ非常ニ高イ、ソレハ何故カト云フ
コトニ付テ私ノ調べタ所デハ、料理屋ガ非
常ニ良イ物ヲ全ク懸離レタ金デ買取ツテ行
ク、農民ノ懷ロニハ案外入ツテ居ナイガ、
商人ノ側ト料亭トノ間ノ取引ニ於テウント
引上げラレル、隨テ其ノ餘波ガ一般ノ民衆
ニ影響シテ、一本ノ大根ガ二十錢モ三十錢
モスルト云フコトニナツテ來ル譯デス、斯
ウ云ツタ二時間三時間經過スルト、直グ品
質ノ變ツア行ク生物——魚類モサウデスガ、
果物、殊ニ溫室ナドデ作ツタ物ニ付テハ、
料亭ニ需要ガ全ク今日ノ一般國民生活トノ
關係ヲ懸離レテ、ソレガ價格ヲ素シテ居ル
譯デス、ソコデ此ノ點ニ深甚ノ御調查ト御
考慮ヲ顧フ必要ガアリハシナイカト思フノ
デアリマス

○長野(長)委員 實ハ最近青物市場ノ價格
ノ價格ハ、普通ノ工藝品ナドノ價格トハ違
ノ御意見ヲ拜承シマシタケレドモ、農產物
ノ價格ハ、普通ノ工藝品ナドノ價格トハ違
ツテ、大體評價ノ上ニ於テ考慮シナケレバ
ナラヌ特別ナル性質ヲ持ツテ居ルノデアリ
マス、殊ニ土地ノ影響ト云フモノハ非常ニ
大ナルモノデアリマシテ、良クナイ土地デ
作ツタ物程價格ハ上げテ行カナケレバナラ
ス、地味ノ劣ツタ土地デ生産シタ物程價格
ハ上げナケレバナラヌ、ソレニ持ツテ行ツ
テ肥料、資材モ非常ニ缺乏シマス、闇取
引モ行ハレテ居リマスカラ、生産ニ要スル
費用ガ自然嵩ンデ來ル譯アルカラ、ソレ
等モ加味シテ戴キマシテ、單ニ需給關係ノ
ミカラ價格ヲ決定スルト云フコトハ十分御
考慮ヲ願ハナケレバナラヌ、サウシテ農業
ノ本質タル土地ト其ノ他ノ生産ニ要スル物
資ノ供給價格ニ付テ十分検討ヲシテ戴キマ
スカ

○池本委員 大臣トシテハサウ御答ニナラ
デケレバ仕様ガナイト思ヒマスルガ、御心
持ノ中デハ今ノ腰ダメデ決メラレタモノデ
今日ノ適正價格ニナツテ居ラヌ、サウスル
ト結局ハ一ツモ出來テ居ラヌ、事實上ハサ
ウナル譯デス、是ハ冗談ハゴザイマセヌ、
ドウゾ一ツアナタノ腰ダメデ早急ニヤツテ
戴カナケレバナラヌ、是ハ冗談事デヤゴザ
イマセヌ、是レ以上言ヒタイコトハ幾ラモ
ゴザイマスケレドモ、モウ申上げマセヌカラ
ラ、一ツ折角アナタガ大臣ニオナリニナツ
タノデスカラ、アナタ獨特ノ適正價格ヲ腰
ダメデウント早ク決メテ戴キタイ、是ダケ
申上げテ置キマス、今日マデニ殆ド無イト
云フコトヲ承リマシテビツクリ致シマシタ
ソレカラ商工大臣ハ今度ノ稅制ニ付キマ
シテ貿易上ノ障碍ニナルヤウナコトハ御望
ミニナラヌコトハ勿論デアラウト思ヒマス
ルガ、一ツ念ノ爲ニ其ノ一言ダケヲ承リタ
イト思ヒマス

落チテ來テ居リマスルガ、尙ホ今日モ相當量輸出上ノ地位ヲ占メテ居ルコトハ申スマデモゴザイマセヌ、ソレデ諸外國ニ於キマシテハ茶ニ付キマシテハ輸入税ヲ課ケテ居ラナイ、ソコデ今回綠茶ニ課税ヲサレマスルト、自然米國ニ於キマシテモ、日本ガソレニ課税スル、ソレナラコチラデモ課ケヨウカト云フヤウナコトデ、外國ニ於ケル輸入税課税ヲ誘發セシムルヤウナ虞ガナイカト實ハ思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマスルト、米國ニ於キマシテハ、是ハ日常必需品トシテ、又保健飲料トシテ大體課ケテ居ラナイ、然ルニ本家デ課ケルト云フコトニナリマスルト、向フデ輸入税ヲ取ルト云フ虞ガナイコトハナイ、其ノ點ニ於テ私ハ左様ナ課税ハ貿易ヲ阻碍スルモノデアルト考ヘマスガ、ドウデゴザイマスカ

○藤原國務大臣 御説明御尤モデスガ、今回ノ稅制ニ於キマシテ輸出品ニ對シテハ免稅ト云フコトニナツテ居リマスカラ、茶ノ貿易ニハ大シタ支障ハナイト存ジテ居リマス

○池本委員 ソレハ私モ存ジテ居ルノデス、ダカラ實際額ヲ言フノデハアリマセヌ、其ノ課税ト云フモノノ響デス、響ヲ私ハ申スノデス、ダカラ此ノ點ニ付テハ私ハ一度其ノ響ヲ與ヘレバ、其ノ響ガ傳染病ノ如ク米國ニ傳ハル、斯ウ考ヘマスガ、ドウデゴザイマスカ

○藤原國務大臣 是ハ私ノ見ル所ニ依リマスト大シタ影響ハナイト存ジテ居リマス

○木村委員 關聯シテ——只今茶ヲ輸出シタ場合ニ於テノ海外市場ニ於ケル影響ト云フコトニ對シテ大シタ影響ハナイト云フ風ナ御答辯デスガ、茶ハ亞米利加ノ市場ガヤ

ハリ相當多イト思ヒマス、ソレデ亞米利加
日本ノ絹織物ニ對シマシテ、日本デハ
消費稅ガアルト云フヤウナ建前カラ日本ノ
「インボイス」ニ對シマシテ「コムサンブショ
ン・タックス」トシテ一割ヲ加ヘルト云フ
コトヲ現ニヤツテ居リマス、其ノ上ニ「イ
ンボイス・デューティ」ヲ課ケル、斯ウ云フ
コトニナツテ居ルノデアリマス、デアリマ
スカラ私ハ、茶ニ對シテモ同様ニ課稅サレ
ルヤウナコトニナツテ來ハシマイカト云フ
コトヲ惧レルノデアリマス、併シ亞米利加
邊リニハ、免稅サレルヤウナ安イ茶モ行ク
デアリマセウガ、ヤハリ日本ノ茶全體ガ物
品稅ヲ課ケラレルト云フヤウニ解釋シテ、
向フデ關稅ヲ重課サレルト云フ憂ガ十分ア
ルノデハナイカト思ヒマス

○藤原國務大臣 亞米利加ハ茶ハ無稅ダサ
ウデアリマシテ、隨チ今御質問ノヤウ、コト
ハナカラウト存ジマス、併シ私ハ稅ニ付テ
詳細ノコトハ承知致シテ居リマセヌカラ、
大藏省ノ政府委員カラ御答辯申上ゲマス

○大矢政府委員 亞米利加ニ於キマシテハ、
從價稅品ニ付キマシテ、輸出國ノ本國ニ於
テ、輸出ノ際ニ免稅シテ居ル場合ニ於キマ
シテハ、其ノ免稅シタ後ノ價格ニ依ラズニ、
國內ノ卸賣價格ニ從ツテ關稅價格ヲ計算シ
テ居ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ絹織物
ニ付キマシテハ日本ニ於テ製造場ヨリ引取
ノ時課稅シテ居リマシテ、是ハ卸賣ノ取引
價格ノ中ニ消費稅ハ計算致サレマス、ソレ
ヲ輸出ノ際ニ免稅致シマスカラ、向フノ關
稅法ニ依ツテ之ニ相當スル從價一割ダケノ
關稅ヲ別ニ取ルコトニナツテ居リマスガ、
茶ハ無稅デゴイマスカラサウ云フ心配ハナ
イノデゴザイマス

○池本委員 結局ノ所ガ輸出貿易ヲ阻碍ス
ルモノト考ヘルノデアリマス、詰リ此ノ茶
税ニ付キマシテハ貿易ノ角度カラ今御質問
ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ其ノ次ハ
税收入デアリマス、今回ノ稅收ヲ承ツて居
リマスト、此ノ茶ノ稅金ハ約七十萬圓位ト
見込ンデオ居ニナルト云フコトデゴザイ
マスガ、左様デゴザイマスカ、承リタイト
思ヒマス

○田中政府委員 大體サウデゴザイマス、
御質問ノ通リデゴザイマス

○池本委員 ソコデ此ノ七十萬圓ノ計算ノ
基礎ヲ一寸御示シ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 詳シイ數字ハ後デ申上ゲ
マスガ、大體計算ハ茶ノ製造場ヲ出テ行ク
全部ノ數量ノ中約四%程度ガ一貫目十圓以
上、即チ本稅ノ課稅ヲ受ケル茶ト考ヘマシ
テ、課稅價額ハ約七百万圓、之ニ對シ一
割ノ稅率デアリマスカラ七十萬圓ノ稅收
入、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○池本委員 此ノ數量ニ付キマシテハ「バ
ーセンテージ」デ仰シヤイマシタガ、結局
ソレハ實數ニ直シマスト五六十万貫デゴザ
イマスカ

○田中政府委員 大體其ノ程度デアリマス

○池本委員 大藏省デハサウ云フ御見込ノ
ヤウデゴザイマスルガ、私ノ見マス所デハ、
中々此ノ七十萬圓、是ハ國稅トシマシテハ
マア僅カデスガ、其ノ七十萬圓サヘモ逆モ
上リマセヌ、其ノ又半分位デス、ソレヲ地
方デ申シマスト、五六十万貫ト仰シヤイマ
スガ、結局ハ稅ノ課ツテ來ルモノハ三十万
貫位シカアルマイ、斯ウ云フノデス、京都、
靜岡デ其ノ中二十万貫位アルダラウ、殘り
十万貫ガ全國デ、マア三十九万貫位シカナイ、

サウ致シマスト、其ノ價額ハ丁度三百五圓ト致シマシテ、單價ハ政府ノ仰シヤル通り、サウスルト三十萬圓位シカナ、斯ウ云フコトニナルノデス、三十萬圓ノ稅金ヲ取ル、サウシテ外國貿易ノ方ニ支障ヲ起スヤウナ虞ガアル、是ハ大藏省ハ稅金ヲ御取リニナル方デスカラ別トシテ、商工大臣ハ大局的ニドウ御考ニナリマスカ、一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 其ノ前ニ一寸數字ヲ申シマズ、コチラノ申シマシタ數字ト餘程御見込ガ違フト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ數字ハ全國ノ稅務監督局ニ於キマシテ、主産地ニ就キマシテ實際ニ調查致シマシタ數字デゴザイマス、先程申上げマシタヤウニ課稅ニナル數量ハ大體五十二万九千貫、其ノ價額七百十四万九千圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス

○藤原國務大臣 大體ニ於テハ先刻申上げマシタ通り、大シタ影響ガナイト思ツテ居リマス、唯手續其ノ他ニ付テ若干ゴザイマセウケレドモ、サウ云フコトハ我慢シテ参リマストレバ、大シタコトガナクシテ參ルカト存ジマスカラ、今回ノ稅制改正ニ於テハ大藏省ガ斯ウ云フ工合ニ決定セラレタノモ已ムヲ得ナイノデハナイカ、斯ウ思ツテ居リマス

○池本委員 只今茶ノ稅金ニ付テ輸出方面カラ申上ゲマシタ、今一方面カラ考フベキコトハ課稅ノ煩雜サデアルノデアリマス、是ハ大藏省ノ方ハ能ク御存ジデアリマス、商工大臣ハ、是ハモウ實際御家庭デ御使ヒデ、能ク御存ジデアラウト思フノデアリマス、茶ト云フモノハ出來マシテ、サウシテ愈々使ハレテシマフ、ソレマデノ間ニ何回品

質ガ變ルカ分リマセヌ、濕ルシ、物ニ入レマス、色々シマスカラ、ドウモ複雜ダ、

ソコデ品質ガ其ノ間一定シナイン譯デゴザイマスカラ、隨テ課稅上非常ニ煩雜ニナルト思ハレマス、其ノ間取引ヲ阻碍スルコトガ

大キイ、大體稅金ハ僅カデアリマシテ、本來カラ言ヘバ業者ト致シマシテモ、決シテ稅金ヲ強チ厭フト云フ譯デハナインデゴザイマスガ、ソレ以上ニ幾倍產業ガ阻碍サレルカ分ラナイ、斯ウ云フノデゴザイマスカ

思フノデアリマス、ソレカラモウ一點ハ、昨年御出シニナリマシテ、サウシテ議會ノ方ニ於テソレハ不適當ダトシテ削除サレタ、其ノ點モ一ツデゴザイマス、其ノ間年所ヲ過スコト一年、其ノ間ニ於テ一年前ト事情ガ違フト言ヘバ違ヒマスガ、三十萬圓ヤソコラノモノヲ一年ノ間ニ漁ツテ出スト云フコトハ、或ル意味ニ於キマシテハ議會ノ意思ヲドウモ尊重シテ戴ケナイト云フコトニナリマスカラ、此ノ點ハ吾々タトシテ政治上カラ見マシテモ、是ハ重要ナ理由デアラウト思フノデス、私ハ以上四點カラ見マシテ、

結局是ハ彼此レ差引イテ、マア／＼コンナモノハ御廢ニナツタ方ガ宜クハナイカ、斯ウ私ハ考ヘル、大藏省ノ方トシテハ稅金ハ僅カデスカラ、サウ大シタ御關心ハ御持

チニラヌト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

○堀切委員長 是ハ御答辯ヲ承ラナクテモ宜イデハアリマセヌカ

○川崎委員 一寸關聯シテ——私ハ今ノ問題ハ非常ニ重要ナ問題ダト思フ、之ニ限ラズ、昨年物品稅デ削ツタ問題ガ大分アルノ

茶ノミ、即チ製造價格ニ於キマシテ、今年茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

茶ニ付キマシテハ、

アルトカ、或ハ茶デアルトカ云フモノハ大衆ニ關係ノアル稅金ダト云フノデ削ツタ、之ヲ削ツタノハ其ノ時分政友會民政黨ノ意象ヲ尊重シテ、非常ナ交渉案件ニナツテ決メタ問題デス、ソレヲ今度又出シテ來ル、ツタモノヲ今年出サナケレバナラナイト云フ何カ特殊ナ理由ガアルノグラウカ、ソレヲ全體ヲ通じテ承リタイノデアリマス、茶ダケデハアリマセヌ、物品稅デ去年削ツタモノデス

○田中政府委員 理由ハ大臣カラ後デ御答辯申上ゲルコトニ致シマシテ、昨年議會デ修正ヲサセラレマシテ、削リマシタモノヲ本年又持ツテ來マシタ昨年ト今年ノ考ヘ方

ダケ一寸申上ゲタイト思ヒマス、茶石鹼、齒磨、三ツノモノデゴザイマスガ、例ヘバ

茶ニ付キマシテバ、昨年ハ一貫目三圓以上

ノ茶ニ課稅スル、斯ウ云フ趣旨デ提案致シテ居ツタノデアリマス、議會ニ於キマシテハ一貫目三圓ト云フ、コトニナレバ、一般大衆ノ消費スル番茶ノ如キモノモ課カルデハナイカト云フコトガ大變問題ニナリマシテ、

云フヤウナ御意見デアリマスガ、是ハ色々ナシナイ、斯ウ云フヤウナ趣旨デ今回提案致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、一應其ノ點ダケヲ申上ゲテ置キマス

○櫻内國務大臣 茶ニ付テ極メテ價額ガ少

シテ、政府ト致シマシテハヤハリ原案ニ依ツテ御協賛ヲ仰ギタイト思ツテ居リマス

○川崎委員 今茶ノ説明モアリマシタシ、

シテ御趣旨ハ伺ハレルト思ヒマス、隨テ

茶ノミ及ブ、ソレハ昨年ノ議會デハサウ云フ

ヲ課稅品トシテ殘サレタコトカラ見マシテモ、以上ノ御趣旨ハ伺ハレルト思ヒマス、隨テ

茶ノミ、即チ製造價格ニ於キマシテハ、

臣モ御聞キニナツテ戴キタイト思ヒマス、

私はダケヲ申上ゲテ置キマス

○池本委員 昨年ハ三圓デアツタガ、今年ハ十圓ダト仰シヤイマスガ、其ノ間値上リニ依ル開キガザイマス、ダカラ今日ノ十圓ハ當時ノ十圓ニハナラナイ、ダカラ三倍ト云フモノニハナラナイノデアツテ、凡ソ似通フ程度ノモノダラウト思フ、サウ致シマスト昔ノ六圓位ノモノトスレバヤハリ上茶トハ言ヘマセヌ、ソレカラモウツアナタノ御答辯ニ付テ、當初ニ於テハ下茶ハイケナイ、上茶ナラ宜イ、ソレハ宜イト云ツテモナイノデス、ソレハ宜シイガ、結論ニ於ハ課ケナイト云フノガ最後ノ議會ノ總意思デアツタ、デアリマスルカラ、其ノ時ニ上茶ダケ残スト云フナラバ、ソレハ課稅點ヲ意見ガアリマスレバ承リマス

○堀切委員長 沈默サレタモノト認メマスカラ、續ケテ戴キマセウ

○田中政府委員 委員長
○堀切委員長 モウ宣告シマシタ
○池本委員 私ハ課稅ト輸出貿易トノ關係ノ一例トシテ茶ヲ擧ガタ譯デアリマス、轉ジマシテ、時間ガナイノデ急ギマスルガ、大臣ニ御伺致シマス、是ハ今日マデニモ出たダラウト思ヒマス、併シ最後ハ私ハツキリシテ居ラナイト思ヒマスノデ、御伺致シマスルノハ、臨時立法ヲ恆久化サレマスノハ、ソレハマア諒承致シマスガ、ソコデ今度ノ統合ハ單ナル稅法ノ形式的ナ性質ヲ追フノデアツテ、依然トシテ實質的ニハ臨時ノ意味ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマセウカ、或ハ本質的ニ恆久化致サレタモノデゴ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り今ノ財政上ノ費用ノ要ルト云フコトガ當分續クト私ハ思フノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ特殊ナモノハ別デアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ今回ノ增稅ヲ臨時のモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○池本委員 サウ致ジマスト詰リ從來臨時立法ヲ本質的ニ、最早今日ニ於テハ其ノ區別ハナイモノト見テ宜イノデゴザイマスカ、

例ヘバ物品稅、飲食遊興稅、是ハ支那事變特

別稅法ト云フヤウナ臨時立法デ出來タ稅デ

アリマス、ダカラソレガ今度恆久法ニ入レ

ラレタノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ御伺致

シマス

○櫻内國務大臣 此ノ稅金ガ恆久化シタト

云フ財政ガ現在ノ情勢ニアル限り是ハ已ム

ヲ得ズ繼續サレルモノト考ヘテ居リマス

○濱野委員 一寸關聯シテ——私ノ伺ヒタ

イノハ先程池本君ガ公債ニ付テ御聽ニナツ

タコトニ關聯シテデスガ、政府ハ貯蓄獎勵ト云フコトニ非常ニ力ヲ入レラレテ、サ

ウシテ各會社ノ社員ナドノ「ボーナス」ニ公債ヲバ盛ニ出スヤウニ獎勵サレテ居リマス、

其ノ趣旨ニハ私達モ贊成スルノデアリマス

ケレドモ、儲テ盆トカ正月ニ會社ノ使用人

ナドガ賞與ヲ貰フ時ニ、一定ノ歩合デ小額

ノ公債トカ、或ハ貯蓄債券ヲ事實上貰ツテ

居リマスガ、アレガ一體アア云フモノヲバ

持ツテ持チ堪ヘテ居ラレル階級ノ人ハ宜イ

ノデスケレドモ、餘リ澤山ノ月給ヲ貰ツテ

居ラナイ人ハ、益トカ正月ニ貰ツタ金ハ或

ハ洋服代トカ、其ノ他色々サウ云ツタモノ

ニ心當ニシテ居ルノデス、明ニ其ノ事實が破

綻ヲ來シテ、貰ツタ貯蓄債券トカ或ハ小額

ノ公債ナドヲ案外安ク賣拂ツテ居ルヤウナ

事實ガ大分此ノ頃アルノデアリマス、私達モヤハリ極ク些少デハアリマスガ、サウ云

フ話ヲ聽ケバ、額面デ何トカ世話ヲシテヤ

ラウトカ、自分デモ取ツテ置イテ上げヨウ

ト云フヤウナコトハ、實際シテ居ルノデス

ガ、斯ウ云フ人達ニ對シテ無理ニ公債ナド

ヲ持タシテ、果シテ何處マデソレデ宜イノ

カ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

モウ一つハサウ云ツタ人達デナシニモウ少

シ放慢ナル人達ダト思ヒマスガ、大分遊興街ニ於テ遊ブダケ遊ンデ持ツテ居ル公債トカ、

貯蓄債券ナドヲ其ノ遊興代ニ拂ツテ居ル事

實ガ大分アリマス、私ノ御伺シタイノハス

ウ云ツタモノヲ無理ニ持タサレタ人ガ持チ堪

ヘ切レナイデ、ソレヲバズツト安イ値段デ

賣拂ツテ居ル、之ヲ又買集メル人モアリマス

ケレドモ、一面又遊興街ナドデ之ヲ遊興代

トシテ受渡シテ居リマス、額面百圓ノモノガ

ズツト安ク額面ヲ踏マレテ居ル、斯ウ云フコ

トヲ大藏當局ハ御承知ナインデアルカ、アル

ナラバ之ニ付テ何カ御考ガアルカ、是ガ一

點、又斯ウ云ツタ公債トカ、貯蓄債券トカ云

フモノヲ遊興ニ行ツテ代金トシテ拂フト云フ

コトハ何等犯罪ニモ何ニモナラナイモノデ

テ之ヲ通貨トハ言ヒマセヌケレドモ、代金

ノ引渡ニソレヲ拂ツテ居ルト云フヤウチコ

リヲ貰ツタ者ガ、飲食、其ノ他ノ場合ニ於

トガアルト云フコトハ、時々耳ニ致シマス

ノデ、ソレニ對スル所ノ對策ヲ厚生省方面

トモ打合セジマシテ、對策ヲ講ジテ居リマ

スガ、要シマスルニマダ其ノ貯蓄ノ宣傳ト申シマスカ、觀念ト云フモノガ徹底致シテ居ラヌ點モアリマスシ、又其ノ公債、債券ヲ渡シマスニ際シマシテ、事業主ガ之ヲ保管スルトカ、或ハ之ヲ銀行ニ預ケシメルト云フヤウナコトニ對シテノ意思ガマダ徹底致シテ居ラナイヤウナ所ガアリマスノデ、往々斯様ナコトガアリハシナイカト云フコトヲ心配致シテ居ルノデアリマス、其ノ問題ニ對シマシテハ、最近ニ於テ、各郵便局ニ於テ左様ナル公債、債券ハ無料デ保管スルヤウナ制度ヲ設ケテ、一面ニ於テソレヲ防ギマスト共ニ、事業主ニ於テモ之ヲ保管スルノ途ヲ講ズルヤウニ話合ヲ致シタイト思ツテ居リマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテ分ニ注意ヲ致シテ、飲食代ノ代金支拂ニ充當サセルヤウナコトノナイヤウニ最大ノ努力ヲ拂ハウト思ツテ居ルノデアリマス、又通貨ノ代リニ拂フト云フコトガ法律上罪ニナルカナラスカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ任意ノ受渡デアリマスカラ、私個人ノ考トシテハ、法律上違法ニナラヌト思フ、若シ是ガ今日言ハレテ居ル臨時措置法ニ基イテ決定セラレタル公定價格デキチント決ツテ居ルモノデアレバ、ソレヲ安ク取引ヲシタリ、或ハ高ク取引シタリスルコトハ、或ハ制裁ガアルカモ知レマセスガ、斯ウ云フ問題ニ對シマシテハ、私ハ現在ノ所、是ガ罪ニナルト云フコトハ考ヘテ居リマセス、併シナガラ之ヲ通貨等ノ代リニ支拂ヒマス時ニハ、其ノ價格ヲ安ク割引シテ渡スト云フコトニナリマスノデ、ソレハ一般ノ所謂公債消化ノ上、或ハ貯蓄債券消化ノ上ニ惡影響ヲ及ボスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、

○濱野委員 只今大藏大臣ノ御答辯ノ中デ事業主トカ、或ハ政府ガ無料保管ヲサセルト言ヒマスケレドモ、私ノ伺ヒタイノハ、サウ云フモノヲ「ボーナス」トシテ餘分ノ收入トシテ、保管シテ居ラレル人ノコトヲ言フノデハアリマセヌ、ソレヲ貰ツタナラバ洋服代ノ月賦ニ拂フトカ、家内ヤ子供ノ著物ニスルト云フヤウナ階級ノ人達ハ、之ヲ貰ツテモ直チニ金ニ換ヘナケレバナリマセヌカラ、或ハソレヲ安ク賣拂フトカ、或ハ親類ノ富裕ノ所へ持ツテ行ツテ、何トカ引取ツテ貰ヒタイト云フ、サウスルト額面通りニ買ハザルヲ得ナイ實情ニナツテ來ル、實際ニソレヲ持堪ヘルコトガ出來ナイ人達ニマデ皆政府ガ貯蓄ヲ獎勵スルノ餘り、見境ヒナシニソレ持タシテ居ル事實ガアリマス、會社ガ現金ヲ渡ス代リニ無理ニ渡シタト云フノガアルノデアリマス、ソレハ「ボーナス」ニ、百圓カ五十圓ノ階級ノ人が持タサレテ居ル、斯ウ云フコトニ對シテ政府ガ無料保管ヲシテヤル、事業主ガ保管シテヤルト云フコトデハ意味ヲ成サナイ、度ヲ執リツツアル、ソコデ百圓ノ公債ガ額合ニ持ツテ行ツテ遊ブノハイカヌト云フ態度ヲ執リツツアル、ソコデ百圓ノ公債ガ額之ヲ無理ニ公定相場ガアルナシト云フノデ面通り百圓デ替ツタ時ニハ問題ガ起ラス、ナシニ、百圓ノ公債ヲ八十圓ニ現金デ買ウテ貰ツテ、其ノ金ト相殺スルナラバ宜イガ、併シ百圓ノ公債ヲ八十圓ニ引取ルト云フ風ニシテ、公債ヲ八十圓ノ現金デ買ウテ、是ハ法律上ハ構ハナイト思ヒマスケレバモ、通貨トシテ見タ場合ニ、通貨トシテ

ドウシテモ之ヲ何トカシテ、サウ云フコトノナイヤウニ致サナケレバナラスト考ヘルト言ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ厚生省邊リト尙ホ一層熱議ヲ遂ゲマシテ、萬遺憾ナキヤウ方途ヲ講ジタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス
○濱野委員 只今大藏大臣ノ御答辯ノ中デ事業主トカ、或ハ政府ガ無料保管ヲサセルト言ヒマスケレドモ、私ノ伺ヒタイノハ、サウ云フモノヲ「ボーナス」トシテ餘分ノ收入トシテ、保管シテ居ラレル人ノコトヲ言フノデハアリマセヌ、ソレヲ貰ツタナラバ洋服代ノ月賦ニ拂フトカ、家内ヤ子供ノ著物ニスルト云フヤウナ階級ノ人達ハ、之ヲ貰ツテモ直チニ金ニ換ヘナケレバナリマセヌカラ、或ハソレヲ安ク賣拂フトカ、或ハ親類ノ富裕ノ所へ持ツテ行ツテ、何トカ引取ツテ貰ヒタイト云フ、サウスルト額面通りニ買ハザルヲ得ナイ實情ニナツテ來ル、實際ニソレヲ持堪ヘルコトガ出來ナイ人達ニマデ皆政府ガ貯蓄ヲ獎勵スルノ餘り、見境ヒナシニソレ持タシテ居ル事實ガアリマス、會社ガ現金ヲ渡ス代リニ無理ニ渡シタト云フノガアルノデアリマス、ソレハ「ボーナス」ニ、百圓カ五十圓ノ階級ノ人が持タサレテ居ル、斯ウ云フコトニ對シテ政府ガ無料保管ヲシテヤル、事業主ガ保管シテヤルト云フコトデハ意味ヲ成サナイ、度ヲ執リツツアル、ソコデ百圓ノ公債ガ額合ニ持ツテ行ツテ遊ブノハイカヌト云フ態度ヲ執リツツアル、ソコデ百圓ノ公債ガ額之ヲ無理ニ公定相場ガアルナシト云フノデ面通り百圓デ替ツタ時ニハ問題ガ起ラス、ナシニ、百圓ノ公債ヲ八十圓ニ現金デ買ウテ貰ツテ、其ノ金ト相殺スルナラバ宜イガ、併シ百圓ノ公債ヲ八十圓ニ引取ルト云フ風ニシテ、公債ヲ八十圓ノ現金デ買ウテ、是ハ法律上ハ構ハナイト思ヒマスケレバモ、通貨トシテ見タ場合ニ、通貨トシテ

ニ、公債ノ時價ニ應ズルト書イテアリマスケレドモ、ソレハ分ツテ居ル人ノ言フコトノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ厚生ノデアリカト云フコトヲ私ハ心配シテ居ルト言ヒマスケレドモ、私ノ伺ヒタイノハ、サウ云フモノヲ「ボーナス」トシテ餘分ノ收入トシテ、保管シテ居ラレル人ノコトヲ言フノデハアリマス、ソレヲ貰ツタナラバ宜イガ、ソレヲ通貨ト同ジ氣持デヤル、其ノ金ヲ拂フノダト言ヘバ檢事局ハ手ガ付ケラレナイ、買フ時ニ九十七圓デ買ツタモノヲ九十七圓デ取ツテ吳レバ問題ハナカムヅカシイコトヲ言ウテ來ルノデハナイカ、私ハ大藏大臣カラ、此處デ經濟上カラアリマシテ、貯蓄獎勵ト云フ趣旨ニ反ズル、ト思フ、ダカラ百圓ノ公債ヲ八十圓ニ賣ルノハ是ハ問題ハナイ、其ノ時ニ店デ八十圓セスガ、併シ大藏省ハ通貨ノ取締ニ非常ニ權威ヲ持ツテ居リマスカラ、伺ツテ置キマス、今大藏大臣ハ私見トシテ、ソレハ公定價格ガナイカセスガ、併シ大藏省ハ通貨ノ取締ニ非常ニ權威ヲ持ツテ居リマシタ、私モ左様ニ段デ買戻シテ貰ヘルモノダ云フヤウニ解釋デハナイカト云フコトヲ私ハ心配シテ居ルシテ居ル、サウ云フ風ニ宣傳ノ文字ガ書イテアルノデアリマス、サウ云フ實績ヲバ伺ヒタイノデス
○櫻内國務大臣 公債ヲ以テ物ヲ買フト云コトニナツテ、之ヲ通貨トシテ公債ヲ持チ歩クト云フコトハ、私ハ今日アリ得ナイコトデアラウト思ヒマス、ナゼナラバ公債ヲ以テ物ヲ賣フ、或ハ遊興代ニ充テルト云フコトハ斷ジテ罪デナイト云フコトヲハツキリ御明言ヲ願ヒタイ
○櫻内國務大臣 公債ヲ以テ物ヲ買フト云コトニナツテ、之ヲ通貨トシテ公債ヲ持チ歩クト云フコトハ、私ハ今日アリ得ナイコトデアラウト思ヒマス、ナゼナラバ公債ヲ以テ物ヲ賣ツタ方ガ、同意シテ受取ルト云フノデアツテ、若シ賣ツタ方ノ人ガ公債ノ値打ナシル時ニハ公債ノ價值ヲ見テ、サウシテ賣ツ金デナケレバ承知シナイ、斯ウ云フコトニナツテ取引サレルノデアツテ、公債ヲ代金ノ代リニ受取ルト云フ場合ニハ、其ノ公債ヲ通貨トシテ見タ場合ニ、通貨トシテ

債ノ價值ヲ見テ、私ハ引取ルノザハナカラ
ウカト思フ、即チ公債デ引取ルト云フヨド
ヲ同意シテ、公債デ受渡スト云フコトニナ
ルノデハナカラウカト思ヒマス

當局カラ明言致シテ置ク必要ガアルト思ヒ
フヤウナ事柄ガ若シアリト假定致シマスレ
バ、此ノ問題ニ對シマシテハ、改メテ明ニ
トハ、是ハ甚ダ考ヘナケレバナラヌコトデ
マス、ソレカラ貯蓄若クハ保険ニ使ウヤウ
ナ部分ノモノニ對シテ債券ヲ渡スト云フコ
ハナイカト云フ御話アリマスガ、ソレハ
御尤モデアリマス、併シナガラ出來得ル限リ
儉約ヲシテ、公債ナリ、貯蓄債券ナリヲ持
タシタイト云フ意味ニ於テ、事業主等ニ於
テハ渡シテ居ル者モアルト思ヒマスノデ、
其ノ點ハ敢テ責ムベキデハナイト思ヒマス
ガ、ゾレガ金ニナル方法ト致シマシテハ、
郵便局デ買戻スコトハ御承知ノ通りデアリ
マス、今郵便局デ買戻シマスノハ、時價方
ラ手數料ヲ差引シタ値デ買戻スノデアリマ
ス、隨ヒマシテ是ガ徹底致シマスト、郵便局
ノ他ニ於キマシテ、例ヘバ貯蓄債券デ言ヒ
來テ、サウ云フ人ガ非常ニ困ルヤウナコトハナ
イト思ヒマス、併シナガラ更ニ是ハ證券會社其
デ買入レルコトニナツテ居ルノデアリマシ
テ、之ヲ各方面ニ徹底シテ、サウシテ公債ナ
カ、サウ云フ風ナ所デ、極メテ小額ノ手數料
ニ安ク授出スト云フコトヲサセナイヤウ
ニ圖リタイト思ツテ居ルノデアリマス、
○濱野委員 只今ノ御答辯デ能ク分リマシ
タ、ソコデ今度ハ商工省ノ方ニ伺ヒタイノ

モノヲ發布シテ公定價格ヲ決メタ、併シ其ノ中ニハ直接商品性ヲ持ツテ居ルモノト、モウ一ツハ工場ノ原料ナドトナツテ、改メテ其處デ精製サレテ市場ニ出ヅルベキ性質ノモノガアル、例ヘバ屑物トカ、或ハ護謨屑トカ、紙屑トカ、サウ云ツタモノハ、同ジ公定價格ノ中デモ、賣ル方ダケ處罰サレテ買フ方ハ處罰サレナインダ、買フ方ハ大キナ工場デ、巨大ナ資力ヲ有シテ居ルカラ幾ラデモ買ヒタイ、又引合フ、所ガ賣ル方ハ極メテ些少ナ資本金デヤツテ居ル者ガ多イ、紙屑屋ヤ寄セ屋ノヤウナ者ハ、大キナ資力ガナイ、サウ云フ人達ハ公定ノ價格デ抑ヘラレテ賣ルコトガ出來ナイ、ソコヘ、永イ間ノ御得意デアルシ、買フ方ガドンヽ手デ招クモノデアリマスカラ、思ハズ少シバカリ高ク賣ツタ、ゾレデドンヽ處罰サレテ、懲役五箇月ト云ツタヤウナ極刑ヲ受ケテ居ル、儲ヶガ僅カ百圓デ斯ウ云フヤウニ處罰サレテ居ル、是ハ實際ニ商工省ノ人達ガ物價ト云フモノヲ定メル時ニ、何等ノ考ヘナシニヤツタモノト私ハ考ヘテ居ル、ソコデ此ノ間アナタニ御註文シテ置キマシタガ、商工省ガ民意ヲ容レテ機構ヲ改正シテ、賣ル方モイケナケレバ、買フ方モ其ノ價格ヲ越シテハイケナイト云フヤウナ機構ニ改正シタ、ソコマデハ宜ノダガ、然ラバ改正以前ニ於テ、賣ル方ノ者ダケ處罰サレテ、現ニ苦シミヲ受ケテ居ル者ガアルノダガ、是ハ實際商工省ノ諸君ガ物價統制ト云フコトニ泡ヲ食ツテ千篇一律ニヤツタ爲ダト思フ、ソレガ爲ニ、アナタ方ノ方ノ政府側ノ手落ト云フコトノ爲ニ、國民ガ、而モ餘リ樂ナ生活ヲシテ居ラナイ階級ノ人達

ガ多數ニ處罰ヲ受ケタ、八十圓位ノ儲リデ
スウ云フ人達ヲ政府ハドウ云フヤウニシテ
救出サウトスルノカ、ソレハ其ノ當時商工
省令ガ——是ハ一片ノ商工省令デスヨ、商
工省令ガ法律トシテアルノダカラ、檢事局
ガ適用シ、裁判所ガ適用シタノダカラ俺ハ
知ラヌト言ツテ拠ツテ置ケマスカ、私ハソ
レデハ濟マナイト思ヒマス、昭和十三年八
月三十一日物價ヲバ指定シテサウシテ去年
ノ暮ニ改正シテ、一年ノ間ニ隨分エライ目
ニ遭ツテ居ル者ガアル、之ヲドウシテ吳レ
ルカト云フコトヲ此ノ間アナタニ相談シタ
所ガ、司法當局ト相談シテ見ルト云フ御話
デアリマシタカラ、御相談下サツタノデス
カ、司法當局ハ相變ラズ、冷ヤカナ態度デ、
法律ニ引掛ツタノダカラ、假令八十圓ノ儲
ケデモ、徵役五月ニスルノダト云フ態度デ
出テ居リマスカ、御相談シタノデアリマス
カ、速記ニチヤント相談ヲスルト書イテア
リマス。

○濱野委員 無理ニ責メル譯ハアリマセ
スガ、アナタガ司法當局ト御相談シタイト
言ツタコトガ速記録ニ載ツテ居リマスヨ、
ソコデ改メテ私ハ大藏大臣ニ此ノ點ヲ閣議
デ一ツ御決定ヲ願ヒタイト思フノデス、是
ハ法律一本デ生キル所ノ司法當局ニ言ツテ
モ分ラナイ、アノ人達ハ兎ニ角ニモ——ソ
レハ商工省ハ氣ノ毒ナンデス、司法省
ニ對シテモ、臨時輸出入法デ罰則ヲ決
メテ、サウシテ商工省ガ物價取締規則ト
云フ一片ノ規則デ公定價格ヲ決メテ、
其ノ價格ヲ決メル時ニハ司法省ハ相談ニ
乘ツテ居ラナイ、臨時輸出入ノ措置ニ關ス
ル法律ノ時ニ、商工省ガ發布スル値段ヲ破
ツタモノハ處罰スルト云フダケハ司法省ガ
相談ヲ受ケテ居ル、ソレ等ノ値段ヲ決メル
ノハアナタ方司法省ニ何ノ相談ナシニ、本
當ニ世上ノ實情モ、市場ノ關係モ何モ考ヘ
ナイデ、一片ノ考デドンヽ物價ヲ決メテ
シマツタヂヤナイカ、現ニ十七錢デ決メテ
居ツタモノガ一年經タナイ中ニ——アレハ
昭和十三年ノ七月ノ三十一日ニ地下足袋一
足ノ襪襪ガ十七錢ト決メテ居ツタ、ソレガ
ドウデス、去年ノ十二月ノ二十日ノ官報デ、
一年經ツカ經タヌ申ニ、三十五錢ト云フヤ
ウニ倍ヨリ一錢高クナツテ居ルヂヤナイノ
デスカ、ソンナニ急ニ物ガ上リマシタカ、
ソレガ爲ニ日本中ニハ一體何百人ノ困ツテ
居ル人ガ居ルノデスカ、其ノ値段ニ付テハ
商工省ハ決シテ司法省ニハ相談シテ居ラナ
イ、是ガ相場ノ妥當性ダト言ツテ居ル、司法
省ハ唯單ナル省令ニ背イタト云フコトデヤ
ツテ行カウトスル、其ノ實情ハコンナモノ
ダト云フ時ニ之ヲ默ツテハ居レスデセウ、
若シ法律ノ違反行爲ヲ犯シタ時ニ、是ハ法

○新倉政府委員

月ト云フ者ガ澤山アリマス、
ノカ、ソレハ其ノ當時商工
一片ノ商工省令デスヨ、商
シテアルノダカラ、検事局
所ガ適用シタノダカラ俺ハ
抛ツテ置ケマスカ、私ハソ
ト思ヒマス、昭和十三年八
月バ指定シテサウシテ去年
一年ノ間に隨分エライ目
カアル、之ヲドウシテ吳レ
フ此ノ間アナタニ相談シタ
ト相談シテ見ルト云フ御話
フ、御相談下サツクノデズ
相變ラズ、冷ヤカナ態度デ、
ノダカラ、假令八十圓ノ儲
月ニスルノダト云フ態度デ
御相談シタノデアリマス
ント相談ヲスルト書イテア
此ノ間モ申上げマシタヤ
子トアツタ場合ニ、其ノ一
ルト云フコトハ適當デナイ
テ昨年ノ十月ニ改正シマシ
モノニ付キマシテノ司法當
ナゴザイマシテ、私ノ聞イ
マスト、從來ニ於キマシテ
キマシテハ、相當惡質ノ者
ト云フ方針ノ下ニ進ンデ居
テ居リマス、具體的ニドノ
コトハ私承知シテ居リマ
少クトモサウ云フ方針デヤ
旨ツテ居リマス、私モ左様

○濱野委員 無理ニ責メル譯ハアリマセ
スガ、アナタガ司法當局ト御相談シタイト
言ツタコトガ速記録ニ載ツテ居リマスヨ、
ソコデ改メテ私ハ大藏大臣ニ此ノ點ヲ閣議
デ一ツ御決定ヲ願ヒタイト思フノデス、是
ハ法律一本デ生キル所ノ司法當局ニ言ツテ
モ分ラナイ、アノ人達ハ兎ニ角ニモ——ソ
レハ商工省ハ氣ノ毒ナンデス、司法省
ニ對シテモ、臨時輸出入法デ罰則ヲ決
メテ、サウシテ商工省ガ物價取締規則ト
云フ一片ノ規則デ公定價格ヲ決メテ、
其ノ價格ヲ決メル時ニハ司法省ハ相談ニ
乘ツテ居ラナイ、臨時輸出入ノ措置ニ關ス
ル法律ノ時ニ、商工省ガ發布スル値段ヲ破
ツタモノハ處罰スルト云フダケハ司法省ガ
相談ヲ受ケテ居ル、ソレ等ノ値段ヲ決メル
ノハアナタ方司法省ニ何ノ相談ナシニ、本
當ニ世上ノ實情モ、市場ノ關係モ何モ考ヘ
ナイデ、一片ノ考デドンヽ物價ヲ決メテ
シマツタヂヤナイカ、現ニ十七錢デ決メテ
居ツタモノガ一年經タナイ中ニ——アレハ
昭和十三年ノ七月ノ三十一日ニ地下足袋一
足ノ襪襪ガ十七錢ト決メテ居ツタ、ソレガ
ドウデス、去年ノ十二月ノ二十日ノ官報デ、
一年經ツカ經タヌ申ニ、三十五錢ト云フヤ
ウニ倍ヨリ一錢高クナツテ居ルヂヤナイノ
デスカ、ソンナニ急ニ物ガ上リマシタカ、
ソレガ爲ニ日本中ニハ一體何百人ノ困ツテ
居ル人ガ居ルノデスカ、其ノ値段ニ付テハ
商工省ハ決シテ司法省ニハ相談シテ居ラナ
イ、是ガ相場ノ妥當性ダト言ツテ居ル、司法
省ハ唯單ナル省令ニ背イタト云フコトデヤ
ツテ行カウトスル、其ノ實情ハコンナモノ
ダト云フ時ニ之ヲ默ツテハ居レスデセウ、
若シ法律ノ違反行爲ヲ犯シタ時ニ、是ハ法

律ガアルノダカラ買方ダケヲ處罰スル、是ハ因果ダカラ諦メロト言ツテ、ソレデ懲役五箇月ノ人ヲ澤山縛ツテ、ソレデ治安ノ維持ダトカ何トカ言ヘマスカ、是ガ本當ニ趣旨ノ徹底シタ法律ノ結果デアルト云フナラバ私ハ我慢シテ居ル、然ルニ商工省ハ本當ニ一年經ツカ經タヌ間ニ十七錢ノ値段ノモノヲ三十五錢ニ上ゲタ、サウシテ十七錢ノ

値ヲ上ゲタカラト言ツテ處罰スル、ソレダケナラ宜イケレドモ、賣ル方ダケデハイケナイカラ買フ方モ罰ズルヤウニ機構ヲ改正スル、値段ハ倍ニスル、ソレダケノ必要ノアルモノヲ、賣方ダケ十七錢カラ上ゲタモノヲ處罰スルト云フコトデ、五箇月ノ懲役ダ、ソレデ國民ガ默ツテ居ラレマスカ、舉國一致ト云フモノハソコカラ來マスカ、私ハ本當ニ殘念ニ思ヒマス、ソレデスカラ、是ハ司法當局ダケデハ分リマセヌ、一つ政府ハ舉國一致ナドト云フヤウナコトヲ御考ニナルナラバ、斯ウ云フ所ラドンノ改メラレテ、機構ヲ改メテ、賣ル方ダケデナシニ、買フ方モ罰スルト云フヤウニ機構ヲ改メル勇氣ヲ持ツテ居ルナラバ、十七錢ノ値段ガ餘リ安イト云フノデ三十五錢ニ決メルダケノ勇氣ヲ政府ガ持ツテ居ルナラバ、今言ツタ一方的ニ十七錢ノ上ヲ越シテ賣ル方ダケ處罰セラレタ爲ニ、其ノ當時苦シンデ居ル人ガ數百人アルノデアリマスカラ、此ノ人達ニ對シテ百尺竿頭一步ヲ進メテ寛大ナ處分ニ出ラレル考ヲ政府ハ持ツテ居ラレナイカ、是ハ一ツ能ク下情ニ通ゼラレタ大藏大臣ガ、司法當局ヲ說破シテ戴力ナケレバナラスト思フ、是ハ私ハ辯護士ダカラ言フノモノハナカ、コンナコトデハ舉國一致ト云フモノハ絶對ニ出來マセヌ、商賣ヲスツカリ

奪ハレテシマツテ呪ツテ居リマス、是ハ御願致シマス、ドウカ大藏大臣トシテハ、閣議デ御相談ノ上ニ、改メテ責任ヲ持ツテ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○堀切委員長 今日ハ此ノ程度ニシテ、明日ハ河野君ト石坂君ノ方へ是非行キマスカラ、御用意ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十分散會